

# TSUMURA

ツムラ医療用漢方製剤

## ■警告

### 【警告】

1. 本剤の投与により、間質性肺炎が起こり、早期に適切な処置を行わない場合、死亡等の重篤な転帰に至ることがあるので、患者の状態を十分観察し、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常、胸部X線異常、胸部CT異常等があらわれた場合には、ただちに本剤の投与を中止すること。
2. 咳嗽、呼吸困難、発熱等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

〔該当製品番号〕 TJ-9（ツムラ小柴胡湯）

## ■禁忌

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. インターフェロン製剤を投与中の患者
2. 肝硬変、肝癌の患者
3. 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/mm<sup>3</sup>以下の患者

〔該当製品番号〕 TJ-9（ツムラ小柴胡湯）

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- 〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

〔該当製品番号〕（1日量としてカンゾウを2.5g以上含有する品目） TJ-14、19、32、56、64、68、72、77、82、120、122、138

**【禁忌(次の患者には投与しないこと)】**

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
  2. 重度(重症)の熱傷・外傷のある患者
  3. 化膿性の創傷で高熱のある患者
  4. 患部の湿潤やただれのひどい患者
- [2～4：当該症状が悪化するおそれがある。]

[該当製品番号] TJ-501

**■相互作用**

併用禁忌(併用しないこと)(抜粋)

| 薬剤名等  | 臨床症状・措置方法         | 機序・危険因子 |
|---|-------------------|---------|
| インターフェロン製剤<br>インターフェロン- $\alpha$<br>インターフェロン- $\beta$ | 間質性肺炎があらわれることがある。 | 機序は不明   |

[該当製品番号] TJ-9 (ツムラ小柴胡湯)

併用注意(併用に注意すること)(抜粋)

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子                 |
|--|--|-------------------------|
| マオウ含有製剤<br>エフェドリン類含有製剤<br>モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤<br>甲状腺製剤<br>カテコールアミン製剤<br>キサンチン系製剤 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等があらわれやすくなるので、減量するなど慎重に投与すること。 | 交感神経刺激作用が増強されることが考えられる。 |

[該当製品番号] TJ-1、2、19、27、28、52、55、62、63、78、85、95、127

(次ページに続く)

## 併用注意(併用に注意すること)(抜粋)

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法   | 機序・危険因子  |
|--|---|--|
| カンゾウ含有製剤<br>グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤<br>ループ系利尿剤<br>チアジド系利尿剤 | 偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 | グリチルリチン酸及び利尿剤は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。 |

〔該当製品番号〕 TJ-9、14、19、32、38、56、64、68、72、77、82、120、122、138

## 併用注意(併用に注意すること)(抜粋)

| 薬剤名等                              | 臨床症状・措置方法   | 機序・危険因子   |
|-----------------------------------|---|---|
| カンゾウ含有製剤<br>グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤 | 偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 | グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。 |

〔該当製品番号〕 TJ-1、2、3、5、6、10、11、18、20、22、24、26、27、28、29、34、35、39、41、43、45、47、48、50、51、52、53、54、55、58、59、60、61、62、63、65、66、67、70、73、74、75、76、78、79、80、81、83、84、85、86、88、89、90、91、92、93、95、96、97、98、99、101、102、103、105、106、108、109、110、111、114、115、118、119、123、124、128、134、136、137

# 本書の使い方 (ご使用にあたっては最新の電子添文をご確認ください。)

製品と同じ記載様式  
にしております

引用した電子添文の改訂年月  
を記載しております

【警告】【禁忌】につきましては電子添文と同じく最初に掲載しております

共通に見られるもの

時に見られるもの

添加剤・性状につきましては電子添文またはインタビューフォームをご覧ください

特定の背景を有する患者に関する注意の一部、その他の副作用等以外についてはタイトルのみで該当する頁を示しましたので併せてご覧ください

電子添文(2023年12月改訂)より

**14** ツムラ半夏瀉心湯 ツムラ ハンゲ シャン トウ  
エキス顆粒(医療用) T.J-14  
出典：傷寒論、全訳要略

**【禁忌(次の患者には投与しないこと)】**

1. アルドステロン症の患者
2. ミオパチーのある患者
3. 低カリウム血症のある患者

[1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

**■効能又は効果**

みぞおちがつかえ、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便または下痢の傾向のあるもの次の諸症：  
急・慢性胃腸カタル、醗酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**  
体力中等度の人で、心窩部の膨満感、腹中雷鳴があり、悪心、嘔吐、下痢などを訴える場合に用いる。  
1) 食欲不振、軽度の上腹部痛などを伴う場合。  
2) 不安・不眠などの精神神経症状を伴う場合。

**■組成**  
本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス45gを含有する。  
日局ハンゲ(半夏)………5.0g 日局タイソウ(大蓯)………2.5g  
日局オウゴン(黄芩)………2.5g 日局ニンジン(人參)………2.5g  
日局カンキョウ(乾姜)………2.5g 日局オウレン(黄連)………1.0g  
日局カンソウ(甘草)………2.5g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(41ページ④参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 妊婦(44ページ⑦参照)

77

出典は電子添文に記載されておりませんが、参考にして下さい

14

## ツムラ半夏瀉心湯

エキス顆粒 (医療用)

- 授乳婦(45ページ㊦参照)
- 小児等(45ページ㊦参照)
- 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊦参照)

### ■副作用 (48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- ミオパチー(49ページ参照)
- 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明    |
|-----|---------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |

### ■適用上の注意

#### 薬剤交付時の注意

口内炎に対して本剤を使用する場合は、口にふくんでゆっくり服用することができる。

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- 胃粘膜防御作用(ラット)
- 抗炎症作用(ラット、マウス、*in vitro*)
- 大腸水分吸収亢進作用(ラット)
- 消化管運動抑制作用(*in vitro*)
- 胃排出促進作用(ヒト、ラット)
- 胃粘膜障害に対する作用(ラット)
- 制吐作用(フェレット)
- 止瀉作用(ラット、マウス)

薬効薬理についてはタイトルのあるもののみ記載しました。詳細は電子添文をご覧ください

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

監修・大塚恭男、花輪壽彦(北里大学東洋医学総合研究所)

電子添文には[重要な基本的注意]に「患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること」とあります。ここでは証(体質・症状)を具体的に説明しています。「効能又は効果」「注意事項等情報」を補完する情報としてご参照下さい

# 目次

|              |    |
|--------------|----|
| ■五十音順索引      | 1  |
| ■疾患・症候別〔索引〕  | 6  |
| ■注意事項等情報     | 40 |
| ■用法及び用量      | 51 |
| ■取扱い上の注意     | 53 |
| ■製品便覧(131品目) | 54 |

|   |       |  |         |
|---|-------|--|---------|
| あ | [5]   | <small>アンチュウサン</small><br>ツムラ安中散エキス顆粒(医療用) ……  | 60      |
|   | [115] | <small>イレイトウ</small><br>ツムラ胃苓湯                 | 〃 ……243 |
|   | [135] | <small>インチンコウトウ</small><br>ツムラ茵陳蒿湯             | 〃 ……264 |
|   | [117] | <small>インチンゴレイサン</small><br>ツムラ茵陳五苓散           | 〃 ……245 |
|   | [106] | <small>ウンケイトウ</small><br>ツムラ温経湯                | 〃 ……227 |
|   | [57]  | <small>ウンセイイン</small><br>ツムラ温清飲                | 〃 ……148 |
|   | [28]  | <small>エツピカジュツトウ</small><br>ツムラ越婢加朮湯           | 〃 ……102 |
|   | [98]  | <small>オウギケンチュウトウ</small><br>ツムラ黄耆建中湯          | 〃 ……215 |
|   | [15]  | <small>オウレンゲドクトウ</small><br>ツムラ黄連解毒湯           | 〃 ……79  |
|   | [120] | <small>オウレントウ</small><br>ツムラ黄連湯                | 〃 ……248 |
|   | [3]   | <small>オツジトウ</small><br>ツムラ乙字湯                 | 〃 ……58  |
| か | [1]   | <small>カクコントウ</small><br>ツムラ葛根湯                | 〃 ……54  |
|   | [2]   | <small>カクコントウ カセンキョウシンイ</small><br>ツムラ葛根湯加川芎辛夷 | 〃 ……56  |
|   | [137] | <small>カミキヒトウ</small><br>ツムラ加味帰脾湯              | 〃 ……267 |
|   | [24]  | <small>カミショウヨウサン</small><br>ツムラ加味逍遙散           | 〃 ……95  |
|   | [72]  | <small>カンバクタイソウトウ</small><br>ツムラ甘麦大枣湯          | 〃 ……173 |
|   | [138] | <small>キキョウトウ</small><br>ツムラ桔梗湯                | 〃 ……269 |
|   | [65]  | <small>キヒトウ</small><br>ツムラ帰脾湯                  | 〃 ……163 |
|   | [77]  | <small>キユウキキョウガイトウ</small><br>ツムラ芎歸膠艾湯         | 〃 ……182 |
|   | [50]  | <small>ケイガイレンキョウトウ</small><br>ツムラ荊芥連翹湯         | 〃 ……134 |
|   | [134] | <small>ケイシカシャクヤクダイオウトウ</small><br>ツムラ桂枝加芍薬大黄湯  | 〃 ……262 |
|   | [60]  | <small>ケイシカシャクヤクトウ</small><br>ツムラ桂枝加芍薬湯        | 〃 ……154 |
|   | [18]  | <small>ケイシカジュツプトウ</small><br>ツムラ桂枝加朮附湯         | 〃 ……83  |
|   | [26]  | <small>ケイシカリュウコツボレイトウ</small><br>ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯   | 〃 ……99  |
|   | [45]  | <small>ケイシトウ</small><br>ツムラ桂枝湯                 | 〃 ……127 |

|       |       |  |  |
|-------|-------|--|--|
| か     | [82]  | ツムラ桂枝人参湯 <small>ケイ シ ニンジントウ</small> エキス顆粒(医療用)…190       |  |
|       | [25]  | ツムラ桂枝茯苓丸 <small>ケイ シ ブクリョウガン</small> …… 97               |  |
|       | [125] | ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁 <small>ケイ シ ブクリョウガン カ ヨク イ ニン</small> ……255 |  |
|       | [128] | ツムラ啓脾湯 <small>ケイ ヒ トウ</small> ……260                      |  |
|       | [70]  | ツムラ香蘇散 <small>コウ ソ サン</small> ……171                      |  |
|       | [95]  | ツムラ五虎湯 <small>ゴ コトウ</small> ……209                        |  |
|       | [63]  | ツムラ五積散 <small>ゴ シヤクサン</small> ……159                      |  |
|       | [107] | ツムラ牛車腎気丸 <small>ゴ シヤジン キ ガン</small> ……229                |  |
|       | [31]  | ツムラ呉茱萸湯 <small>ゴ シュ ユ トウ</small> ……108                   |  |
|       | [56]  | ツムラ五淋散 <small>ゴ リンサン</small> ……146                       |  |
|       | [17]  | ツムラ五苓散 <small>ゴ レイサン</small> …… 82                       |  |
|       | さ     | [73]   | ツムラ柴陷湯 <small>サイ カントウ</small> ……174                  |
|       |       | [12]   | ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯 <small>サイ コ カ リョウコツ ボ レイトウ</small> …… 75 |
|       |       | [11]   | ツムラ柴胡桂枝乾姜湯 <small>サイ コ ケイ シ カンキョウトウ</small> …… 73    |
|       |       | [10]   | ツムラ柴胡桂枝湯 <small>サイ コ ケイ シ トウ</small> …… 71           |
|       |       | [80]   | ツムラ柴胡清肝湯 <small>サイ コ セイカントウ</small> ……187            |
|       |       | [96]   | ツムラ柴朴湯 <small>サイボクトウ</small> ……211                   |
|       |       | [114]  | ツムラ柴苓湯 <small>サイレイトウ</small> ……241                   |
|       |       | [113]  | ツムラ三黄瀉心湯 <small>サンオウシャシントウ</small> ……239             |
| [103] |       | ツムラ酸棗仁湯 <small>サンソウニントウ</small> ……222                    |  |
| [121] |       | ツムラ三物黄芩湯 <small>サンモツオウゴントウ</small> ……249                 |  |
| [93]  |       | ツムラ滋陰降火湯 <small>ジ インコウ カ トウ</small> ……208                |  |
| [92]  |       | ツムラ滋陰至宝湯 <small>ジ イン シ ホウトウ</small> ……206                |  |
| [35]  |       | ツムラ四逆散 <small>シ ヤクサン</small> ……115                       |  |
| [75]  |       | ツムラ四君子湯 <small>シ クン シ トウ</small> ……178                   |  |
| [46]  |       | ツムラ七物降下湯 <small>シチモツコウ カ トウ</small> ……128                |  |

|       |          |                  |                        |         |
|-------|----------|------------------|------------------------|---------|
| さ     | [71]     | ツムラ四物湯エキス顆粒(医療用) | シ モツトウ                 | ……172   |
|       | [64]     | ツムラ炙甘草湯          | シャカンゾウトウ               | 〃 ……161 |
|       | [68]     | ツムラ芍薬甘草湯         | シャクヤクカンゾウトウ            | 〃 ……168 |
|       | [48]     | ツムラ十全大補湯         | ジュゼンタイ ホ トウ            | 〃 ……132 |
|       | [6]      | ツムラ十味敗毒湯         | ジュ ミ ハイドクトウ            | 〃 …… 61 |
|       | [51]     | ツムラ潤腸湯           | ジュンチャウトウ               | 〃 ……136 |
|       | [99]     | ツムラ小建中湯          | ショウケン チュウトウ            | 〃 ……216 |
|       | [9]      | ツムラ小柴胡湯          | ショウサイ コ トウ             | 〃 …… 67 |
|       | [109]    | ツムラ小柴胡湯加桔梗石膏     | ショウサイ コ トウ カ キキョウ セツコウ | 〃 ……233 |
|       | [19]     | ツムラ小青竜湯          | ショウセイリョウトウ             | 〃 …… 85 |
|       | [21]     | ツムラ小半夏加茯苓湯       | ショウハン ゲ カ ブクリョウトウ      | 〃 …… 90 |
|       | [22]     | ツムラ消風散           | ショウフウサン                | 〃 …… 91 |
|       | [101]    | ツムラ升麻葛根湯         | ショウ マ カツコントウ           | 〃 ……219 |
|       | [104]    | ツムラ辛夷清肺湯         | シン イ セイハイトウ            | 〃 ……223 |
|       | [66]     | ツムラ参蘇飲           | ジン ソ イン                | 〃 ……165 |
|       | [85]     | ツムラ神秘湯           | シン ビ トウ                | 〃 ……195 |
|       | [30]     | ツムラ真武湯           | シン ブ トウ                | 〃 ……106 |
|       | [58]     | ツムラ清上防風湯         | セイジョウボウフウトウ            | 〃 ……150 |
|       | [136]    | ツムラ清暑益気湯         | セイショエツ キ トウ            | 〃 ……266 |
|       | [111]    | ツムラ清心蓮子飲         | セイシンレン シ イン            | 〃 ……236 |
| [90]  | ツムラ清肺湯   | セイハイトウ           | 〃 ……203                |         |
| [124] | ツムラ川芎茶調散 | センキュウチャチュウサン     | 〃 ……254                |         |
| [53]  | ツムラ疎経活血湯 | ソ ケイカツケツトウ       | 〃 ……140                |         |
| た     | [84]     | ツムラ大黄甘草湯         | ダイオウカンゾウトウ             | 〃 ……193 |
|       | [33]     | ツムラ大黄牡丹皮湯        | ダイオウ ホ タン ビ トウ         | 〃 ……111 |
|       | [100]    | ツムラ大建中湯          | ダイケンチュウトウ              | 〃 ……217 |

|          |       |  |
|----------|-------|--|
| <b>た</b> | [8]   | ツムラ大柴胡湯 <small>ダイサイ コ トウ</small> エキス顆粒(医療用) … 65                 |
|          | [133] | ツムラ大承気湯 <small>ダイジョウキ トウ</small> ……………261                        |
|          | [97]  | ツムラ大防風湯 <small>ダイポウフウトウ</small> ……………213                         |
|          | [91]  | ツムラ竹筍温胆湯 <small>チクジョウシヤンタン トウ</small> ……………205                   |
|          | [89]  | ツムラ治打撲一方 <small>チ ダ ボクイッポウ</small> ……………201                      |
|          | [59]  | ツムラ治頭瘡一方 <small>チ ツ ソウイッポウ</small> ……………152                      |
|          | [74]  | ツムラ調胃承気湯 <small>チョウイジョウキ トウ</small> ……………176                     |
|          | [47]  | ツムラ釣藤散 <small>チョウトウサン</small> ……………130                           |
|          | [40]  | ツムラ猪苓湯 <small>チョレイトウ</small> ……………122                            |
|          | [112] | ツムラ猪苓湯合四物湯 <small>チョレイトウゴウ シ モツトウ</small> ……………238               |
|          | [105] | ツムラ通導散 <small>ツウドウサン</small> ……………225                            |
|          | [61]  | ツムラ桃核承気湯 <small>トウカクジョウキ トウ</small> ……………155                     |
|          | [86]  | ツムラ当归飲子 <small>トウ キ イン シ</small> ……………197                        |
|          | [123] | ツムラ当归建中湯 <small>トウ キ ケンチュウトウ</small> ……………252                    |
|          | [38]  | ツムラ当归四逆加呉茱萸生姜湯 <small>トウ キ シギャクカ ゴ シュ ユジョウキョウトウ</small> ……………119 |
|          | [23]  | ツムラ当归芍薬散 <small>トウ キ シヤクヤクサン</small> …………… 93                    |
|          | [102] | ツムラ当归湯 <small>トウ キ トウ</small> ……………220                           |
| <b>な</b> | [88]  | ツムラ二朮湯 <small>ニジュツトウ</small> ……………200                            |
|          | [81]  | ツムラ二陳湯 <small>ニチントウ</small> ……………189                             |
|          | [67]  | ツムラ女神散 <small>ニョシンサン</small> ……………166                            |
|          | [32]  | ツムラ人參湯 <small>ニンジントウ</small> ……………109                            |
|          | [108] | ツムラ人參養榮湯 <small>ニンジンヨウエイトウ</small> ……………231                      |
| <b>は</b> | [122] | ツムラ排膿散及湯 <small>ハイノウサンキョウトウ</small> ……………251                     |
|          | [29]  | ツムラ麦門冬湯 <small>バクモンドウトウ</small> ……………104                         |
|          | [7]   | ツムラ八味地黄丸 <small>ハチ ミ ジ オウガン</small> …………… 63                     |
|          | [16]  | ツムラ半夏厚朴湯 <small>ハン ゲ コウボクトウ</small> …………… 81                     |
|          | [14]  | ツムラ半夏瀉心湯 <small>ハン ゲ シャシントウ</small> …………… 77                     |

|   |        |                        |          |
|---|--------|------------------------|----------|
|   |        | ハン ゲ ビャジュツテン マトウ       |          |
| は | [37]   | ツムラ半夏白朮天麻湯エキス顆粒(医療用)   | 118      |
|   | [34]   | ツムラ白虎加人参湯              | 〃 ……113  |
|   | [69]   | ツムラ茯苓飲                 | 〃 ……170  |
|   | [116]  | ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯           | 〃 ……244  |
|   | [79]   | ツムラ平胃散                 | 〃 ……186  |
|   | [20]   | ツムラ防己黃耆湯               | 〃 …… 88  |
|   | [62]   | ツムラ防風通聖散               | 〃 ……157  |
|   | [41]   | ツムラ補中益氣湯               | 〃 ……123  |
| ま | [27]   | ツムラ麻黄湯                 | 〃 ……100  |
|   | [127]  | ツムラ麻黄附子細辛湯             | 〃 ……258  |
|   | [55]   | ツムラ麻杏甘石湯               | 〃 ……144  |
|   | [78]   | ツムラ麻杏薏甘湯               | 〃 ……184  |
|   | [126]  | ツムラ麻子仁丸                | 〃 ……257  |
|   | [36]   | ツムラ木防己湯                | 〃 ……117  |
| や | [52]   | ツムラ薏苡仁湯                | 〃 ……138  |
|   | [54]   | ツムラ抑肝散                 | 〃 ……142  |
|   | [83]   | ツムラ抑肝散加陳皮半夏            | 〃 ……191  |
| ら | [43]   | ツムラ六君子湯                | 〃 ……125  |
|   | [110]  | ツムラ立効散                 | 〃 ……235  |
|   | [76]   | ツムラ竜胆瀉肝湯               | 〃 ……180  |
|   | [119]  | ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯            | 〃 ……247  |
|   | [118]  | ツムラ苓姜朮甘湯               | 〃 ……246  |
|   | [39]   | ツムラ苓桂朮甘湯               | 〃 ……121  |
|   | [87]   | ツムラ六味丸                 | 〃 ……199  |
|   | [501]  | ツムラ紫雲膏                 | ……………270 |
|   | [3020] | ツムラの生薬コウジン末(調剤用)       | ……………271 |
|   | [3023] | 日本薬局方ブシ末 ブシ末(調剤用)「ツムラ」 | ……………272 |

# 疾患・症候別〔索引〕

## 共通

(領域を  
問わないもの)

|          |  |
|----------|--|
| ●虚弱体質    | 24 ツムラ加味逍遙散<br>98 ツムラ黄耆建中湯   |
| ●病後の体力低下 | 41 ツムラ補中益気湯<br>48 ツムラ十全大補湯<br>98 ツムラ黄耆建中湯<br>108 ツムラ人参養栄湯  |
| ●食欲不振    | 8 ツムラ大柴胡湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>48 ツムラ十全大補湯<br>79 ツムラ平胃散<br>108 ツムラ人参養栄湯<br>136 ツムラ清暑益気湯 |
| ●疲労倦怠    | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>48 ツムラ十全大補湯<br>99 ツムラ小建中湯<br>108 ツムラ人参養栄湯<br>136 ツムラ清暑益気湯                           |
| ●夏やせ     | 41 ツムラ補中益気湯<br>136 ツムラ清暑益気湯  |
| ●暑気あたり   | 17 ツムラ五苓散<br>114 ツムラ柴苓湯<br>115 ツムラ胃苓湯<br>136 ツムラ清暑益気湯  |
| ●ねあせ     | 48 ツムラ十全大補湯<br>98 ツムラ黄耆建中湯<br>108 ツムラ人参養栄湯   |
| ●多汗症     | 20 ツムラ防已黄耆湯<br>41 ツムラ補中益気湯   |

|           |  |
|-----------|--|
| ●ほてり      | 34 ツムラ白虎加人参湯   |
| ●手足のほてり   | 121 ツムラ三物黄芩湯   |
| ●冷え (手足)  | 48 ツムラ十全大補湯<br>108 ツムラ人参養榮湯  |
| (足腰)      | 106 ツムラ温経湯   |
| (腰)       | 118 ツムラ苓姜朮甘湯   |
| (下肢)      | 37 ツムラ半夏白朮天麻湯  |
| ●浮腫       | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防己黄耆湯<br>36 ツムラ木防己湯                                 |
| ●浮腫(腰以下)  | 40 ツムラ猪苓湯  |
| ●むくみ      | 62 ツムラ防風通聖散<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>114 ツムラ柴苓湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散 |
| ●口渇       | 34 ツムラ白虎加人参湯   |
| ●熱性疾患の初期  | 1 ツムラ葛根湯   |
| ●諸種の急性熱性病 | 9 ツムラ小柴胡湯  |

## 呼吸器

|              |   |
|--------------|---|
| ●感冒          | 1 ツムラ葛根湯<br>9 ツムラ小柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>19 ツムラ小青竜湯<br>27 ツムラ麻黄湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>63 ツムラ五積散<br>66 ツムラ参蘇飲<br>91 ツムラ竹筴温胆湯<br>124 ツムラ川芎茶調散<br>127 ツムラ麻黄附子細辛湯 |
| ●感冒(初期)      | 45 ツムラ桂枝湯<br>70 ツムラ香蘇散<br>101 ツムラ升麻葛根湯  |
| ●流感          | 10 ツムラ柴胡桂枝湯   |
| ●インフルエンザ     | 91 ツムラ竹筴温胆湯   |
| ●インフルエンザ(初期) | 27 ツムラ麻黄湯   |
| ●気管支炎        | 9 ツムラ小柴胡湯<br>19 ツムラ小青竜湯<br>29 ツムラ麦門冬湯<br>35 ツムラ四逆散<br>85 ツムラ神秘湯<br>96 ツムラ柴朴湯<br>119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯<br>127 ツムラ麻黄附子細辛湯   |
| ●気管支喘息       | 9 ツムラ小柴胡湯<br>19 ツムラ小青竜湯<br>27 ツムラ麻黄湯<br>29 ツムラ麦門冬湯<br>55 ツムラ麻杏甘石湯<br>85 ツムラ神秘湯<br>95 ツムラ五虎湯<br>96 ツムラ柴朴湯  |

|           |   |
|-----------|---|
| ●気管支喘息    | 119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯   |
| ●咳        | 16 ツムラ半夏厚朴湯<br>66 ツムラ参蘇飲<br>73 ツムラ柴陷湯<br>91 ツムラ竹筴温胆湯<br>92 ツムラ滋陰至宝湯<br>95 ツムラ五虎湯<br>96 ツムラ柴朴湯 |
| (痰の切れにくい) | 29 ツムラ麦門冬湯  |
| (痰の多く出る)  | 90 ツムラ清肺湯   |
| (痰の出ない)   | 93 ツムラ滋陰降火湯   |
| ●咳による胸痛   | 73 ツムラ柴陷湯   |
| ●痰        | 91 ツムラ竹筴温胆湯<br>92 ツムラ滋陰至宝湯  |
| ●肺炎       | 9 ツムラ小柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>91 ツムラ竹筴温胆湯   |
| ●肺結核      | 10 ツムラ柴胡桂枝湯   |
| ●結核症      | 41 ツムラ補中益気湯   |

## 循環器

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| ●心臓にもとづく疾患                    | 36 ツムラ木防已湯  |
| ●高血圧(症)                       | 7 ツムラ八味地黄丸<br>8 ツムラ大柴胡湯<br>12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯<br>15 ツムラ黄連解毒湯<br>30 ツムラ真武湯<br>47 ツムラ釣藤散<br>133 ツムラ大承気湯 |
| ●高血圧の随伴症状<br>(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重) | 46 ツムラ七物降下湯   |
| (頭痛、めまい、肩こり)                  | 61 ツムラ桃核承気湯   |
| (どうき、肩こり、のぼせ)                 | 105 ツムラ通導散  |
| (のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)        | 62 ツムラ防風通聖散<br>113 ツムラ三黄瀉心湯   |
| ●動脈硬化症                        | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯  |
| ●心臓性喘息                        | 36 ツムラ木防已湯  |
| ●心臓弁膜症                        | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>30 ツムラ真武湯  |
| ●心臓衰弱                         | 119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯   |
| ●神経性心悸亢進症                     | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯  |
| ●心不全で心悸亢進                     | 30 ツムラ真武湯   |
| ●動悸                           | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>23 ツムラ当帰芍薬散<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯<br>64 ツムラ炙甘草湯<br>82 ツムラ桂枝人參湯                            |
| ●息切れ                          | 39 ツムラ苓桂朮甘湯<br>64 ツムラ炙甘草湯   |

|        |   |
|--------|---|
| ●脳溢血   | 8 ツムラ大柴胡湯<br>30 ツムラ真武湯                  |
| ●半身不随  | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>30 ツムラ真武湯<br>41 ツムラ補中益気湯 |
| ●しびれ   | 107 ツムラ牛車腎気丸                            |
| ●リンパ腺炎 | 1 ツムラ葛根湯<br>9 ツムラ小柴胡湯                   |
| ●脚気衝心  | 31 ツムラ呉茱萸湯                              |

## 消化器

|           |   |
|-----------|---|
| ●口内炎      | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>120 ツムラ黄連湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯  |
| ●神経性食道狭窄症 | 16 ツムラ半夏厚朴湯   |
| ●胃腸疾患     | 30 ツムラ真武湯   |
| ●慢性胃腸障害   | 9 ツムラ小柴胡湯   |
| ●胃アトニー(症) | 5 ツムラ安中散<br>30 ツムラ真武湯<br>32 ツムラ人參湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>69 ツムラ茯苓飲<br>79 ツムラ平胃散<br>82 ツムラ桂枝人參湯 |
| ●胃下垂(症)   | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>30 ツムラ真武湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>43 ツムラ六君子湯                                     |
| ●胃弱       | 14 ツムラ半夏瀉心湯   |

|          |  |
|----------|--|
| ●胃腸虚弱(症) | 30 ツムラ真武湯<br>37 ツムラ半夏白朮天麻湯<br>75 ツムラ四君子湯<br>128 ツムラ啓脾湯                         |
| ●胃拡張     | 32 ツムラ人参湯  |
| ●胃炎      | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>35 ツムラ四逆散<br>43 ツムラ六君子湯<br>69 ツムラ茯苓飲<br>116 ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯        |
| ●急性胃炎    | 79 ツムラ平胃散<br>120 ツムラ黄連湯  |
| ●慢性胃炎    | 5 ツムラ安中散<br>75 ツムラ四君子湯<br>79 ツムラ平胃散  |
| ●神経性胃炎   | 5 ツムラ安中散<br>14 ツムラ半夏瀉心湯<br>16 ツムラ半夏厚朴湯<br>116 ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯                     |
| ●胃腸炎     | 63 ツムラ五積散  |
| ●急性胃腸炎   | 8 ツムラ大柴胡湯<br>14 ツムラ半夏瀉心湯<br>17 ツムラ五苓散<br>32 ツムラ人参湯<br>114 ツムラ柴苓湯<br>115 ツムラ胃苓湯 |
| ●慢性胃腸炎   | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>32 ツムラ人参湯<br>82 ツムラ桂枝人参湯<br>99 ツムラ小建中湯<br>128 ツムラ啓脾湯            |

|          |  |
|----------|--|
| ●急性腸炎    | 134 ツムラ桂枝加芍薬大黄湯  |
| ●慢性腸炎    | 30 ツムラ真武湯  |
| ●大腸炎     | 134 ツムラ桂枝加芍薬大黄湯  |
| ●胃潰瘍     | 10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>35 ツムラ四逆散   |
| ●十二指腸潰瘍  | 10 ツムラ柴胡桂枝湯  |
| ●胃痛      | 43 ツムラ六君子湯<br>68 ツムラ芍薬甘草湯  |
| ●胃酸過多(症) | 8 ツムラ大柴胡湯<br>35 ツムラ四逆散   |
| ●胸やけ     | 14 ツムラ半夏瀉心湯  |
| ●げっぷ     | 14 ツムラ半夏瀉心湯  |
| ●胃のもたれ   | 75 ツムラ四君子湯   |
| ●胃内停水    | 17 ツムラ五苓散  |
| ●溜飲      | 69 ツムラ茯苓飲<br>116 ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯  |
| ●食欲不振    | 8 ツムラ大柴胡湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>48 ツムラ十全大補湯<br>79 ツムラ平胃散<br>108 ツムラ人参養栄湯<br>136 ツムラ清暑益気湯 |
| ●悪心      | 8 ツムラ大柴胡湯<br>17 ツムラ五苓散<br>81 ツムラ二陳湯  |
| ●嘔吐      | 8 ツムラ大柴胡湯<br>17 ツムラ五苓散<br>31 ツムラ呉茱萸湯<br>43 ツムラ六君子湯   |

|                            |   |
|----------------------------|---|
| ●嘔吐                        | 75 ツムラ四君子湯<br>81 ツムラ二陳湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散   |
| ●嘔吐（急性胃腸炎、湿性胸膜炎、水腫性脚気、蓄膿症） | 21 ツムラ小半夏加茯苓湯   |
| ●二日酔                       | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>15 ツムラ黄連解毒湯<br>17 ツムラ五苓散<br>120 ツムラ黄連湯   |
| ●二日酔のむかつき                  | 117 ツムラ茵陳五苓散  |
| ●下痢                        | 17 ツムラ五苓散<br>40 ツムラ猪苓湯<br>75 ツムラ四君子湯<br>128 ツムラ啓脾湯<br>136 ツムラ清暑益氣湯                                  |
| ●醗酵性下痢                     | 14 ツムラ半夏瀉心湯   |
| ●水瀉性下痢                     | 114 ツムラ柴苓湯  |
| ●消化不良                      | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>30 ツムラ真武湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>79 ツムラ平胃散<br>128 ツムラ啓脾湯                                   |
| ●冷え腹                       | 115 ツムラ胃苓湯  |
| ●食あたり                      | 115 ツムラ胃苓湯<br>133 ツムラ大承氣湯   |
| ●便秘(症)                     | 33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>51 ツムラ潤腸湯<br>61 ツムラ桃核承氣湯<br>62 ツムラ防風通聖散<br>74 ツムラ調胃承氣湯<br>84 ツムラ大黄甘草湯<br>105 ツムラ通導散 |

|                |  |
|----------------|--|
| ●便秘(症)         | 113 ツムラ三黄瀉心湯<br>126 ツムラ麻子仁丸  |
| ●急性便秘          | 133 ツムラ大承気湯  |
| ●常習便秘          | 133 ツムラ大承気湯<br>134 ツムラ桂枝加芍薬大黄湯   |
| ●宿便            | 134 ツムラ桂枝加芍薬大黄湯  |
| ●腹痛            | 60 ツムラ桂枝加芍薬湯<br>68 ツムラ芍薬甘草湯<br>100 ツムラ大建中湯<br>102 ツムラ当帰湯<br>115 ツムラ胃苓湯 |
| ●下腹部痛          | 38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>123 ツムラ当帰建中湯                                      |
| ●腹部膨満感         | 100 ツムラ大建中湯<br>102 ツムラ当帰湯  |
| ●しぶり腹          | 60 ツムラ桂枝加芍薬湯<br>134 ツムラ桂枝加芍薬大黄湯  |
| ●黄疸            | 8 ツムラ大柴胡湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯   |
| ●肝機能障害         | 8 ツムラ大柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯   |
| ●慢性肝炎における肝機能障害 | 9 ツムラ小柴胡湯  |
| ●肝硬変症          | 135 ツムラ茵陳蒿湯  |
| ●胆嚢炎           | 8 ツムラ大柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>35 ツムラ四逆散                                  |
| ●胆石(症)         | 8 ツムラ大柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>35 ツムラ四逆散                                  |

|          |   |
|----------|---|
| ●脾臓炎     | 10 ツムラ柴胡桂枝湯   |
| ●腹膜炎     | 25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>30 ツムラ真武湯  |
| ●キレ痔     | 3 ツムラ乙字湯  |
| ●イボ痔     | 3 ツムラ乙字湯  |
| ●痔(疾)    | 8 ツムラ大柴胡湯<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>123 ツムラ当帰建中湯 |
| ●痔(妊娠中)  | 23 ツムラ当帰芍薬散   |
| ●痔核による疼痛 | 501 ツムラ紫雲膏  |
| ●脱肛      | 41 ツムラ補中益気湯   |
| ●脱肛の痛み   | 123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●肛門裂傷    | 501 ツムラ紫雲膏  |
| ●痔出血     | 77 ツムラ芍帰膠艾湯<br>113 ツムラ三黄瀉心湯   |

## 腎

|            |  |
|------------|--|
| ●腎臓にもとづく疾患 | 36 ツムラ木防已湯   |
| ●腎臓病       | 119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯  |
| ●慢性腎臓病     | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯   |
| ●腎炎        | 7 ツムラ八味地黄丸<br>20 ツムラ防已黄耆湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯<br>40 ツムラ猪苓湯                  |
| ●慢性腎炎      | 23 ツムラ当帰芍薬散  |
| ●ネフローゼ     | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防已黄耆湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯<br>30 ツムラ真武湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯    |
| ●浮腫        | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防已黄耆湯<br>36 ツムラ木防已湯                                 |
| ●浮腫(腰以下)   | 40 ツムラ猪苓湯  |
| ●むくみ       | 62 ツムラ防風通聖散<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>114 ツムラ柴苓湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散 |
| ●尿毒症       | 17 ツムラ五苓散  |
| ●萎縮腎       | 32 ツムラ人參湯  |
| ●腎石症       | 40 ツムラ猪苓湯  |

## 代謝・内分泌

|       |  |
|-------|--|
| ●糖尿病  | 7 ツムラ八味地黄丸<br>8 ツムラ大柴胡湯<br>17 ツムラ五苓散     |
| ●口渇   | 34 ツムラ白虎加人参湯                             |
| ●しびれ  | 107 ツムラ牛車腎気丸                             |
| ●肥満症  | 20 ツムラ防己黄耆湯<br>62 ツムラ防風通聖散               |
| ●脚気   | 7 ツムラ八味地黄丸<br>23 ツムラ当帰芍薬散<br>28 ツムラ越婢加朮湯 |
| ●脚気衝心 | 31 ツムラ呉茱萸湯                               |
| ●痛風   | 97 ツムラ大防風湯                               |

## 血液

|     |   |
|-----|---|
| ●貧血 | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>48 ツムラ十全大補湯<br>65 ツムラ帰脾湯<br>108 ツムラ人参養栄湯<br>137 ツムラ加味帰脾湯 |
|-----|---|

## 神経・筋、脳神経

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ●頭痛                      | 17 ツムラ五苓散<br>37 ツムラ半夏白朮天麻湯<br>38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯<br>63 ツムラ五積散<br>82 ツムラ桂枝人参湯<br>124 ツムラ川芎茶調散 |
| ●慢性頭痛<br>(中年以降、または高血圧傾向) | 47 ツムラ釣藤散  |

|                        |  |
|------------------------|--|
| ●習慣性頭痛                 | 31 ツムラ呉茱萸湯   |
| ●習慣性偏頭痛                | 31 ツムラ呉茱萸湯   |
| ●めまい                   | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>17 ツムラ五苓散<br>37 ツムラ半夏白朮天麻湯<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯               |
| ●浮腫                    | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防己黄耆湯<br>36 ツムラ木防己湯                                 |
| ●浮腫(腰以下)               | 40 ツムラ猪苓湯  |
| ●むくみ                   | 62 ツムラ防風通聖散<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>114 ツムラ柴苓湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散 |
| ●脳溢血                   | 8 ツムラ大柴胡湯<br>30 ツムラ真武湯   |
| ●半身不随                  | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>30 ツムラ真武湯<br>41 ツムラ補中益気湯                                |
| ●しびれ                   | 107 ツムラ牛車腎気丸   |
| ●脊髄疾患による運動<br>ならびに知覚麻痺 | 30 ツムラ真武湯  |
| ●神経痛                   | 18 ツムラ桂枝加朮附湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>63 ツムラ五積散<br>78 ツムラ麻杏薏甘湯                |
| ●神経痛(上半身)              | 1 ツムラ葛根湯   |
| ●坐骨神経痛                 | 7 ツムラ八味地黄丸   |
| ●肩こり                   | 1 ツムラ葛根湯   |

|      |  |
|------|--|
| ●五十肩 | 88 ツムラニホ湯  |
| ●腰痛  | 7 ツムラ八味地黄丸<br>38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>61 ツムラ桃核承気湯<br>63 ツムラ五積散<br>105 ツムラ通導散<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>118 ツムラ苓姜朮甘湯 |
| ●関節痛 | 18 ツムラ桂枝加朮附湯<br>52 ツムラ薏苡仁湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>63 ツムラ五積散<br>68 ツムラ芍薬甘草湯<br>78 ツムラ麻杏薏甘湯                                     |
| ●筋炎  | 20 ツムラ防己黄耆湯  |
| ●筋肉痛 | 52 ツムラ薏苡仁湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>68 ツムラ芍薬甘草湯<br>78 ツムラ麻杏薏甘湯  |

## 膠原病

|              |                          |
|--------------|--------------------------|
| ●関節リウマチ      | 27 ツムラ麻黄湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯 |
| ●リウマチ        | 30 ツムラ真武湯                |
| ●関節リウマチ (下肢) | 97 ツムラ大防風湯               |

# 小 児

|              |   |
|--------------|---|
| ●感冒          | 1 ツムラ葛根湯<br>9 ツムラ小柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>19 ツムラ小青竜湯<br>27 ツムラ麻黄湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>63 ツムラ五積散<br>66 ツムラ参蘇飲<br>91 ツムラ竹筴温胆湯<br>124 ツムラ川芎茶調散<br>127 ツムラ麻黄附子細辛湯 |
| ●感冒(初期)      | 45 ツムラ桂枝湯<br>70 ツムラ香蘇散<br>101 ツムラ升麻葛根湯  |
| ●流感          | 10 ツムラ柴胡桂枝湯   |
| ●インフルエンザ     | 91 ツムラ竹筴温胆湯   |
| ●インフルエンザ(初期) | 27 ツムラ麻黄湯   |
| ●気管支炎        | 9 ツムラ小柴胡湯<br>19 ツムラ小青竜湯<br>29 ツムラ麦門冬湯<br>35 ツムラ四逆散<br>85 ツムラ神秘湯<br>96 ツムラ柴朴湯<br>119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯<br>127 ツムラ麻黄附子細辛湯   |
| ●気管支喘息       | 9 ツムラ小柴胡湯<br>19 ツムラ小青竜湯<br>27 ツムラ麻黄湯<br>29 ツムラ麦門冬湯<br>55 ツムラ麻杏甘石湯<br>85 ツムラ神秘湯<br>95 ツムラ五虎湯   |

|                |   |
|----------------|---|
| ●気管支喘息         | 96 ツムラ柴朴湯<br>119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯  |
| ●小児ぜんそく        | 55 ツムラ麻杏甘石湯<br>85 ツムラ神秘湯<br>96 ツムラ柴朴湯   |
| ●咳             | 16 ツムラ半夏厚朴湯<br>66 ツムラ参蘇飲<br>73 ツムラ柴陷湯<br>91 ツムラ竹筍温胆湯<br>92 ツムラ滋陰至宝湯<br>95 ツムラ五虎湯<br>96 ツムラ柴朴湯 |
| (痰の切れにくい)      | 29 ツムラ麦門冬湯  |
| (痰の多く出る)       | 90 ツムラ清肺湯   |
| (痰の出ない)        | 93 ツムラ滋陰降火湯   |
| ●肺炎            | 9 ツムラ小柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯<br>91 ツムラ竹筍温胆湯   |
| ●肝機能障害         | 8 ツムラ大柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯  |
| ●慢性肝炎における肝機能障害 | 9 ツムラ小柴胡湯   |
| ●黄疸            | 8 ツムラ大柴胡湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯  |
| ●小児虚弱体質        | 99 ツムラ小建中湯  |
| ●下痢            | 17 ツムラ五苓散<br>40 ツムラ猪苓湯<br>75 ツムラ四君子湯<br>128 ツムラ啓脾湯<br>136 ツムラ清暑益気湯                            |
| ●醗酵性下痢         | 14 ツムラ半夏瀉心湯   |
| ●水瀉性下痢         | 114 ツムラ柴苓湯  |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| ●消化不良                      | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>30 ツムラ真武湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>79 ツムラ平胃散<br>128 ツムラ啓脾湯                                  |
| ●腹痛                        | 60 ツムラ桂枝加芍薬湯<br>68 ツムラ芍薬甘草湯<br>100 ツムラ大建中湯<br>102 ツムラ当帰湯<br>115 ツムラ胃苓湯                             |
| ●下腹部痛                      | 38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●悪心                        | 8 ツムラ大柴胡湯<br>17 ツムラ五苓散<br>81 ツムラ二陳湯  |
| ●嘔吐                        | 8 ツムラ大柴胡湯<br>17 ツムラ五苓散<br>31 ツムラ呉茱萸湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>75 ツムラ四君子湯<br>81 ツムラ二陳湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散      |
| ●嘔吐（急性胃腸炎、湿性胸膜炎、水腫性脚気、蓄膿症） | 21 ツムラ小半夏加茯苓湯  |
| ●食欲不振                      | 8 ツムラ大柴胡湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>48 ツムラ十全大補湯<br>79 ツムラ平胃散<br>108 ツムラ人參養栄湯<br>136 ツムラ清暑益気湯 |
| ●腎臓病                       | 119 ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯  |
| ●慢性腎臓病                     | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯   |

|             |  |
|-------------|--|
| ●腎炎         | 7 ツムラ八味地黄丸<br>20 ツムラ防己黄耆湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯<br>40 ツムラ猪苓湯                      |
| ●慢性腎炎       | 23 ツムラ当归芍薬散  |
| ●ネフローゼ      | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防己黄耆湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯<br>30 ツムラ真武湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯        |
| ●浮腫         | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防己黄耆湯<br>36 ツムラ木防己湯                                     |
| ●浮腫(腰以下)    | 40 ツムラ猪苓湯  |
| ●むくみ        | 62 ツムラ防風通聖散<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>114 ツムラ柴苓湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散     |
| ●めまい        | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>17 ツムラ五苓散<br>37 ツムラ半夏白朮天麻湯<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯                   |
| ●小児夜尿症      | 26 ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯<br>99 ツムラ小建中湯   |
| ●夜尿症        | 28 ツムラ越婢加朮湯<br>118 ツムラ苓姜朮甘湯  |
| ●小児夜啼症(夜なき) | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯<br>54 ツムラ抑肝散<br>72 ツムラ甘麦大棗湯<br>83 ツムラ抑肝散加陳皮半夏<br>99 ツムラ小建中湯 |

|                  |  |
|------------------|--|
| ●小児疳症            | 54 ツムラ抑肝散<br>83 ツムラ抑肝散加陳皮半夏  |
| ●てんかん            | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯   |
| ●ひきつけ            | 72 ツムラ甘麦大棗湯  |
| ●神経症             | 11 ツムラ柴胡桂枝乾姜湯<br>14 ツムラ半夏瀉心湯<br>54 ツムラ抑肝散<br>57 ツムラ温清飲<br>80 ツムラ柴胡清肝湯<br>83 ツムラ抑肝散加陳皮半夏<br>106 ツムラ温経湯<br>133 ツムラ大承気湯<br>137 ツムラ加味帰脾湯 |
| ●ねあせ             | 48 ツムラ十全大補湯<br>98 ツムラ黄耆建中湯<br>108 ツムラ人參養榮湯   |
| ●哺乳困難            | 27 ツムラ麻黄湯  |
| ●乳児の鼻閉塞          | 27 ツムラ麻黄湯  |
| ●中耳炎             | 1 ツムラ葛根湯   |
| ●慢性扁桃炎           | 50 ツムラ荊芥連翹湯<br>80 ツムラ柴胡清肝湯   |
| ●急性湿疹            | 6 ツムラ十味敗毒湯   |
| ●慢性湿疹(分泌物の少ないもの) | 86 ツムラ当帰飲子   |
| ●湿疹              | 15 ツムラ黄连解毒湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯<br>59 ツムラ治頭瘡一方<br>80 ツムラ柴胡清肝湯<br>106 ツムラ温経湯   |
| ●乳幼児の湿疹          | 59 ツムラ治頭瘡一方  |
| ●くさ              | 59 ツムラ治頭瘡一方  |

|  |   |
|--|---|
| <p>●蕁麻疹(じんましん)</p>                                     | <p>1 ツムラ葛根湯<br/> 6 ツムラ十味敗毒湯<br/> 8 ツムラ大柴胡湯<br/> 117 ツムラ茵陳五苓散<br/> 135 ツムラ茵陳蒿湯</p> |
| <p>●分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病<br/> (湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚掻痒症)</p> | <p>22 ツムラ消風散</p>  |

## 外科、周術期

|                |  |
|----------------|--|
| ●病後の体力低下       | 41 ツムラ補中益気湯<br>48 ツムラ十全大補湯<br>98 ツムラ黄耆建中湯<br>108 ツムラ人参養栄湯  |
| ●肝機能障害         | 8 ツムラ大柴胡湯<br>10 ツムラ柴胡桂枝湯   |
| ●慢性肝炎における肝機能障害 | 9 ツムラ小柴胡湯  |
| ●黄疸            | 8 ツムラ大柴胡湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯   |
| ●食欲不振          | 8 ツムラ大柴胡湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>43 ツムラ六君子湯<br>48 ツムラ十全大補湯<br>79 ツムラ平胃散<br>108 ツムラ人参養栄湯<br>136 ツムラ清暑益気湯 |
| ●下痢            | 17 ツムラ五苓散<br>40 ツムラ猪苓湯<br>75 ツムラ四君子湯<br>128 ツムラ啓脾湯<br>136 ツムラ清暑益気湯                                 |
| ●醗酵性下痢         | 14 ツムラ半夏瀉心湯  |
| ●水瀉性下痢         | 114 ツムラ柴苓湯   |
| ●便秘(症)         | 33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>51 ツムラ潤腸湯<br>61 ツムラ桃核承気湯<br>62 ツムラ防風通聖散<br>74 ツムラ調胃承気湯<br>84 ツムラ大黄甘草湯              |

|          |   |
|----------|---|
| ●便秘(症)   | 105 ツムラ通導散<br>113 ツムラ三黄瀉心湯<br>126 ツムラ麻子仁丸                               |
| ●急性便秘    | 133 ツムラ大承気湯   |
| ●腹部膨満感   | 100 ツムラ大建中湯<br>102 ツムラ当帰湯   |
| ●浮腫      | 17 ツムラ五苓散<br>20 ツムラ防己黄耆湯<br>36 ツムラ木防己湯                                  |
| ●浮腫(腰以下) | 40 ツムラ猪苓湯   |
| ●むくみ     | 62 ツムラ防風通聖散<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>114 ツムラ柴苓湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散  |
| ●リンパ腺炎   | 1 ツムラ葛根湯<br>9 ツムラ小柴胡湯   |
| ●キレ痔     | 3 ツムラ乙字湯  |
| ●イボ痔     | 3 ツムラ乙字湯  |
| ●痔(疾)    | 8 ツムラ大柴胡湯<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>123 ツムラ当帰建中湯 |
| ●痔核による疼痛 | 501 ツムラ紫雲膏  |
| ●脱肛      | 41 ツムラ補中益気湯   |
| ●脱肛の痛み   | 123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●肛門裂傷    | 501 ツムラ紫雲膏  |
| ●痔出血     | 77 ツムラ芍帰膠艾湯<br>113 ツムラ三黄瀉心湯   |

|              |                           |
|--------------|---------------------------|
| ●打撲(症)       | 25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>105 ツムラ通導散 |
| ●打撲によるはれ及び痛み | 89 ツムラ治打撲一方               |
| ●火傷          | 501 ツムラ紫雲膏                |

## 整形・運動器

|                         |  |
|-------------------------|--|
| ●腰痛                     | 7 ツムラ八味地黄丸<br>38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>61 ツムラ桃核承気湯<br>63 ツムラ五積散<br>105 ツムラ通導散<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>118 ツムラ苓姜朮甘湯 |
| ●肩こり                    | 1 ツムラ葛根湯   |
| ●五十肩                    | 88 ツムラ二朮湯  |
| ●しびれ                    | 107 ツムラ牛車腎気丸   |
| ●下肢痛                    | 107 ツムラ牛車腎気丸   |
| ●筋肉痛                    | 52 ツムラ薏苡仁湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>68 ツムラ芍薬甘草湯<br>78 ツムラ麻杏薏甘湯  |
| ●急激におこる筋肉の<br>けいれんを伴う疼痛 | 68 ツムラ芍薬甘草湯  |
| ●神経痛                    | 18 ツムラ桂枝加朮附湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>63 ツムラ五積散<br>78 ツムラ麻杏薏甘湯  |
| ●神経痛(上半身)               | 1 ツムラ葛根湯   |

|             |  |
|-------------|--|
| ●坐骨神経痛      | 7 ツムラ八味地黄丸   |
| ●リウマチ       | 30 ツムラ真武湯  |
| ●関節リウマチ     | 27 ツムラ麻黄湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯   |
| ●関節リウマチ(下肢) | 97 ツムラ大防風湯   |
| ●関節痛        | 18 ツムラ桂枝加朮附湯<br>52 ツムラ薏苡仁湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>63 ツムラ五積散<br>68 ツムラ芍薬甘草湯<br>78 ツムラ麻杏薏甘湯 |
| ●関節炎        | 20 ツムラ防己黄耆湯  |
| ●慢性関節炎      | 97 ツムラ大防風湯   |
| ●筋炎         | 20 ツムラ防己黄耆湯  |

## 産婦人科

|                            |   |
|----------------------------|---|
| ●つわり                       | 16 ツムラ半夏厚朴湯<br>21 ツムラ小半夏加茯苓湯<br>32 ツムラ人参湯<br>116 ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯 |
| ●妊娠中の諸病<br>(浮腫、習慣性流産、痔、腹痛) | 23 ツムラ当归芍薬散   |
| ●妊娠腎                       | 20 ツムラ防己黄耆湯   |
| ●産後回復不全                    | 9 ツムラ小柴胡湯   |
| ●産後あるいは流産後の<br>疲労回復        | 71 ツムラ四物湯   |
| ●乳腺炎                       | 1 ツムラ葛根湯  |

|              |  |
|--------------|--|
| ●更年期障害       | 11 ツムラ柴胡桂枝乾姜湯<br>23 ツムラ当帰芍薬散<br>24 ツムラ加味逍遙散<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>57 ツムラ温清飲<br>63 ツムラ五積散<br>105 ツムラ通導散<br>106 ツムラ温経湯<br>113 ツムラ三黄瀉心湯       |
| ●血の道症        | 11 ツムラ柴胡桂枝乾姜湯<br>15 ツムラ黄連解毒湯<br>24 ツムラ加味逍遙散<br>57 ツムラ温清飲<br>67 ツムラ女神散<br>71 ツムラ四物湯<br>113 ツムラ三黄瀉心湯<br>124 ツムラ川芎茶調散<br>125 ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁 |
| ●月経時や産後の精神不安 | 61 ツムラ桃核承気湯  |
| ●産前産後の神経症    | 67 ツムラ女神散  |
| ●冷え症         | 24 ツムラ加味逍遙散<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>63 ツムラ五積散<br>71 ツムラ四物湯   |
| ●冷え（手足）      | 48 ツムラ十全大補湯<br>108 ツムラ人參養榮湯  |
| （足腰）         | 106 ツムラ温経湯   |
| （腰）          | 118 ツムラ苓姜朮甘湯   |
| （下肢）         | 37 ツムラ半夏白朮天麻湯  |
| ●貧血          | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>48 ツムラ十全大補湯<br>65 ツムラ帰脾湯<br>108 ツムラ人參養榮湯<br>137 ツムラ加味帰脾湯  |

|          |  |
|----------|--|
| ●月経不順    | 20 ツムラ防己黄耆湯<br>23 ツムラ当帰芍薬散<br>24 ツムラ加味逍遙散<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>57 ツムラ温清飲<br>61 ツムラ桃核承気湯<br>67 ツムラ女神散<br>71 ツムラ四物湯<br>105 ツムラ通導散<br>106 ツムラ温経湯<br>125 ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁 |
| ●不妊症     | 23 ツムラ当帰芍薬散  |
| ●月経困難(症) | 23 ツムラ当帰芍薬散<br>24 ツムラ加味逍遙散<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>57 ツムラ温清飲<br>61 ツムラ桃核承気湯<br>106 ツムラ温経湯  |
| ●月経痛     | 63 ツムラ五積散<br>105 ツムラ通導散<br>123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●下腹部痛    | 38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●腰痛      | 7 ツムラ八味地黄丸<br>38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>53 ツムラ疎経活血湯<br>61 ツムラ桃核承気湯<br>63 ツムラ五積散<br>105 ツムラ通導散<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>118 ツムラ苓姜朮甘湯   |

|                |   |
|----------------|---|
| ●子宮下垂          | 41 ツムラ補中益気湯   |
| ●子宮内膜炎         | 25 ツムラ桂枝茯苓丸   |
| ●子宮並びにその付属器の炎症 | 25 ツムラ桂枝茯苓丸   |
| ●帯下(こしけ)       | 25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>76 ツムラ竜胆瀉肝湯<br>106 ツムラ温経湯                                |
| ●キレ痔           | 3 ツムラ乙字湯  |
| ●イボ痔           | 3 ツムラ乙字湯  |
| ●痔(疾)          | 8 ツムラ大柴胡湯<br>25 ツムラ桂枝茯苓丸<br>33 ツムラ大黄牡丹皮湯<br>41 ツムラ補中益気湯<br>123 ツムラ当帰建中湯 |
| ●痔(妊娠中)        | 23 ツムラ当帰芍薬散   |
| ●痔核による疼痛       | 501 ツムラ紫雲膏  |
| ●脱肛            | 41 ツムラ補中益気湯   |
| ●脱肛の痛み         | 123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●肛門裂傷          | 501 ツムラ紫雲膏  |
| ●痔出血           | 77 ツムラ芍帰膠艾湯<br>113 ツムラ三黄瀉心湯   |
| ●膀胱炎           | 7 ツムラ八味地黄丸  |
| ●尿道炎           | 40 ツムラ猪苓湯   |

## 皮膚

|   |  |
|---|--|
| ●皮膚病  | 20 ツムラ防己黄耆湯  |
| ●分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病<br>(湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚掻痒症) | 22 ツムラ消風散  |
| ●皮膚炎  | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>101 ツムラ升麻葛根湯  |
| ●患部が発赤、腫脹して疼痛をともなった化膿症                        | 122 ツムラ排膿散及湯   |
| ●化膿性皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期                            | 6 ツムラ十味敗毒湯   |
| ●急性湿疹   | 6 ツムラ十味敗毒湯   |
| ●慢性湿疹(分泌物の少ないもの)                              | 86 ツムラ当帰飲子   |
| ●湿疹   | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>28 ツムラ越婢加朮湯<br>59 ツムラ治頭瘡一方<br>80 ツムラ柴胡清肝湯<br>106 ツムラ温経湯 |
| ●くさ   | 59 ツムラ治頭瘡一方  |
| ●蕁麻疹(じんましん)                                   | 1 ツムラ葛根湯<br>6 ツムラ十味敗毒湯<br>8 ツムラ大柴胡湯<br>117 ツムラ茵陳五苓散<br>135 ツムラ茵陳蒿湯     |
| ●皮膚掻痒症  | 15 ツムラ黄連解毒湯  |
| ●老人性掻痒症                                       | 30 ツムラ真武湯  |
| ●かゆみ  | 86 ツムラ当帰飲子<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸                                |
| ●癬(よう)  | 20 ツムラ防己黄耆湯  |

|        |  |
|--------|--|
| ●癩(せつ) | 20 ツムラ防己黄耆湯<br>122 ツムラ排膿散及湯                    |
| ●瘍(よう) | 122 ツムラ排膿散及湯                                   |
| ●面疔    | 122 ツムラ排膿散及湯                                   |
| ●癰腫症   | 122 ツムラ排膿散及湯                                   |
| ●にきび   | 50 ツムラ荊芥連翹湯<br>58 ツムラ清上防風湯<br>125 ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁 |
| ●しもやけ  | 38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>71 ツムラ四物湯<br>106 ツムラ温経湯   |
| ●水虫    | 6 ツムラ十味敗毒湯                                     |
| ●しみ    | 71 ツムラ四物湯<br>125 ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁                  |
| ●火傷    | 501 ツムラ紫雲膏                                     |
| ●手足のあれ | 125 ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁                               |

## 泌尿器

|        |   |
|--------|---|
| ●膀胱炎   | 7 ツムラ八味地黄丸  |
| ●尿道炎   | 40 ツムラ猪苓湯   |
| ●淋炎    | 40 ツムラ猪苓湯   |
| ●前立腺肥大 | 7 ツムラ八味地黄丸  |
| ●排尿困難  | 87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>112 ツムラ猪苓湯合四物湯                             |
| ●残尿感   | 40 ツムラ猪苓湯<br>56 ツムラ五淋散<br>76 ツムラ竜胆瀉肝湯<br>111 ツムラ清心蓮子飲<br>112 ツムラ猪苓湯合四物湯 |

|        |  |
|--------|--|
| ●排尿痛   | 40 ツムラ猪苓湯<br>56 ツムラ五淋散<br>76 ツムラ竜胆瀉肝湯<br>111 ツムラ清心蓮子飲<br>112 ツムラ猪苓湯合四物湯  |
| ●頻尿    | 56 ツムラ五淋散<br>87 ツムラ六味丸<br>107 ツムラ牛車腎気丸<br>111 ツムラ清心蓮子飲<br>112 ツムラ猪苓湯合四物湯 |
| ●血尿    | 40 ツムラ猪苓湯  |
| ●尿の濁り  | 76 ツムラ竜胆瀉肝湯  |
| ●辜丸炎   | 25 ツムラ桂枝茯苓丸  |
| ●陰嚢水腫  | 20 ツムラ防己黄耆湯  |
| ●陰萎    | 7 ツムラ八味地黄丸<br>12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯<br>26 ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯<br>41 ツムラ補中益気湯            |
| ●遺精    | 26 ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯   |
| ●下腹部痛  | 38 ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯<br>123 ツムラ当帰建中湯  |
| ●腹部膨満感 | 100 ツムラ大建中湯<br>102 ツムラ当帰湯  |

## 耳鼻咽喉

|           |  |
|-----------|--|
| ●中耳炎      | 1 ツムラ葛根湯   |
| ●めまい      | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>17 ツムラ五苓散<br>37 ツムラ半夏白朮天麻湯<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯 |
| ●アレルギー性鼻炎 | 19 ツムラ小青竜湯   |
| ●鼻炎       | 19 ツムラ小青竜湯<br>35 ツムラ四逆散                                  |

|           |  |
|-----------|--|
| ●慢性鼻炎     | 2 ツムラ葛根湯加川芎辛夷<br>50 ツムラ荊芥連翹湯<br>104 ツムラ辛夷清肺湯 |
| ●蓄膿症      | 2 ツムラ葛根湯加川芎辛夷<br>50 ツムラ荊芥連翹湯<br>104 ツムラ辛夷清肺湯 |
| ●鼻づまり     | 2 ツムラ葛根湯加川芎辛夷<br>104 ツムラ辛夷清肺湯                |
| ●鼻かぜ      | 1 ツムラ葛根湯                                     |
| ●鼻(出)血    | 15 ツムラ黄連解毒湯<br>113 ツムラ三黄瀉心湯                  |
| ●神経性食道狭窄症 | 16 ツムラ半夏厚朴湯                                  |
| ●扁桃炎      | 1 ツムラ葛根湯<br>109 ツムラ小柴胡湯加桔梗石膏<br>138 ツムラ桔梗湯   |
| ●慢性扁桃炎    | 50 ツムラ荊芥連翹湯<br>80 ツムラ柴胡清肝湯                   |
| ●扁桃周囲炎    | 109 ツムラ小柴胡湯加桔梗石膏<br>138 ツムラ桔梗湯               |
| ●しわがれ声    | 16 ツムラ半夏厚朴湯                                  |
| ●口内炎      | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>120 ツムラ黄連湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯     |

## 精神・神経

|      |  |
|------|--|
| ●神経症 | 11 ツムラ柴胡桂枝乾姜湯<br>14 ツムラ半夏瀉心湯<br>54 ツムラ抑肝散<br>57 ツムラ温清飲<br>80 ツムラ柴胡清肝湯<br>83 ツムラ抑肝散加陳皮半夏<br>106 ツムラ温経湯<br>133 ツムラ大承気湯<br>137 ツムラ加味帰脾湯 |
|------|--|

|          |   |
|----------|---|
| ●ノイローゼ   | 8 ツムラ大柴胡湯<br>15 ツムラ黄連解毒湯<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯   |
| ●ヒステリー   | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯<br>35 ツムラ四逆散   |
| ●不安神経症   | 16 ツムラ半夏厚朴湯<br>96 ツムラ柴朴湯<br>116 ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯  |
| ●精神不安    | 137 ツムラ加味帰脾湯  |
| ●神経質     | 35 ツムラ四逆散<br>39 ツムラ苓桂朮甘湯<br>99 ツムラ小建中湯  |
| ●神経衰弱(症) | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯<br>26 ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯<br>30 ツムラ真武湯   |
| ●性的神経衰弱  | 26 ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯  |
| ●不眠(症)   | 8 ツムラ大柴胡湯<br>11 ツムラ柴胡桂枝乾姜湯<br>15 ツムラ黄連解毒湯<br>16 ツムラ半夏厚朴湯<br>54 ツムラ抑肝散<br>65 ツムラ帰脾湯<br>83 ツムラ抑肝散加陳皮半夏<br>103 ツムラ酸棗仁湯<br>106 ツムラ温経湯<br>137 ツムラ加味帰脾湯 |
| ●てんかん    | 12 ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯  |

## 眼

|            |              |
|------------|--------------|
| ●結膜炎       | 1 ツムラ葛根湯     |
| ●角膜炎       | 1 ツムラ葛根湯     |
| ●アレルギー性結膜炎 | 19 ツムラ小青竜湯   |
| ●老人のかすみ目   | 107 ツムラ牛車腎気丸 |

## 歯・口腔

|                        |  |
|------------------------|--|
| ●抜歯後の疼痛                | 110 ツムラ立効散                               |
| ●歯痛                    | 110 ツムラ立効散                               |
| ●口内炎                   | 14 ツムラ半夏瀉心湯<br>120 ツムラ黄連湯<br>135 ツムラ茵陳蒿湯 |
| ●口渇                    | 34 ツムラ白虎加人參湯                             |
| ●患部が発赤、腫脹して疼痛をともなった化膿症 | 122 ツムラ排膿散及湯                             |

■効能又は効果につきましては最新の電子添文でご確認ください。

ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用) 128品目、TJ-501ツムラ紫雲膏

|            |        |
|------------|--------|
| 日本標準商品分類番号 | 875200 |
|------------|--------|

|      |      |
|------|------|
| 薬効分類 | 漢方製剤 |
|------|------|

薬価基準収載品

TJ-3020ツムラの生薬コウジン末(調剤用)

|            |        |
|------------|--------|
| 日本標準商品分類番号 | 875100 |
|------------|--------|

|      |    |
|------|----|
| 薬効分類 | 生薬 |
|------|----|

薬価基準収載品

TJ-3023日本薬局方ブシ末ブシ末(調剤用)「ツムラ」

|            |        |
|------------|--------|
| 日本標準商品分類番号 | 875900 |
|------------|--------|

|      |      |
|------|------|
| 薬効分類 | 生薬製剤 |
|------|------|

薬価基準収載品

※販売開始年月については各製品の最新の電子添文をご覧ください。

記号番号のTJはTSUMURA JAPANの略

# 注意事項等情報

■詳細は電子添文をご確認ください。  
電子添文の改訂にご留意下さい。

## 警告

### 【警告】

1. 本剤の投与により、間質性肺炎が起こり、早期に適切な処置を行わない場合、死亡等の重篤な転帰に至ることがあるので、患者の状態を十分観察し、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常、胸部X線異常、胸部CT異常等があらわれた場合には、ただちに本剤の投与を中止すること。
2. 咳嗽、呼吸困難、発熱等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

〔該当製品番号〕 TJ-9（ツムラ小柴胡湯）

## 禁忌(次の患者には投与しないこと)

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. インターフェロン製剤を投与中の患者
2. 肝硬変、肝癌の患者
3. 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/ $\text{mm}^3$ 以下の患者

〔該当製品番号〕 TJ-9（ツムラ小柴胡湯）

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- 〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

〔該当製品番号〕（1日量としてカンゾウを2.5g以上含有する品目） TJ-14、19、32、56、64、68、72、77、82、120、122、138

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
  2. 重度(重症)の熱傷・外傷のある患者
  3. 化膿性の創傷で高熱のある患者
  4. 患部の湿潤やただれのひどい患者
- 〔2～4：当該症状が悪化するおそれがある。〕

〔該当製品番号〕 TJ-501

## ■重要な基本的注意

- Ⓐ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。  
(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。  
〔該当製品番号〕TJ-1、2、5、6、10、11、14、19、20、22、26、27、28、29、32、34、35、38、39、41、43、45、47、48、52、53、54、55、60、63、64、65、66、67、68、70、72、73、75、77、78、79、81、82、83、85、86、88、91、92、93、95、96、98、99、101、102、103、106、108、109、110、111、114、115、118、119、120、122、123、124、128、136、138
- 
- Ⓑ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。  
(3)サンシシ含有製剤の長期投与(多くは5年以上)により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合にあっては、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。  
(4)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。  
〔該当製品番号〕TJ-24、50、56、58、76、80、90、137
- 
- Ⓒ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。  
(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。  
(4)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。  
〔該当製品番号〕TJ-3、51、59、61、74、84、89、105、134

- ④ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。
- (3)サンシシ含有製剤の長期投与（多くは5年以上）により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合には、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。
- (4)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。
- (5)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。

〔該当製品番号〕 TJ-62

---

- ⑤ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

〔該当製品番号〕 TJ-18、97

---

⑥ 〈効能共通〉

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

〈慢性肝炎における肝機能障害の改善〉

- (4)本剤を投与中は、血小板数の変化に注意し、血小板数の減少が認められた場合には、投与を中止すること。

〔該当製品番号〕 TJ-9

- ㉔ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。  
(3)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。  
〔該当製品番号〕 TJ-8、33、113、126、133
- 

- ㉕ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)サンシシ含有製剤の長期投与（多くは5年以上）により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合にあっては、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。  
(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。  
(4)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。  
〔該当製品番号〕 TJ-135
- 

- ㉖ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。  
〔該当製品番号〕 TJ-7、30、107、127
- 

- ㉗ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。  
〔該当製品番号〕 TJ-12、16、17、21、23、25、31、36、37、40、46、69、71、87、100、112、116、117、121、125

- ㊦ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)サンシシ含有製剤の長期投与（多くは5年以上）により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合には、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
- 〔該当製品番号〕 TJ-15、57、104
- 

- ㊧ (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 〔該当製品番号〕 TJ-501
- 

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

合併症・既往歴等のある患者、腎機能障害患者、肝機能障害患者については、各製品別に記載しましたのでご参照下さい。

### ・妊婦

- ㊦妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

〔該当製品番号〕

TJ-1、2、5、6、9、10、11、12、14、15、16、17、19、20、21、22、23、26、27、28、29、31、32、34、35、36、37、38、39、40、41、43、45、46、47、48、50、52、54、55、56、57、58、60、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、75、76、77、78、79、80、81、82、83、85、86、88、90、91、92、93、95、96、98、99、100、101、102、103、104、108、109、110、111、112、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、128、136、137、138

- ①妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが望ましい。本剤に含まれるダイオウ（子宮収縮作用及び骨盤内臓器の充血作用）、無水ボウショウ（子宮収縮作用）、コウカ、トウニン、ボタンピ、ゴシツにより流早産の危険性がある。  
〔該当製品番号〕 TJ-3、8、24、25、33、51、53、59、61、62、74、84、87、89、105、106、113、125、126、133、134、135
- 

- ②妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが望ましい。本剤に含まれるゴシツ、ボタンピにより流早産の危険性があり、またプシ末の副作用があらわれやすくなる。  
〔該当製品番号〕 TJ-7、97、107
- 

- ③妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが望ましい。本剤に含まれるプシ末の副作用があらわれやすくなる。  
〔該当製品番号〕 TJ-18、30、127
- 

\*妊婦の下線については、各製品の組成の違いにより表記内容が異なりますので、詳細は製品電子添文をご確認下さい。

#### ・授乳婦

- ④治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。  
〔該当製品番号〕 下記⑤以外の処方（TJ-501、3020、3023を除く）
- ⑤治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。本剤に含まれるダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳中に移行し、乳児の下痢を起こすことがある。  
〔該当製品番号〕 TJ-3、8、33、51、59、61、62、74、84、89、105、113、126、133、134、135

#### ・小児等

- ⑥小児等を対象とした臨床試験は実施していない。  
〔該当製品番号〕 下記⑦以外の処方（TJ-3020、3023を除く）
- ⑦慎重に投与すること。本剤にはプシ末が含まれている。  
〔該当製品番号〕 TJ-7、18、30、97、107、127

## ・高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。(TJ-80、501、3020、3023を除く)

## ■相互作用

### 併用禁忌(併用しないこと)

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法         | 機序・危険因子 |
|--|-------------------|---------|
| インターフェロン製剤<br>インターフェロン-α<br>(スミフェロン等)<br>インターフェロン-β<br>(フェロン等) | 間質性肺炎があらわれることがある。 | 機序は不明   |

### [該当製品番号]TJ-9 (ツムラ小柴胡湯)

\* [A]「マオウ含有製剤」 [B]および [C]「カンゾウ含有製剤」の薬剤名は製品ごとに異なりますので、詳細は電子添文をご確認ください。

### [A] マオウ含有製剤の併用注意(併用に注意すること)

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子                 |
|--|--|-------------------------|
| マオウ含有製剤<br>葛根湯<br>小青竜湯<br>麻黄湯 等<br>エフェドリン類含有製剤<br>エフェドリン塩酸塩<br>d,l-メチルエフェドリン塩酸塩<br>フェキソフェナジン塩酸塩・塩酸プソイドエフェドリン 等<br>モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤<br>セレギリン塩酸塩<br>ラサギリンメシル酸塩 等<br>甲状腺製剤<br>チロキシシン<br>リオチロニン 等<br>カテコールアミン製剤<br>アドレナリン<br>イソプレナリン 等<br>キサンチン系製剤<br>テオフィリン<br>ジプロフィリン 等 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等があらわれやすくなるので、減量するなど慎重に投与すること。 | 交感神経刺激作用が増強されることが考えられる。 |

[該当製品番号]TJ-1、2、19、27、28、52、55、62、63、78、85、95、127

㊦ **カンゾウ含有製剤の併用注意(併用に注意すること)**

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法   | 機序・危険因子   |
|--|---|---|
| カンゾウ含有製剤<br>芍薬甘草湯<br>補中益気湯<br>抑肝散 等<br>グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤<br>グリチルリチン酸-アンモニウム・グリシン・L-システイン<br>グリチルリチン酸-アンモニウム・グリシン・DL-メチオニン配合錠 等<br>ループ系利尿剤<br>アゾセミド<br>トラセミド<br>フロセミド 等<br>チアジド系利尿剤<br>トリクロルメチアジド<br>ヒドロクロロチアジド<br>ベチルヒドロクロロチアジド等 | 偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 | グリチルリチン酸及び利尿剤は尿管細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。 |

[該当製品番号]TJ-9, 14, 19, 32, 38, 56, 64, 68, 72, 77, 82, 120, 122, 138

㊦ **カンゾウ含有製剤の併用注意(併用に注意すること)**

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法   | 機序・危険因子  |
|--|---|--|
| カンゾウ含有製剤<br>芍薬甘草湯<br>補中益気湯<br>抑肝散 等<br>グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤<br>グリチルリチン酸-アンモニウム・グリシン・L-システイン<br>グリチルリチン酸-アンモニウム・グリシン・DL-メチオニン配合錠 等 | 偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 | グリチルリチン酸は尿管細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。 |

[該当製品番号]TJ-1, 2, 3, 5, 6, 10, 11, 18, 20, 22, 24, 26, 27, 28, 29, 34, 35, 39, 41, 43, 45, 47, 48, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 65, 66, 67, 70, 73, 74, 75, 76, 78, 79, 80, 81, 83, 84, 85, 86, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 95, 96, 97, 98, 99, 101, 102, 103, 105, 106, 108, 109, 110, 111, 114, 115, 118, 119, 123, 124, 128, 134, 136, 137

## 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 1. 重大な副作用

#### 間質性肺炎（頻度不明）

(ア) 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、咳嗽、呼吸困難、発熱等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-3、8、9、10、11、12、14、15、19、20、29、41、51、62、90、96、104、107、111、114、121

(イ) 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-50、54、56、57、68、76、88、100、109、113

#### 偽アルドステロン症（頻度不明）

低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-1、2、3、5、6、9、10、11、14、18、19、20、22、24、26、27、28、29、32、34、35、38、39、41、43、45、47、48、50、51、52、53、54、55、56、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、70、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、88、89、90、91、92、93、95、96、97、98、99、101、102、103、105、106、108、109、110、111、114、115、118、119、120、122、123、124、128、134、136、137、138

#### うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍(Torsade de Pointesを含む)

(いずれも頻度不明)

観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、動悸、息切れ、倦怠感、めまい、失神等の異常が認

められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-68

### **心不全** (頻度不明)

体液貯留、急激な体重増加、心不全症状・徴候(息切れ、心胸比拡大、胸水等)が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-54

### **ミオパチー** (頻度不明)

低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-1、2、3、5、6、10、11、14、18、19、20、22、24、26、27、28、29、32、34、35、38、39、41、43、45、47、48、50、51、52、53、55、56、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、70、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、88、89、90、91、92、93、95、96、97、98、99、101、102、103、105、106、108、109、110、111、114、115、118、119、120、122、123、124、128、134、136、137、138

### **ミオパチー、横紋筋融解症** (いずれも頻度不明)

低カリウム血症の結果として、ミオパチー、横紋筋融解症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、筋力低下、筋肉痛、四肢痙攣・麻痺、CK上昇、血中及び尿中のミオグロビン上昇が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

〔該当製品番号〕TJ-9、54、68

### **劇症肝炎、肝機能障害、黄疸** (いずれも頻度不明)

劇症肝炎、AST、ALT、Al-P、 $\gamma$ -GTP等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。

〔該当製品番号〕TJ-114

### **肝機能障害、黄疸** (いずれも頻度不明)

AST、ALT、Al-P、 $\gamma$ -GTP等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。

〔該当製品番号〕TJ-1、3、8、9、10、11、12、14、15、19、20、24、25、29、41、43、48、50、51、54、57、58、62、67、68、76、88、90、96、100、104、107、108、109、111、113、121、127、135

## **腸間膜静脈硬化症** (頻度不明)

長期投与により、腸間膜静脈硬化症があらわれることがある。腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合には投与を中止し、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。

〔該当製品番号〕TJ-15、24、50、56、57、58、62、76、80、90、104、135、137

## 2. その他の副作用

(その他の副作用につきましては各製品別に記載しましたのでご確認下さい。)

### ■臨床検査結果に及ぼす影響

本剤の投与により、血中AG (1,5-アンヒドロ-D-グルシトール) が増加する場合がある。

〔該当製品番号〕TJ-65、108、137

### ■適用上の注意

#### (1)薬剤交付時の注意

口内炎に対して本剤を使用する場合は、口にふくんでゆっくり服用することができる。

〔該当製品番号〕TJ-14

#### (2)薬剤交付時の注意

本剤は口にふくんでゆっくり服用する。

〔該当製品番号〕TJ-110

#### (3)薬剤投与時の注意

目には使用しないこと。

〔該当製品番号〕TJ-501

### ■その他の注意

「臨床使用に基づく情報」につきましては、各製品別に記載しましたのでご確認下さい。

# 用法及び用量

- 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

次の品目については、用法及び用量が異なる。

〔該当製品番号〕 [TJ-19] (ツムラ小青竜湯)  
[TJ-29] (ツムラ麦門冬湯) [TJ-34] (ツムラ白虎加人参湯)  
[TJ-64] (ツムラ炙甘草湯) [TJ-77] (ツムラ芍帰膠艾湯)  
[TJ-90] (ツムラ清肺湯) [TJ-92] (ツムラ滋陰至宝湯)  
[TJ-108] (ツムラ人参養榮湯) [TJ-114] (ツムラ柴苓湯)

- 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔該当製品番号〕 [TJ-97] (ツムラ大防風湯)

- 通常、成人1日10.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔該当製品番号〕 [TJ-98] (ツムラ黄耆建中湯)

- 通常、成人1日18.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔該当製品番号〕 [TJ-99] (ツムラ小建中湯)

[TJ-100] (ツムラ大建中湯)

- 通常、成人1日15.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔該当製品番号〕 [TJ-501] (ツムラ紫雲膏)

外用／患部を清潔にしたのち、1日数回適量を直接患部に塗布、あるいはガーゼにのぼして貼付する。

〔該当製品番号〕 [TJ-3020] (ツムラの生薬コウジン末)

[TJ-3023] 日本薬局方ブシ末 ブシ末(調剤用)「ツムラ」

- 漢方処方調剤に用いる。

## ■用法及び用量に関連する注意

本剤の使用にあたっては、治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。

〔該当製品番号〕 [TJ-68] (ツムラ芍薬甘草湯)

## 参考

- 小児用量は次の量を標準とする。\*

|             |            |
|-------------|------------|
| 15才未満7才以上…… | 成人用量の2/3   |
| 7才未満4才以上……  | 成人用量の1/2   |
| 4才未満2才以上……  | 成人用量の1/3   |
| 2才未満……      | 成人用量の1/4以下 |

- \* 「一般用漢方処方の手引き」(厚生省薬務局監修)
- 一般に微温湯にて服用するのがよい。ただし悪心・嘔吐のある場合、あるいは吐血、咯血などの出血傾向のある場合には冷服するとよい。
- 慢性疾患に用いる場合は虚実の鑑別が重要である。虚実が明確に判定できない場合には、まず虚証(比較的体力の低下した状態)として投与するのがよい。
- 瞑眩(メンゲン)  
漢方の一概念で、慢性疾患において漢方薬服用後予期しない反応がおき、その後急速に症状が改善してゆくことをいう。
- 胸脇苦満(キョウキョウクマン)  
心窩部より季肋部にかけて苦満感を訴え、抵抗・圧痛の認められる症状をいう。
- 瘀血(オケツ)  
漢方の一概念で、主として婦人科疾患、出血性疾患などに起こり、静脈系のうっ血、出血などに関連した症候群をいう。

# 取扱い上の注意

- (1)本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- (2)開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。
- (3)本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。  
(TJ-501を除く)

衣類に付着すると赤紫色に着色し、脱色しにくいので、注意すること。

〔該当製品番号〕TJ-501

貯法：室温保存

有効期間：3年

〔該当品目〕

ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目

TJ-501 ツムラ紫雲膏

TJ-3023 日本薬局方ブシ末ブシ末(調剤用)「ツムラ」

有効期間：5年

〔該当品目〕 TJ-3020 ツムラの生薬コウジン末(調剤用)

規制区分

TJ-3023 日本薬局方ブシ末ブシ末(調剤用)「ツムラ」

● 劇薬

※性状、薬物動態、包装などについては製品電子添文をご参照ください。

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

監修・大塚恭男、花輪壽彦(北里大学東洋医学総合研究所)

医療用漢方製剤の適正使用に基づき重要な基本的注意にありますように「患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること」となっております。「効能又は効果」「注意事項等情報」を補完する情報としてご参照下さい。本文は各処方の使用目標を表し、番号以下は時に見られるものを示しています。

1

# ツムラ葛根湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-1

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

自然発汗がなく頭痛、発熱、悪寒、肩こり等を伴う比較的体力のあるものの次の諸症：

感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患(結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎)、肩こり、上半身の神経痛、じんましん

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、炎症性あるいは疼痛性疾患の初期、あるいは慢性疾患(効能・効果参照)の急性増悪期に用いる。

- 1)感冒などの熱性疾患では、初期で悪寒、発熱、頭痛、項背部のこわばりなどがあって、自然発汗を伴わない場合。
- 2)疼痛性疾患では局所の疼痛、腫脹、発赤などを訴える場合。
- 3)患部が発赤、腫脹、強い瘙痒感を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 日局カクコン(葛根) ……4.0g | 日局ケイヒ(桂皮) ……2.0g    |
| 日局タイソウ(大棗) ……3.0g | 日局シャクヤク(芍薬) ……2.0g  |
| 日局マオウ(麻黄) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……2.0g |
| 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
  - (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等があらわれることがある。
  - (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感

等があらわれることがある。

- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ㊦参照)

## 4. 授乳婦(45ページ㊧参照)

## 5. 小児等(45ページ㊨参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ㊢㊣参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過敏症   | 発疹、発赤、瘙痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等         |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

## ■薬効薬理

- 1.作用機序(1)プロスタグランジンE<sub>2</sub> (PGE<sub>2</sub>)に対する作用(*in vitro*)  
(2)サイトカインに対する作用(マウス)
- 2.抗アレルギー作用(マウス)
- 3.インフルエンザウイルス感染症に対する作用(マウス)

2

# ツムラ葛根湯加川芎辛夷

エキス顆粒(医療用)

TJ-2

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

### 鼻づまり、蓄膿症、慢性鼻炎

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、鼻閉、鼻漏、後鼻漏などの鼻症状を訴え、これら症状がとくに慢性化した場合に用いる。

1)頭痛、頭重、項背部のこわばりなどを伴う場合。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 日局カクコン(葛根) ……4.0g | 日局シャクヤク(芍薬) ……2.0g  |
| 日局タイソウ(大棗) ……3.0g | 日局シンイ(辛夷) ……2.0g    |
| 日局マオウ(麻黄) ……3.0g  | 日局センキュウ(川芎) ……2.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……2.0g  |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。  
 (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。  
 (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

3. 妊婦(44ページ㊦参照)  
 4. 授乳婦(45ページ㊧参照)  
 5. 小児等(45ページ㊨参照)  
 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページA□C参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)  
 (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過敏症   | 発疹、発赤、瘙痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等      |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

3

# ツムラ乙字湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-3

## ■効能又は効果

出典：原南陽経験方

病状がそれほど激しくなく、体力が中位で衰弱していないものの次の諸症：  
 キレ痔、イボ痔

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人痔疾患で、症状のあまり激しくないものに用いる。

- 1)便秘の傾向のある場合。
- 2)肛門または陰部の疼痛や搔痒を伴う場合。
- 3)軽度の出血を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 日局トウキ(当帰) ……6.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g |
| 日局サイコ(柴胡) ……5.0g  | 日局ショウマ(升麻) ……1.0g |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g | 日局ダイオウ(大黄) ……0.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページカ参照)
4. 小児等(45ページA参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページC参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、<br>下痢等 |

5

アン チョウ サン  
ツムラ安中散

エキス顆粒(医療用)

TJ-5

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

やせ型で腹部筋肉が弛緩する傾向にあり、胃痛または腹痛があって、ときに胸やけ、げっぷ、食欲不振、はきけなどを伴う次の諸症：  
神経性胃炎、慢性胃炎、胃アトニー

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

やせ型で比較的体力の低下した人の慢性に経過する胃痛や胸やけのある場合に用いる。

- 1) 食物の消化が悪く、心窩部膨満感、悪心、嘔吐などを訴える場合。
- 2) 腹部は軟弱で、心窩部の振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局ケイヒ(桂皮)……………4.0g | 日局カンゾウ(甘草)………1.0g |
| 日局エンゴサク(延胡索)…3.0g  | 日局シュクシャ(縮砂)…1.0g  |
| 日局ボレイ(牡蛎)……………3.0g | 日局リョウキョウ(良姜)…0.5g |
| 日局ウイキョウ(茴香)…1.5g   |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2)ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     |           |
|-----|-----------|
|     | 頻度不明      |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

6

# ツムラ十味敗毒湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-6

出典：華岡青洲経験方

## ■効能又は効果

化膿性皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期、  
じんましん、急性湿疹、水虫

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人々の皮膚疾患で、患部は散発性あるいは、びまん性の発疹で覆われ、滲出液の少ない場合に用いる。

- 1) 患部に化膿を伴うかあるいは化膿をくり返す場合。
- 2) 季肋下部に軽度の抵抗・圧痛を認める場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.5gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局キキョウ(桔梗) ……3.0g  | 日局ドクカツ(独活) ……1.5g   |
| 日局サイコ(柴胡) ……3.0g   | 日局ボウフウ(防風) ……1.5g   |
| 日局センキュウ(川芎) ……3.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g | 日局ケイガイ(荊芥) ……1.0g   |
| 日局ボクソク(樸椒) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく体力の衰えている患者：皮膚症状が悪化するおそれがある。
  - (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (3) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ⑧参照)
4. 小児等(45ページ⑨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等     |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)好中球活性化作用(*in vitro*)
- (2)活性酸素に対する作用(*in vitro*)

### 2. 抗アレルギー作用(マウス)

7

# ツムラ八味地黄丸

エキス顆粒(医療用)

TJ-7

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

疲労、倦怠感著しく、尿利減少または頻数、口渇し、手足に交互的に冷感と熱感のあるものの次の諸症：

腎炎、糖尿病、陰萎、坐骨神経痛、腰痛、脚気、膀胱カタル、前立腺肥大、高血圧

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

中年以降特に高齢者に頻用され、腰部および下肢の脱力感・冷え・しびれなどがあり、排尿の異常(特に夜間の頻尿)を訴える場合に用いる。

- 1) 上腹部に比べて下腹部が軟弱無力の場合(臍下不仁)。
- 2) 多尿、頻尿、乏尿、排尿痛などを伴う場合。
- 3) 疲労倦怠感、腰痛、口渇などを伴う場合。
- 4) 高齢者の虚弱(フレイル)などで衰弱している場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局ジオウ(地黄)……………6.0g  | 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g   |
| 日局サンシュユ(山茱萸)…3.0g   | 日局ボタンピ(牡丹皮)…2.5g   |
| 日局サンヤク(山薬)……………3.0g | 日局ケイヒ(桂皮)……………1.0g |
| 日局タクシャ(沢瀉)……………3.0g | 日局ブシ末(附子)……………0.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。

- (3)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等がある。
- (4)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㊤参照)
3. 授乳婦(45ページ㊦参照)
4. 小児等(45ページ㊢参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用 (48ページ参照)

#### その他の副作用

|       | 頻度不明                       |
|-------|----------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                  |
| 肝 臓   | 肝機能異常(AST、ALT、T-Bil等の上昇)   |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等 |
| そ の 他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等            |

### ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 実験的糖尿病抑制作用(ラット)
3. 骨代謝に対する作用(ラット)
4. 造精機能に対する作用(ラット、マウス)
5. 血圧降下作用(ラット)
6. 腎臓に対する作用(ラット)

8

# ツムラ大柴胡湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-8

## ■効能又は効果

出典：傷寒論、金匱要略

比較的体力のある人で、便秘がちで、上腹部が張って苦しく、耳鳴り、肩こりなど伴うものの次の諸症：

胆石症、胆のう炎、黄疸、肝機能障害、  
 高血圧症、脳溢血、じんましん、胃酸過多症、  
 急性胃腸カタル、悪心、嘔吐、食欲不振、  
 痔疾、糖尿病、ノイローゼ、不眠症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体格・体力ともに充実した人で、胸脇苦満※1が強く、便秘する場合に用いる。

- 1) 悪心、嘔吐、季肋部の苦満感などを伴う場合。
- 2) 肩こり、頭痛、頭重、めまい、耳鳴りなどを伴う場合。

※1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局サイコ(柴胡) ……6.0g   | 日局タイソウ(大棗) ……3.0g   |
| 日局ハンゲ(半夏) ……4.0g   | 日局キジツ(枳実) ……2.0g    |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g | 日局ダイオウ(大黃) ……1.0g   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(43ページ㊄参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。
  - (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

れがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     |             |
|-----|-------------|
|     | 頻度不明        |
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- (1)肝の脂質過酸化抑制作用(ラット)
- (2)肝の脂質代謝改善作用(ウサギ、*in vitro*)

2. 肝障害抑制作用(ラット)
3. 肝の脂質代謝改善作用(ラット)
4. 胆石形成抑制作用(ハムスター)
5. 抗アレルギー作用(*in vitro*)
6. 循環系に対する作用(ウサギ、ラット)

9

## ツムラ小柴胡湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-9

出典：傷寒論、金匱要略

## 【警告】

1. 本剤の投与により、間質性肺炎が起こり、早期に適切な処置を行わない場合、死亡等の重篤な転帰に至ることがあるので、患者の状態を十分観察し、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常、胸部X線異常、胸部CT異常等があらわれた場合には、ただちに本剤の投与を中止すること。
2. 咳嗽、呼吸困難、発熱等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. インターフェロン製剤を投与中の患者
2. 肝硬変、肝癌の患者
3. 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/ $\text{mm}^3$ 以下の患者

## ■効能又は効果

1. 体力中等度で上腹部がはって苦しく、舌苔を生じ、口中不快、食欲不振、時により微熱、悪心などのあるものの次の諸症：  
諸種の急性熱性病、肺炎、気管支炎、  
気管支喘息、感冒、リンパ腺炎、  
慢性胃腸障害、産後回復不全
2. 慢性肝炎における肝機能障害の改善

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で胸脇苦満\*1のある場合に用いる。

- 1) 熱性疾患では食欲不振、口中不快感などを伴う場合。
- 2) 胸脇苦満\*1の認められる諸種慢性疾患。(効能・効果参照)
- 3) 食欲不振、全身倦怠感などを伴う諸種慢性疾患。(効能・効果参照)
- 4) 虚弱な小児に用いる。

\*1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局サイコ(柴胡)……………7.0g | 日局ニンジン(人參)………3.0g |
| 日局ハンゲ(半夏)……………5.0g | 日局カンゾウ(甘草)………2.0g |
| 日局オウゴン(黄芩)………3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜)…1.0g |
| 日局タイソウ(大棗)………3.0g  |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (42ページⒻ参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

### 2. 肝機能障害患者

(1) 肝硬変、肝癌の患者：投与しないこと。間質性肺炎が起り、死亡等の重篤な転帰に至ることがある。

(2) 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/mm<sup>3</sup>以下の患者：投与しないこと。肝硬変が疑われる。

(3) 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/mm<sup>3</sup>超～15万/mm<sup>3</sup>以下の患者：慎重に投与すること。肝硬変に移行している可能性がある。

3. 妊婦(44ページ㊦参照)
4. 授乳婦(45ページ㊧参照)
5. 小児等(45ページ㊨参照)
6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

### 1. 併用禁忌(併用しないこと)

| 薬剤名等  | 臨床症状・措置方法             | 機序・危険因子 |
|---|-----------------------|---------|
| インターフェロン製剤<br>インターフェロン- $\alpha$<br>(スミフェロン等)<br>インターフェロン- $\beta$<br>(フェロン等) | 間質性肺炎があら<br>われることがある。 | 機序は不明   |

### 2. 併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊩参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3) ミオパチー、横紋筋融解症(49ページ参照)
- (4) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                           |
|-----|--------------------------------|
| 過敏症 | 発疹、瘙痒、蕁麻疹等                     |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、<br>下痢、便秘等 |
| 泌尿器 | 頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、膀胱炎等             |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1) 肝再生促進作用(ラット)
- (2) 肝線維化抑制作用(ラット、*in vitro*)
- (3) 免疫調整作用(ラット、マウス、*in vitro*)
- (4) 抗アレルギー作用(*in vitro*)
- (5) 活性酸素抑制作用(マウス)

### 2. 肝障害抑制作用(ラット)

### 3. 肝血流量低下抑制作用(ラット)



ツムラショウサイコトウ小柴胡湯

エキス顆粒(医療用)

4. 肝再生促進作用(ラット)
5. 肝線維化抑制作用(ラット)
6. 免疫調整作用(マウス)
7. 免疫複合体除去作用(マウス)
8. 胃粘膜障害に対する作用(ラット)

10

# ツムラ柴胡桂枝湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-10

出典：傷寒論、金匱要略

## ■効能又は効果

発熱汗出て、悪寒し、身体痛み、頭痛、はきけのあるものの次の諸症：

感冒・流感・肺炎・肺結核などの熱性疾患、  
胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胆のう炎・胆石・  
肝機能障害・脾臓炎などの心下部緊張疼痛

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

熱性疾患では、急性期を経てなお頭痛、悪寒、関節痛、食欲不振などのある場合に用いる。慢性疾患\*では、心窩部より季肋部にかけて苦満感を訴え、抵抗・圧痛が認められ(胸脇苦満\*1)、腹直筋の攣急を伴う場合に用いる。

- 1)心窩部の苦満感、食欲不振、腹痛などを伴う場合。
- 2)精神不安、不眠などの精神神経症状を伴う場合。

※1：52ページ参照

\*効能・効果参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 日局サイコ(柴胡) ……5.0g  | 日局シャクヤク(芍薬) ……2.0g  |
| 日局ハンゲ(半夏) ……4.0g  | 日局タイソウ(大棗) ……2.0g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.0g | 日局ニンジン(人參) ……2.0g   |
| 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……2.0g  |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉠参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉠参照)
2. 授乳婦(45ページ㉠参照)
3. 小児等(45ページ㉠参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明               |
|-----|--------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等      |
| 消化器 | 下痢、便秘、消化不良等        |
| 泌尿器 | 頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、膀胱炎等 |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

類似処方の小柴胡湯では、インターフェロン- $\alpha$ との併用例で間質性肺炎の副作用が多く報告されている。

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)膵炎抑制作用(*in vitro*)
- (2)免疫調整作用(*in vitro*)
- (3)活性酸素消去作用(*in vitro*)

### 2. 抗潰瘍作用(ラット)

### 3. 肝障害抑制作用(ラット、マウス)

### 4. 膵炎抑制作用(ラット)

11

サイ コ ケイ シ カン キョウ トウ  
**ツムラ柴胡桂枝乾姜湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-11

出典：傷寒論、金匱要略

**■効能又は効果**

体力が弱く、冷え症、貧血気味で、動悸、息切れがあり、神経過敏のものの次の諸症：  
 更年期障害、血の道症、神経症、不眠症

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

比較的体力の低下した人で、顔色がすぐれず、疲労倦怠感があり、動悸、息切れ、不眠などの精神神経症状を伴う場合に用いる。

- 1) 心窩部より季肋下部にかけての軽度の苦満感(胸脇苦満※1)を訴える場合。
- 2) 悪寒、微熱、盗汗、口渴などを伴う場合。

※1：52ページ参照

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.5gを含有する。

|                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 日局サイコ(柴胡)……………6.0g   | 日局ボレイ(牡蛎)……………3.0g   |
| 日局オウゴン(黄芩)……………3.0g  | 日局カンキョウ(乾姜)……………2.0g |
| 日局カロコン(栝楼根)……………3.0g | 日局カンゾウ(甘草)……………2.0g  |
| 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g   |                      |

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(41ページ㉠参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 妊婦(44ページ㉠参照)
2. 授乳婦(45ページ㉠参照)
3. 小児等(45ページ㉠参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

**■相互作用**

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉢参照)

**副作用** (48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3) ミオパチー(49ページ参照)
- (4) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明      |
|-------|-----------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

12

サイ コ カ リョウ ツツ ボ レイ トウ  
ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-12

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

比較的体力があり、心悸亢進、不眠、いらだち等の精神症状のあるものの次の諸症：  
 高血圧症、動脈硬化症、慢性腎臓病、  
 神経衰弱症、神経性心悸亢進症、てんかん、  
 ヒステリー、小児夜啼症、陰萎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、精神不安、不眠、いららなどの精神神経症状があり、胸脇苦満\*1のある場合。

- 1)頭痛、頭重、肩こりなどを伴う場合。
- 2)臍傍に腹部大動脈の拍動の亢進を認める場合。

\*1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局サイコ(柴胡)……………5.0g | 日局タイソウ(大棗)………2.5g  |
| 日局ハンゲ(半夏)……………4.0g | 日局ニンジン(人参)………2.5g  |
| 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g | 日局ボレイ(牡蛎)……………2.5g |
| 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g   | 日局リュウコツ(竜骨)…2.5g   |
| 日局オウゴン(黄芩)………2.5g  | 日局ショウキョウ(生姜)…1.0g  |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉔参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉗参照)
2. 授乳婦(45ページ㉘参照)
3. 小児等(45ページ㉙参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

1. 重大な副作用

(1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)

(2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明          |
|-------|---------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等 |
| 消 化 器 | 胃部不快感等        |

## ■その他の注意

## 臨床使用に基づく情報

海外で実施された複数の抗てんかん薬における、てんかん、精神疾患等を対象とした199のプラセボ対照臨床試験の検討結果において、自殺念慮及び自殺企図の発現のリスクが、抗てんかん薬の服用群でプラセボ群と比較して約2倍高く(抗てんかん薬服用群：0.43%、プラセボ群：0.24%)、抗てんかん薬の服用群では、プラセボ群と比べ1000人あたり1.9人多いと計算された(95%信頼区間：0.6-3.9)。また、てんかん患者のサブグループでは、プラセボ群と比べ1000人あたり2.4人多いと計算されている。

## ■薬効薬理

## 1. 作用機序

(1)抗動脈硬化作用(ウサギ、*in vitro*)

(2)向精神作用(ラット)

## 2. 血圧降下作用(ウサギ)

## 3. 抗動脈硬化作用(ラット)

## 4. 向精神作用(ラット、マウス)

## 5. 抗痙攣作用(マウス)

14

# ツムラ半夏瀉心湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-14

出典：傷寒論、金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

みぞおちがつかえ、ときに悪心、嘔吐があり  
食欲不振で腹が鳴って軟便または下痢の傾向  
のあるものの次の諸症：

急・慢性胃腸カタル、醗酵性下痢、消化不良、  
胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、  
胸やけ、口内炎、神経症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、心窩部の膨満感、腹中雷鳴があり、悪心、嘔吐、下痢などを訴える場合に用いる。

- 1) 食欲不振、軽度の上腹部痛などを伴う場合。
- 2) 不安・不眠などの精神神経症状を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……5.0g   | 日局タイソウ(大棗) ……2.5g |
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.5g  | 日局ニンジン(人參) ……2.5g |
| 日局カンキョウ(乾姜) ……2.5g | 日局オウレン(黄連) ……1.0g |
| 日局カンゾウ(甘草) ……2.5g  |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)

2. 授乳婦(45ページ④参照)

3. 小児等(45ページ④参照)

4. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ④参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |

### ■適用上の注意

#### 薬剤交付時の注意

口内炎に対して本剤を使用する場合は、口にふくんでゆっくり服用することができる。

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- (1)胃粘膜防御作用(ラット)
- (2)抗炎症作用(ラット、マウス、*in vitro*)
- (3)大腸水分吸収亢進作用(ラット)
- (4)消化管運動抑制作用(*in vitro*)

2. 胃排出促進作用(ヒト、ラット)
3. 胃粘膜障害に対する作用(ラット)
4. 制吐作用(フェレット)
5. 止瀉作用(ラット、マウス)

15

オウレンゲドクトウ  
ツムラ黄連解毒湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-15

出典：外台秘要方

## ■効能又は効果

比較的体力があり、のぼせがみで顔色赤く、  
いろいろな傾向のある次の諸症：  
鼻出血、高血圧、不眠症、ノイローゼ、胃炎、  
二日酔、血の道症、めまい、動悸、湿疹・皮膚炎、  
皮膚掻痒症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度もしくはそれ以上の人で、のぼせ気味  
で顔面紅潮し、精神不安、不眠、イライラなどの  
精神神経症状を訴える場合に用いる。

- 1)心窩部の膨満感を訴える場合。
- 2)咯血、吐血、下血などの出血を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。  
日局オウゴン(黄芩)……3.0g 日局サンシシ(山梔子)……2.0g  
日局オウレン(黄連)……2.0g 日局オウバク(黄柏)……1.5g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(44ページ<sup>㊞</sup>参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1)著しく体力の衰えている患者：副作用があら  
われやすくなり、その症状が増強されるおそ  
れがある。
2. 妊婦(44ページ<sup>㊞</sup>参照)
3. 授乳婦(45ページ<sup>㊞</sup>参照)
4. 小児等(45ページ<sup>㊞</sup>参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (3) 腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等                 |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1) 血小板凝集抑制作用(*in vitro*)
2. 循環系に対する作用(ラット)
3. 胃粘膜障害に対する作用(ラット)
4. 抗炎症作用(ラット、マウス)

16

# ツムラ半夏厚朴湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-16

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症：

不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、神経性食道狭窄症、不眠症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度以下の人で、顔色がすぐれず、神経症的傾向があり、咽喉が塞がる感じ(いわゆるヒステリー球)を訴える場合に用いる。

- 1) 気分がふさぎ、不眠、動悸、精神不安などを訴える場合。
- 2) 呼吸困難、咳嗽、胸痛などを伴う場合。
- 3) 心窩部の振水音を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。  
 日局ハンゲ(半夏) ……6.0g 日局ソヨウ(蘇葉) ……2.0g  
 日局ブクリョウ(茯苓) ……5.0g 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g  
 日局コウボク(厚朴) ……3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページJ参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページア参照)
2. 授乳婦(45ページオ参照)
3. 小児等(45ページA参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     | 頻度不明               |
|-----|--------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等          |
| 肝臓  | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇) |

17

# ツムラ五苓散

エキス顆粒(医療用)

TJ-17

出典：傷寒論、金匱要略

## ■効能又は効果

口渴、尿量減少するものの次の諸症：

浮腫、ネフローゼ、二日酔、急性胃腸カタル、  
下痢、悪心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、  
尿毒症、暑気あたり、糖尿病

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

口渴ならびに利尿減少を主目標として用いる。

- 1) 浮腫、悪心、嘔吐、頭痛、めまいなどの症状を伴う場合。
- 2) 心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.0gを含有する。

日局タクシャ(沢瀉) ……4.0g 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g  
日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g 日局ケイヒ(桂皮) ……1.5g  
日局チョレイ(猪苓) ……3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㊦参照)
2. 授乳婦(45ページ㊧参照)
3. 小児等(45ページ㊨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     | 頻度不明                              |
|-----|-----------------------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等                         |
| 肝臓  | 肝機能異常(AST、ALT、 $\gamma$ -GTP等の上昇) |

## ■薬効薬理

1. 作用機序
  - (1)利尿作用(*in vitro*)
  - (2)尿量増加作用(ラット)
2. 止瀉作用(マウス)
3. 利水作用(マウス)
4. 口渴に対する作用(マウス)

18

# ツムラ桂枝加朮附湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-18

出典：吉益東洞経験方

## ■効能又は効果

### 関節痛、神経痛

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

冷え症で比較的体力の低下した人が、四肢関節の疼痛、腫脹、四肢の運動障害などを訴える場合に用いる。

- 1) 関節痛があり、寒冷により増悪する場合。
- 2) 微熱、盗汗、朝の手のこわばり、尿量減少などを訴える場合。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g   | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g   |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……4.0g | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……4.0g | 日局ブシ末(附子) ……0.5g    |
| 日局タイソウ(大棗) ……4.0g  |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(42ページ㊦参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
  - (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。
2. 妊婦(45ページ㊦参照)
3. 授乳婦(45ページ㊦参照)
4. 小児等(45ページ㊦参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊦参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明               |
|-------|--------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等          |
| そ の 他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等 |

19

# ツムラ小青竜湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-19

出典：傷寒論、金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

下記疾患における水様の痰、水様鼻汁、  
鼻閉、くしゃみ、喘鳴、咳嗽、流涙：  
気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、  
アレルギー性結膜炎、感冒

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、喘鳴、咳嗽、呼吸困難、鼻症  
状などを訴える場合に用いる。

- 1) 泡沫水様性の痰、水様性鼻汁、くしゃみなどを伴う場合。
- 2) 心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……6.0g   | 日局ゴミシ(五味子) ……3.0g  |
| 日局カンキョウ(乾姜) ……3.0g | 日局サイシン(細辛) ……3.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草) ……3.0g  | 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……3.0g   | 日局マオウ(麻黄) ……3.0g   |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、  
食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者  
(1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患  
者：副作用があらわれやすくなり、その症状

が増強されるおそれがある。

- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれることがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)

## 4. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)

## 5. 小児等(45ページ<sup>A</sup>参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ<sup>A</sup><sup>B</sup>参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ<sup>ア</sup>参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過敏症   | 発疹、発赤、瘙痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等   |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |

## ■臨床成績

## 製造販売後調査等

## (1)国内市販後臨床試験

通年性鼻アレルギー患者を対象に実施した二重盲検比較臨床試験において、本剤又はプラセボ1日9.0gを3回に分割して2週間投与した。本剤は、くしゃみ発作、鼻汁、鼻閉等の症状を改善し、最終全般改善度は以下の成績であった。

副作用の発現率は、本剤群6.5% (7/107例)、プラセボ群6.4% (7/110例) であり、本剤群の主な副作用は、消化器症状 (4例) であった。

|       | 改善度 (%)     |             |
|-------|-------------|-------------|
|       | 中等度改善以上     | 軽度改善以上      |
| 小青竜湯群 | 44.6(41/92) | 83.7(77/92) |
| プラセボ群 | 18.1(17/94) | 43.6(41/94) |

## ■薬効薬理

## 1. 作用機序

- (1)ケミカルメディエーター産生・遊離抑制作用 (*in vitro*)
- (2)神経ペプチドに対する作用(ラット)
- (3)炎症細胞に対する作用 (*in vitro*)
- (4)サイトカインに対する作用 (*in vitro*)
- (5)アセチルコリン刺激に対する作用 (*in vitro*)

## 2. 抗アレルギー・抗炎症作用(モルモット、ラット、マウス)

20

ボウ イ オウ キ トウ

# ツムラ防已黄耆湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-20

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

色白で筋肉軟らかく水ぶとりの体質で疲れやすく、汗が多く、小便不利で下肢に浮腫をきたし、膝関節の腫痛するものの次の諸症：

腎炎、ネフローゼ、妊娠腎、陰嚢水腫、肥満症、関節炎、癰、癤、筋炎、浮腫、皮膚病、多汗症、月経不順

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力が低下し色白で筋肉軟らかく、いわゆる水ぶとり体質の人が、全身倦怠感、多汗傾向を訴える場合に用いる。

1) 浮腫、尿量減少、関節（とくに膝関節）の腫脹・疼痛などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局オウギ(黄耆) ……5.0g   | 日局タイソウ(大棗) ……3.0g   |
| 日局ボウイ(防已) ……5.0g   | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g   |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)

- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       |           |
|-------|-----------|
|       | 頻度不明      |
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙癢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)尿蛋白抑制作用(ラット)
- 2. 尿蛋白抑制作用(ラット)

21

 ショウ ハン ゲ カ ブク リョウ トウ  
**ツムラ小半夏加茯苓湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-21

出典：金匱要略

**■効能又は効果**

体力中等度の次の諸症：

妊娠嘔吐(つわり)、そのほかの諸病の嘔吐(急性胃腸炎、湿性胸膜炎、水腫性脚気、蓄膿症)

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

体力中等度の人で、悪心、嘔吐を主訴とする場合に用いる。

- 1)嘔吐は少しずつ何回も吐き、吐いたあとも悪心の残るようなものである。
- 2)心窩部のつかえ感、めまい、動悸などを伴う場合。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。  
 日局ハンゲ(半夏)……………6.0g 日局ショウキョウ(生姜)…1.5g  
 日局ブクリョウ(茯苓)…5.0g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2) (43ページ①参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 妊婦(44ページ㊦参照)
2. 授乳婦(45ページ㊧参照)
3. 小児等(45ページ㊨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

22

# ツムラ消風散

エキス顆粒(医療用)

TJ-22

出典：外科正宗

## ■効能又は効果

分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病  
(湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚掻痒症)

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人の慢性の皮膚疾患で、患部に熱感があって、多くは湿潤し、掻痒のはなはだしい場合に用いる。

- 1) 頑固な皮疹で、分泌物があって痂皮を形成し、その外見が汚穢で地肌に赤味を帯び、口渴を訴える場合。
- 2) 皮膚の病変が夏期にむかって、増悪する傾向のある場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局ジオウ(地黄) ……3.0g   | 日局ゴマ(胡麻) ……1.5g   |
| 日局セッコウ(石膏) ……3.0g  | 日局チモ(知母) ……1.5g   |
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g   | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g |
| 日局ゴボウシ(牛蒡子) ……2.0g | 日局クジン(苦参) ……1.0g  |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……2.0g | 日局ケイガイ(荊芥) ……1.0g |
| 日局ポウフウ(防風) ……2.0g  | センタイ(蟬退) ……1.0g   |
| 日局モクツウ(木通) ……2.0g  |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等があらわれることがある。
- (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があら

われやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)
3. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)
4. 小児等(45ページ<sup>A</sup>参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ<sup>C</sup>参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等           |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等 |

### ■その他の注意

#### 臨床使用に基づく情報

患部が乾燥している皮膚疾患では、症状が悪化することがある。

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- (1)抗炎症作用(*in vitro*)
2. 抗ヒスタミン作用(イヌ)
3. 抗アレルギー作用(マウス)

23

ツムラ当帰芍薬散

エキス顆粒(医療用)

TJ-23

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

筋肉が一体に軟弱で疲労しやすく、腰脚の冷えやすいものの次の諸症：

貧血、倦怠感、更年期障害（頭重、頭痛、めまい、肩こり等）、月経不順、月経困難、不妊症、動悸、慢性腎炎、妊娠中の諸病（浮腫、習慣性流産、痔、腹痛）、脚気、半身不随、心臓弁膜症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した成人女子に用いられることが多く、一般に冷え症で貧血傾向があり、性周期に伴って軽度の浮腫、腹痛などを呈する場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、四肢冷感、頭痛、めまい、耳鳴、肩こり、心悸亢進などの症状を訴える場合。
- 2) 無月経、過多月経、月経困難など、月経異常のある婦人。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局シャクヤク(芍薬) ……4.0g | 日局ブクリョウ(茯苓) ……4.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……4.0g | 日局センキュウ(川芎) ……3.0g |
| 日局タクシャ(沢瀉) ……4.0g  | 日局トウキ(当帰) ……3.0g   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。

(2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの

症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(44ページ㊦参照)
3. 授乳婦(45ページ㊧参照)
4. 小児等(45ページ㊨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用 (48ページ参照)

#### その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、瘙痒等                  |
| 肝 臓   | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇)      |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等 |

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- (1) ホルモンに対する作用(*in vitro*)
- (2) フリーラジカル消去作用(マウス、*in vitro*)
- (3) サイトカインに対する作用(*in vitro*)
- (4) 更年期障害に対する作用(マウス)
2. ホルモンに対する作用(ラット)
3. 排卵誘発作用(ラット)
4. 妊娠ラットに対する作用(ラット)
5. 更年期障害に対する作用(マウス)
6. 子宮に対する作用(*in vitro*)

= 24 =

## ツムラ加味逍遙散

エキス顆粒(医療用)

TJ-24

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

体質虚弱な婦人で肩がこり、疲れやすく、  
精神不安などの精神神経症状、ときに便秘の  
傾向のある次の諸症：

冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、  
更年期障害、血の道症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的虚弱な人で疲労しやすく、精神不安、不眠、イライラなどの精神神経症状を訴える場合に用いる。

- 1) 肩こり、頭痛、めまい、上半身の灼熱感、発汗性の発汗などを伴う場合。
- 2) 心窩部・季肋部に軽度の抵抗・圧痛のある場合。  
(胸脇苦満※1)
- 3) 性周期に関連して上記精神神経症状を訴える場合。

※1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局サイコ(柴胡) ……3.0g   | 日局サンシシ(山梔子) ……2.0g  |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g | 日局ボタンピ(牡丹皮) ……2.0g  |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g   |
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g | 日局ハッカ(薄荷) ……1.0g    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ®参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

## 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの

症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ④参照)
4. 小児等(45ページ①A参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (4)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等               |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等 |

### ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 更年期障害に対する作用(ラット、マウス)

25

# ツムラ桂枝茯苓丸

エキス顆粒(医療用)

TJ-25

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

体格はしっかりして赤ら顔が多く、腹部は大体充実、下腹部に抵抗のあるものの次の諸症：

子宮並びにその付属器の炎症、子宮内膜炎、月経不順、月経困難、帯下、更年期障害(頭痛、めまい、のぼせ、肩こり等)、冷え症、腹膜炎、打撲症、痔疾患、睾丸炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度もしくはそれ以上の人で、のぼせて赤ら顔のことが多く、下腹部に抵抗・圧痛を訴える場合に用いる。瘀血※2に伴う諸症状に用いる。

- 1)頭痛、肩こり、めまい、のぼせ、足の冷えなどを伴う場合。
- 2)無月経、過多月経、月経困難など月経異常のある婦人。

※2：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。  
 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g  
 日局シャクヤク(芍薬)…3.0g 日局ボタンピ(牡丹皮)…3.0g  
 日局トウニン(桃仁)……………3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉠参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

### 2. 妊婦(45ページ㉠参照)

3. 授乳婦(45ページ④参照)

4. 小児等(45ページ①参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

(1)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等         |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

(1)更年期障害に対する作用(ラット)

2. ホルモンに対する作用(ラット)

3. 子宮に対する作用(マウス)

4. 更年期障害に対する作用(ラット)

26

ケイ シ カ リョウ コツ ボ レ イ トウ  
**ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-26

出典：金匱要略

**■効能又は効果**

下腹直腹筋に緊張のある比較的体力の衰えているものの次の諸症：

小児夜尿症、神経衰弱、性的神経衰弱、遺精、陰萎

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

体質虚弱な人で、やせて顔色悪く、神経過敏あるいは精神不安などを訴える場合に用いる。

- 1) 陰萎、遺精などを訴える場合。
- 2) 易疲労感、盗汗、手足の冷えなどを伴う場合。
- 3) 腹部が軟弱無力で臍傍に大動脈の拍動を触知する場合。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局ケイヒ(桂皮)……………4.0g | 日局リュウコツ(竜骨)…3.0g  |
| 日局シャクヤク(芍薬)…4.0g   | 日局カンゾウ(甘草)…2.0g   |
| 日局タイソウ(大棗)………4.0g  | 日局ショウキョウ(生姜)…1.5g |
| 日局ボレイ(牡蛎)……………3.0g |                   |

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(41ページ①参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

**■相互作用**

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

**■副作用** (48ページ参照)**1. 重大な副作用**

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

**2. その他の副作用**

|     |           |
|-----|-----------|
|     | 頻度不明      |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

27

マ オウ トウ  
ツムラ麻黄湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-27

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

悪寒、発熱、頭痛、腰痛、自然に汗の出ないものの次の諸症：

感冒、インフルエンザ（初期のもの）、関節リウマチ、喘息、乳児の鼻閉塞、哺乳困難

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

平素から丈夫で体力充実した人の熱性疾患\*の初期で、頭痛、発熱、悪寒、腰痛、四肢の関節痛などがあり、自然発汗のない場合に用いる。

- 1) 喘鳴、咳嗽などを伴う場合。
- 2) 乳幼児の感冒で、鼻閉塞のある場合。

\* 効能・効果参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。  
日局キョウニン(杏仁) ……5.0g 日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g  
日局マオウ(麻黄) ……5.0g 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

## 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等があらわれることがある。
- (3) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4) 発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれることがある。

- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)

## 4. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)

## 5. 小児等(45ページ<sup>A</sup>参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ<sup>A</sup> <sup>C</sup>参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 肝 臓   | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇)        |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等         |
| 泌 尿 器 | 排尿障害等                     |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)発熱に対する作用(*in vitro*)

### 2. 抗炎症作用(ラット)

28

# ツムラ越婢加朮湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-28

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

浮腫と汗が出て小便不利のあるものの次の諸症：

腎炎、ネフローゼ、脚気、関節リウマチ、夜尿症、湿疹

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、浮腫、発汗傾向、口渇があり、尿量減少する場合に用いる。

1)四肢関節の腫脹、疼痛、熱感などのある場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。

日局セッコウ(石膏)……8.0g 日局タイソウ(大棗)……3.0g

日局マオウ(麻黄)……6.0g 日局カンゾウ(甘草)……2.0g

日局ソウジュツ(蒼朮)……4.0g 日局ショウキョウ(生姜)……1.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

(2)胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等があらわれることがある。

(3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

(4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。

(5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患

及びその症状が悪化するおそれがある。

- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ㉗参照)

## 4. 授乳婦(45ページ㉘参照)

## 5. 小児等(45ページ㉙参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページA[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等   |
| 泌 尿 器 | 排尿障害等                     |

## ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 皮膚炎に対する作用(マウス)

29

バク モン ドウ トウ  
ツムラ麦門冬湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-29

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

痰の切れにくい咳、気管支炎、  
気管支ぜんそく

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度もしくはそれ以下の人の激しい咳嗽で、発作性に咳が頻発して顔面紅潮する場合に用いる。

- 1) 粘稠で切れにくい痰を伴う場合。
- 2) 咽喉の乾燥感や違和感のある場合。
- 3) 上記症状を伴う老人の咳嗽。

## ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。  
 日局バクモンドウ(麦門冬)…10.0g 日局タイソウ(大棗)……3.0g  
 日局コウベイ(粳米)……5.0g 日局カンゾウ(甘草)……2.0g  
 日局ハンゲ(半夏)……5.0g 日局ニンジン(人参)……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3) ミオパチー(49ページ参照)
- (4) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       |         |
|-------|---------|
|       | 頻度不明    |
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等 |

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- (1)鎮咳作用(モルモット)
- (2)去痰作用(ウズラ、*in vitro*)
- (3)気管支拡張作用(*in vitro*)
- (4)抗アレルギー作用(*in vitro*)

#### 2. 鎮咳作用(モルモット)

#### 3. 去痰作用(ウズラ)

#### 4. 気管支拡張作用(モルモット)



# ツムラ真武湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-30

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

新陳代謝の沈衰しているものの次の諸症：  
 胃腸疾患、胃腸虚弱症、慢性腸炎、消化不良、  
 胃アトニー症、胃下垂症、ネフローゼ、腹膜炎、  
 脳溢血、脊髄疾患による運動ならびに知覚麻痺、  
 神経衰弱、高血圧症、心臓弁膜症、心不全で心  
 悸亢進、半身不随、リウマチ、老人性癢痒症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

新陳代謝が低下して体力虚弱な人で、全身倦怠感や四肢の冷感があり、下痢、腹痛などを訴える場合に用いる。

- 1) 本方の下痢は、裏急後重を伴わない。
- 2) めまい、身体動揺感、心悸亢進などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.0gを含有する。  
 日局ブクリョウ(茯苓) …4.0g 日局ショウキョウ(生姜) …1.5g  
 日局シャクヤク(芍薬) …3.0g 日局ブシ末(附子) ……0.5g  
 日局ソウジュツ(蒼朮) …3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㊦参照)
  3. 授乳婦(45ページ㊧参照)
  4. 小児等(45ページ㊨参照)
  5. 高齢者(46ページ参照)
- 副作用(48ページ参照)

### その他の副作用

|       | 頻度不明               |
|-------|--------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等      |
| そ の 他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等 |

31

# ツムラ呉茱萸湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-31

出典：傷寒論、金匱要略

## ■効能又は効果

手足の冷えやすい中等度以下の体力のもの  
次の諸症：  
習慣性偏頭痛、習慣性頭痛、嘔吐、脚気衝心

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した冷え症の人で、反復性に起  
こる激しい頭痛を訴える場合に用いる。

- 1) 項や肩のこり、嘔吐などを伴う場合。
- 2) 心窩部に膨満感、痞塞感あるいは振水音を認める場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。  
日局タイソウ(大棗)……4.0g 日局ニンジン(人參)……2.0g  
日局ゴシュユ(呉茱萸)…3.0g 日局ショウキョウ(生姜)…1.5g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉔参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉗参照)
2. 授乳婦(45ページ㉘参照)
3. 小児等(45ページ㉙参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

### その他の副作用

|       |                    |
|-------|--------------------|
|       | 頻度不明               |
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等            |
| 肝 臓   | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇) |

32

## ツムラ人參湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-32

出典：傷寒論、金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
2. ミオパチーのある患者
3. 低カリウム血症のある患者  
〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

## ■効能又は効果

体質虚弱の人、或いは虚弱により体力低下した人の次の諸症：

急性・慢性胃腸カタル、胃アトニー症、胃拡張、悪阻(つわり)、萎縮腎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した冷え症の人で、食欲不振、胃部停滞感、下痢など胃腸機能が低下している場合に用いる。

- 1) 胃腸虚弱、倦怠感、尿が稀薄で量が多い、口中にうすい唾液がたまるなどの症状を伴う場合。
- 2) 腹部が軟弱無力で振水音のある場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。  
 日局カンキョウ(乾姜)…3.0g 日局ソウジュツ(蒼朮)…3.0g  
 日局カンゾウ(甘草)……3.0g 日局ニンジン(人參)……3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ④参照)

## 4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[B]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |

33

ダイ オウ ボ タン ビ トウ  
**ツムラ大黃牡丹皮湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-33

出典：金匱要略

**■効能又は効果**

比較的体力があり、下腹部痛があって、便秘  
 しがちなものの次の諸症：  
 月経不順、月経困難、便秘、痔疾

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

比較的体力の充実した人で、下腹部が緊張し、抵抗・圧痛があり、便秘する人で瘀血\*2を伴う場合。

1) 月経困難、過多月経などの月経異常のある場合。

※2：52ページ参照

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.5gを含有する。  
 日局トウガシ(冬瓜子)…6.0g 日局ダイオウ(大黃) …2.0g  
 日局トウニン(桃仁) ……4.0g 日局無水ボウショウ(芒硝)…1.8g  
 日局ボタンビ(牡丹皮) …4.0g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(43ページ㉔参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意****1. 合併症・既往歴等のある患者**

- (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㉑参照)

3. 授乳婦(45ページ㉒参照)

4. 小児等(45ページ㉓参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

**副作用** (48ページ参照)

## その他の副作用

|     |             |
|-----|-------------|
|     | 頻度不明        |
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |

**その他の注意**

## 臨床使用に基づく情報

本剤には無水ボウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合は注意すること。



# ツムラ白虎加人参湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-34

出典：傷寒論、金匱要略

## ■効能又は効果

のどの渇きとほてりのあるもの

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、体がほてり、口渇のある場合に用いる。

1) 多尿、皮膚掻痒感などを伴う場合。

### ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。  
 日局セッコウ(石膏) ……15.0g    日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
 日局コウベイ(粳米) ……8.0g    日局ニンジン(人参) ……1.5g  
 日局チモ(知母) ……5.0g

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 胃腸の虚弱な患者：口中不快感、食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれることがある。
- (2) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

#### 2. 妊婦(44ページ⑦参照)

#### 3. 授乳婦(45ページ⑧参照)

#### 4. 小児等(45ページ⑨参照)

#### 5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、瘙痒、蕁麻疹等              |
| 肝 臓   | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇)      |
| 消 化 器 | 口中不快感、食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)アクアポリンに対する作用(マウス)

### 2. 唾液分泌に対する作用(マウス)



# ツムラ四逆散

エキス顆粒(医療用)

TJ-35

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

比較的体力のあるもので、大柴胡湯証と小柴胡湯証との中間証を表わすものの次の諸症：  
胆嚢炎、胆石症、胃炎、胃酸過多、胃潰瘍、  
鼻カタル、気管支炎、神経質、ヒステリー

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度もしくはそれ以上の人で、胸脇苦満※1、腹直筋の攣急があり、イライラ、不眠、抑うつ感などの精神神経症状を訴える場合に用いる。

1)腹痛、腹部膨満感、動悸などを伴う場合。

※1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。  
日局サイコ(柴胡)……………5.0g 日局キジツ(枳実)……………2.0g  
日局シャクヤク(芍薬)…4.0g 日局カンゾウ(甘草)………1.5g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者

(1)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(44ページ④参照)

3. 授乳婦(45ページ④参照)

4. 小児等(45ページ④参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ④参照)

■副作用 (48ページ参照)

1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

(1)抗潰瘍作用(ラット)

(2)活性酸素消去作用(*in vitro*)

(3)プロトンポンプ活性阻害作用(*in vitro*)

#### 2. 抗潰瘍作用(ラット)

#### 3. 肝・胆道障害抑制作用(ラット)



# ツムラ木防已湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-36

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

顔色がさえず、咳をともなう呼吸困難があり、心臓下部に緊張圧重感があるものの心臓、あるいは、腎臓にもとづく疾患、浮腫、心臓性喘息

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人が、心窩部がつかえて硬く、呼吸困難、浮腫、動悸などを訴える場合に用いる。

1) 口渇、尿量減少などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。  
 日局セッコウ(石膏)……10.0g 日局ケイヒ(桂皮)………3.0g  
 日局ボウイ(防已)………4.0g 日局ニンジン(人参)………3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

- 合併症・既往歴等のある患者  
(1) 胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれるおそれがある。
- 妊婦(44ページ㊦参照)
- 授乳婦(45ページ㊧参照)
- 小児等(45ページ㊨参照)
- 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等     |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等 |

## ■薬効薬理

- 作用機序：作用機序が明確でない。
- 心不全モデルに対する作用(マウス)

37

## ツムラ半夏白朮天麻湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-37

出典：脾胃論

## ■効能又は効果

胃腸虚弱で下肢が冷え、めまい、頭痛などがある者

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した胃腸虚弱な人が、冷え症で、持続性のあまり激しくない頭痛、頭重感、めまいなどを訴える場合に用いる。

- 1) 悪心、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感などを伴う場合。
- 2) 腹部が軟弱で、心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 日局チンピ(陳皮) ……3.0g    | 日局オウギ(黄耆) ……1.5g    |
| 日局ハンゲ(半夏) ……3.0g    | 日局タクシャ(沢瀉) ……1.5g   |
| 日局ビャクジュツ(白朮) ……3.0g | 日局ニンジン(人参) ……1.5g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g  | 日局オウバク(黄柏) ……1.0g   |
| 日局テンマ(天麻) ……2.0g    | 日局カンキョウ(乾姜) ……1.0g  |
| 日局バクガ(麦芽) ……2.0g    | 日局ショウキョウ(生姜) ……0.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㊦参照)
2. 授乳婦(45ページ㊧参照)
3. 小児等(45ページ㊨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用(48ページ参照)

その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |

## ■その他の注意

臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

38

ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-38

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

手足の冷えを感じ、下肢が冷えると下肢又は下腹部が痛くなり易いものの次の諸症：  
しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

平素より冷え症で体質虚弱な人が、寒冷のため手足が冷えて痛み、下腹部痛や腰痛などを訴える場合に用いる。

- 1) 頭痛、悪心、嘔吐などを伴う場合。
- 2) 下腹部や腰部に外科的手術の既往があって上記の症状を呈する場合にも多く用いられる。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局タイソウ(大棗) ……5.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g   |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……3.0g   | 日局ゴシュユ(呉茱萸) ……2.0g  |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g | 日局サイシン(細辛) ……2.0g   |
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局モクツウ(木通) ……3.0g  |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ①参照)
4. 小児等(45ページ①参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページB参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明               |
|-------|--------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等          |
| 肝 臓   | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇) |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等  |



# ツムラ 苓桂朮甘湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-39

出典：傷寒論、金匱要略

## ■効能又は効果

めまい、ふらつきがあり、または動悸があり  
尿量が減少するものの次の諸症：  
神経質、ノイローゼ、めまい、動悸、息切れ、  
頭痛

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、めまい、身体動揺感、  
たちくらみなどを訴える場合に用いる。

- 1) 息切れ、心悸亢進、頭痛、のぼせ、尿量減少などを伴う場合。
- 2) 心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。  
日局ブクリョウ(茯苓)…6.0g 日局ソウジュツ(蒼朮)…3.0g  
日局ケイヒ(桂皮)………4.0g 日局カンゾウ(甘草)………2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     |           |
|-----|-----------|
|     | 頻度不明      |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |



# ツムラ猪苓湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-40

## ■効能又は効果

出典：傷寒論、金匱要略

尿量減少、小便難、口渴を訴えるものの次の諸症：

尿道炎、腎臓炎、腎石症、淋炎、排尿痛、血尿、腰以下の浮腫、残尿感、下痢

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

頻尿、残尿感、排尿痛、血尿などの排尿障害のある場合に用いる。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。  
 日局カッセキ(滑石)……3.0g 日局ブクリョウ(茯苓)……3.0g  
 日局タクシャ(沢瀉)……3.0g アキョウ(阿膠)……3.0g  
 日局チョレイ(猪苓)……3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|       |           |
|-------|-----------|
|       | 頻度不明      |
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等 |
| 消 化 器 | 胃部不快感等    |

## ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 結石形成抑制作用(ネコ、ラット、*in vitro*)
3. 抗腎炎作用(ラット)



# ツムラ補中益気湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-41

出典：弁惑論

## ■効能又は効果

消化機能が衰え、四肢倦怠感著しい虚弱体質者の次の諸症：

夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人が、全身倦怠感、食欲不振などを訴える場合に用いる。

- 1) 虚弱体質、結核症などの慢性疾患で上記症状を呈する場合。
- 2) 術後、病後、産後、高齢者の虚弱(フレイル)などで衰弱している場合。
- 3) 咳嗽、微熱、盗汗、動悸などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 日局オウギ(黄耆)……………4.0g  | 日局タイソウ(大棗)……………2.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮)…4.0g    | 日局チンピ(陳皮)……………2.0g  |
| 日局ニンジン(人參)……………4.0g | 日局カンゾウ(甘草)……………1.5g |
| 日局トウキ(当帰)……………3.0g  | 日局ショウマ(升麻)……………1.0g |
| 日局サイコ(柴胡)……………2.0g  | 日局ショウキョウ(生姜)…0.5g   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎 (48ページ(ア)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3) ミオパチー(49ページ参照)
- (4) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明              |
|-----|-------------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等           |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1) 免疫調整作用(マウス)
- (2) 精巢に対する作用(*in vitro*)

### 2. 病後の体力低下に対する作用

- (1) 免疫機能低下の改善作用(ヒト)
- (2) 感染時の体力低下に対する作用(マウス)
- (3) 担癌状態の生体防御機構の修復(マウス)
- (4) 抗癌剤による免疫低下に対する作用(マウス)
- (5) 慢性疲労に対する効果(マウス)

### 3. 高齢者の体力低下に対する作用(マウス)

### 4. 食欲不振に対する作用(マウス)

### 5. 感冒に対する作用(マウス)

### 6. 精巢に対する作用(マウス)



# ツムラ六君子湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-43

出典：万病回春

## ■効能又は効果

胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：

胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人が胃腸機能が低下して、食欲不振、心窩部の膨満感などを訴える場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、手足の冷えなどを伴う場合。
- 2) 腹壁の緊張が弱く、心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 日局ソウジュツ(蒼朮) …4.0g | 日局タイソウ(大棗) ……2.0g  |
| 日局ニンジン(人參) ……4.0g | 日局チンピ(陳皮) ……2.0g   |
| 日局ハンゲ(半夏) ……4.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局ブクリョウ(茯苓) …4.0g | 日局ショウキョウ(生姜) …0.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明         |
|-----|--------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等      |
| 消化器 | 悪心、腹部膨満感、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)胃適応性弛緩に対する作用(*in vitro*)
- (2)胃粘膜障害に対する作用(ラット)
- (3)活性酸素消去作用(*in vitro*)
- (4)食欲増進に対する作用(ラット)
2. 消化管運動亢進作用(ヒト、イヌ)
3. 胃適応性弛緩に対する作用(*in vitro*)
4. 胃粘膜障害に対する作用(ラット)
5. 胃粘膜血流低下抑制作用(ラット)
6. 食欲増進に対する作用(ラット、マウス)



# ツムラ桂枝湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-45

## ■効能又は効果

出典：傷寒論、金匱要略

### 体力が衰えたときの風邪の初期

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で頭痛、発熱、悪寒、身体痛などがあり、自然に汗の出やすい場合に用いる。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。  
 日局ケイヒ(桂皮)……………4.0g 日局カンゾウ(甘草)………2.0g  
 日局シャクヤク(芍薬)…4.0g 日局ショウキョウ(生姜)…1.5g  
 日局タイソウ(大棗)……………4.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑬参照)

#### ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2)ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     |           |
|-----|-----------|
|     | 頻度不明      |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

#### ■その他の注意

##### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。



# ツムラ七物降下湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-46

出典：修琴堂創方

## ■効能又は効果

身体虚弱の傾向のあるものの次の諸症：  
 高血圧に伴う随伴症状（のぼせ、肩こり、  
 耳なり、頭重）

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体質虚弱ながら胃腸の働きの比較的よい人の高血圧症に用いる。

1) 易疲労感、下半身の冷え、頻尿傾向などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 日局シャクヤク(芍薬) ……4.0g | 日局センキュウ(川芎) ……3.0g    |
| 日局トウキ(当帰) ……4.0g   | 日局チョウトウコウ(釣藤鈎) ……3.0g |
| 日局オウギ(黄耆) ……3.0g   | 日局オウバク(黄柏) ……2.0g     |
| 日局ジオウ(地黄) ……3.0g   |                       |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉔参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。

(2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(44ページ㉗参照)

3. 授乳婦(45ページ㉘参照)

4. 小児等(45ページ㉙参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

**副作用** (48ページ参照)

## その他の副作用

|     | 頻度不明                     |
|-----|--------------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

**薬効薬理**

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 血圧上昇抑制作用(ラット)



# ツムラ釣藤散

エキス顆粒(医療用)

TJ-47

出典：本事方

## ■効能又は効果

慢性に続く頭痛で中年以降、または高血圧の傾向のあるもの

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはやや低下した中年以降の人で、慢性に経過する頭痛、肩こり、めまいなどを訴える場合に用いる。

- 1) 朝方あるいはめざめ時に頭痛、頭重感のあることが多い。
- 2) のぼせ、耳鳴、不眠、眼球結膜の充血などを伴う場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 日局セッコウ(石膏) ……5.0g     | 日局キクカ(菊花) ……2.0g    |
| 日局チョウトウコウ(釣藤鈎) ……3.0g | 日局ニンジン(人参) ……2.0g   |
| 日局チンピ(陳皮) ……3.0g      | 日局ボウフウ(防風) ……2.0g   |
| 日局バクモンドウ(麦門冬) ……3.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局ハンゲ(半夏) ……3.0g      | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g    |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

### ■副作用 (48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                 |
|-------|----------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等              |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢、便秘等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1) 血圧降下作用(*in vitro*)
- (2) 脳血流保持作用(ラット)

### 2. 血圧上昇抑制作用(ラット)

### 3. 脳血流保持作用(ラット)



# ツムラ十全大補湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-48

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、  
ねあせ、手足の冷え、貧血

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

病後、術後あるいは慢性疾患、高齢者の虚弱(フレイル)などで、疲労衰弱している場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、食欲不振、顔色不良、皮膚乾燥、貧血などを伴うことが多い。
- 2) 盗汗、口内乾燥感などを伴う場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局オウギ(黄耆)……………3.0g | 日局ソウジュツ(蒼朮)…3.0g    |
| 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g | 日局トウキ(当帰)……………3.0g  |
| 日局ジオウ(地黄)……………3.0g | 日局ニンジン(人參)……………3.0g |
| 日局シャクヤク(芍薬)…3.0g   | 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g    |
| 日局センキュウ(川芎)…3.0g   | 日局カンゾウ(甘草)……………1.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ⑧参照)
4. 小児等(45ページ⑨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                 |
|-----|----------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等        |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等 |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)免疫調整作用
  - ①液性免疫に対する作用(マウス)
  - ②細胞性免疫に対する作用(マウス)
  - ③natural killer(NK)活性に対する作用(マウス)
  - ④マクロファージ活性に対する作用(マウス)
  - ⑤サイトカイン産生に対する作用(マウス、*in vitro*)

### 2. 病後の体力低下に対する作用

- (1)免疫抑制状態の改善作用(マウス)
- (2)感染時の体力低下に対する作用(マウス)
- (3)担癌状態時の体力低下に対する作用(マウス)
- (4)抗癌剤による食欲不振・血液毒性に対する作用(ラット、マウス)

### 3. 貧血に対する作用(マウス、*in vitro*)

50

ケイ ガイ レン キョウ トウ  
**ツムラ荊芥連翹湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-50

出典：一貫堂創方

**■効能又は効果**

蓄膿症、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

体力中等度前後の人で、皮膚の色が浅黒く、副鼻腔、扁桃などに炎症を起こしやすい場合に用いる。

1) 顔面、咽喉、上気道などに発する慢性の炎症性諸疾患。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局オウゴン(黄芩) ……1.5g  | 日局シャクヤク(芍薬) ……1.5g |
| 日局オウバク(黄柏) ……1.5g  | 日局センキュウ(川芎) ……1.5g |
| 日局オウレン(黄連) ……1.5g  | 日局トウキ(当帰) ……1.5g   |
| 日局キキョウ(桔梗) ……1.5g  | 日局ハッカ(薄荷) ……1.5g   |
| 日局キジツ(枳実) ……1.5g   | 日局ビャクシ(白芷) ……1.5g  |
| 日局ケイガイ(荊芥) ……1.5g  | 日局ボウフウ(防風) ……1.5g  |
| 日局サイコ(柴胡) ……1.5g   | 日局レンギョウ(連翹) ……1.5g |
| 日局サンシシ(山梔子) ……1.5g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局ジオウ(地黄) ……1.5g   |                    |

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(4) (41ページ㊸参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

## 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。

(2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

## 2. 妊婦(44ページ㊿参照)

## 3. 授乳婦(45ページ㊽参照)

## 4. 小児等(45ページ㊾参照)

## 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (5)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、瘙痒等                   |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)活性酸素産生抑制作用(*in vitro*)
- (2)抗アレルギー作用(マウス)

51

# ツムラ潤腸湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-51

出典：万病回春

## ■効能又は効果

### 便秘

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはやや低下した人の弛緩性または痙攣性便秘に用いる。

- 1)老人あるいは胃腸機能の低下した人の便秘。
- 2)皮膚乾燥、腹壁弛緩し糞塊が触知される場合。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局ジオウ(地黄)……………6.0g | 日局コウボク(厚朴)………2.0g |
| 日局トウキ(当帰)……………3.0g | 日局ダイオウ(大黄)………2.0g |
| 日局オウゴン(黄芩)………2.0g  | 日局トウニン(桃仁)………2.0g |
| 日局キジツ(枳実)……………2.0g | 日局マシニン(麻子仁)…2.0g  |
| 日局キョウニン(杏仁)…2.0g   | 日局カンゾウ(甘草)………1.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

##### 2. 妊婦(45ページ①参照)

##### 3. 授乳婦(45ページ②参照)

4. 小児等(45ページ④参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

2. その他の副作用

|     | 頻度不明                    |
|-----|-------------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等 |

52

# ツムラ<sup>ヨク イ ニン トウ</sup>薏苡仁湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-52

出典：明医指掌

## ■効能又は効果

### 関節痛、筋肉痛

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはそれ以上の人で、比較的慢性に経過する四肢の関節、筋肉の疼痛、腫脹、熱感のある場合に用いる。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局ヨクイニン(薏苡仁) ……8.0g | 日局ケイヒ(桂皮) ……3.0g   |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……4.0g  | 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g |
| 日局トウキ(当帰) ……4.0g    | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  |
| 日局マオウ(麻黄) ……4.0g    |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3) (41ページ④参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状

が悪化するおそれがある。

(7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

(8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

(1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

3. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)

4. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)

5. 小児等(45ページ<sup>A</sup>参照)

6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ<sup>A</sup><sup>C</sup>参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過敏症   | 発疹、発赤、痒痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等   |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |

## ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。

2. 抗炎症作用(ラット)

53

# ツムラ疎経活血湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-53

出典：万病回春

## ■効能又は効果

関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、腰部より下肢にかけての筋肉、関節、神経が痛む場合に用いる。

- 1) 冷えにより増悪することが多い。
- 2) 瘀血※2を伴う場合。

※2：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局シャクヤク(芍薬) …2.5g  | 日局ゴシツ(牛膝) ……1.5g   |
| 日局ジオウ(地黄) ……2.0g   | 日局チンピ(陳皮) ……1.5g   |
| 日局センキュウ(川芎) …2.0g  | 日局ボウイ(防己) ……1.5g   |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) …2.0g  | 日局ボウフウ(防風) ……1.5g  |
| 日局トウキ(当帰) ……2.0g   | 日局リュウタン(竜胆) ……1.5g |
| 日局トウニン(桃仁) ……2.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局ブクリョウ(茯苓) …2.0g  | 日局ビャクシ(白芷) ……1.0g  |
| 日局イレイセン(威靈仙) …1.5g | 日局ショウキョウ(生姜) …0.5g |
| 日局キョウカツ(羌活) …1.5g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉑参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
- (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

### 2. 妊婦(45ページ㉑参照)

### 3. 授乳婦(45ページ㉑参照)

4. 小児等(45ページ④参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                     |
|-----|--------------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

54

# ツムラ抑肝散

エキス顆粒(医療用)

TJ-54

出典：保嬰撮要

## ■効能又は効果

虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症：  
神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、神経過敏で興奮しやすく、怒りやすい、イライラする、眠れないなどの精神神経症状を訴える場合に用いる。

- 1) おちつきがない、ひきつけ、夜泣きなどのある小児。
- 2) 眼瞼痙攣や手足のふるえなどを伴う場合。
- 3) 腹直筋の緊張している場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。

|                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 日局ソウジュツ(蒼朮) …4.0g    | 日局トウキ(当帰) ……3.0g  |
| 日局ブクリョウ(茯苓) …4.0g    | 日局サイコ(柴胡) ……2.0g  |
| 日局センキュウ(川芎) …3.0g    | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g |
| 日局チョウトウコウ(釣藤鈎) …3.0g |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ①参照)
4. 小児等(45ページ①参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)心不全(49ページ参照)
- (4)ミオパチー、横紋筋融解症(49ページ参照)
- (5)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙癢等         |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |
| 精神神経系 | 傾眠                |
| そ の 他 | 倦怠感               |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

#### (1)攻撃性抑制作用

- ①グルタミン酸放出抑制作用(ラット)
- ②グルタミン酸取込是正作用(*in vitro*)
- ③セロトニン2A受容体ダウンレギュレーション作用(マウス)
- ④セロトニン1A受容体刺激作用(ラット、マウス、*in vitro*)

### 2. 抗不安様作用(ラット、マウス)

### 3. 攻撃性抑制作用(マウス)

### 4. 睡眠障害改善作用(マウス)

55

マ キョウ カン セキ トウ  
ツムラ麻杏甘石湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-55

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

小児ぜんそく、気管支ぜんそく

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、咳嗽が強く、口渇、自然発汗、熱感などがあり、喘鳴、呼吸困難などを訴える場合に用いる。

- 1)粘稠でやや切れにくい痰を伴う場合。
- 2)小児に適用されることが多い。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。  
 日局セッコウ(石膏)……10.0g 日局マオウ(麻黄)……4.0g  
 日局キョウニン(杏仁)…4.0g 日局カンゾウ(甘草)……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3) (41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

## 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状

が悪化するおそれがある。

- (7) 排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。  
 (8) 甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1) 高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ㊦参照)

## 4. 授乳婦(45ページ㊧参照)

## 5. 小児等(45ページ㊨参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ㊩㊪参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)  
 (2) ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等   |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1) 抗アレルギー作用(*in vitro*)

56

# ツムラ五淋散

エキス顆粒(医療用)

TJ-56

出典：和剤局方

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

頻尿、排尿痛、残尿感

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはやや低下した人の慢性に経過した尿路炎症で、頻尿、残尿感、排尿痛などのある場合に用いる。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……6.0g  | 日局タクシャ(沢瀉) ……3.0g  |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g   | 日局トウキ(当帰) ……3.0g   |
| 日局カッセキ(滑石) ……3.0g   | 日局モクツウ(木通) ……3.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草) ……3.0g   | 日局サンシシ(山梔子) ……2.0g |
| 日局ジオウ(地黄) ……3.0g    | 日局シャクヤク(芍薬) ……2.0g |
| 日局シャゼンシ(車前子) ……3.0g |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ⑧参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
- (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(44ページ㊦参照)
3. 授乳婦(45ページ㊧参照)
4. 小児等(45ページ㊨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊩参照)

■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

57

# ツムラ温清飲

エキス顆粒(医療用)

TJ-57

出典：万病回春

## ■効能又は効果

皮膚の色つやが悪く、のぼせるものに用いる：

月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、  
神経症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、不安、不眠、のぼせなどの精神神経症状があり、出血傾向を伴う場合に用いる。

- 1)皮膚は黄褐色を呈し、乾燥していることが多い。
- 2)下血のある場合や、婦人では子宮出血や月経過多で出血の多い場合。
- 3)発熱、熱感があつて痒痒感が強く、分泌物の少ない皮膚症状を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局ジオウ(地黄)……………3.0g | 日局オウゴン(黄芩)……………1.5g |
| 日局シャクヤク(芍薬)…3.0g   | 日局オウバク(黄柏)……………1.5g |
| 日局センキュウ(川芎)…3.0g   | 日局オウレン(黄連)……………1.5g |
| 日局トウキ(当帰)……………3.0g | 日局サンシシ(山梔子)…1.5g    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3) (44ページ<sup>㉔</sup>参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ<sup>㉔</sup>参照)
3. 授乳婦(45ページ<sup>㉔</sup>参照)
4. 小児等(45ページ<sup>㉔</sup>参照)

## 5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (3)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤等                   |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

58

# ツムラ清上防風湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-58

出典：万病回春

## ■効能又は効果

### にきび

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人の、顔面および頭部の発疹で発赤の強いもの、化膿しているものなどに用いる。

1) 青年者の面皰

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gを含有する。

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.5g    | 日局レンギョウ(連翹) ……2.5g |
| 日局キキョウ(桔梗) ……2.5g    | 日局オウレン(黄連) ……1.0g  |
| 日局サンシシ(山梔子) ……2.5g   | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局センキュウ(川芎) ……2.5g   | 日局キジツ(枳実) ……1.0g   |
| 日局ハマボウフウ(浜防風) ……2.5g | 日局ケイガイ(荊芥) ……1.0g  |
| 日局ビャクシ(白芷) ……2.5g    | 日局ハッカ(薄荷) ……1.0g   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ㊸参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれることがある。

(2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(44ページ㊶参照)

3. 授乳婦(45ページ㊷参照)

4. 小児等(45ページ㊵参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊹参照)

**副作用** (48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (4)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等            |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、<br>下痢等 |

59

# ツムラ治頭瘡一方

エキス顆粒(医療用)

TJ-59

## ■効能又は効果

出典：本朝経験方

### 湿疹、くさ、乳幼児の湿疹

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人の顔面、頭部などの湿疹で、分泌物、びらん、痂皮などを認め、瘙痒感のある場合に用いる。

1)小児の湿疹に用いられることが多い。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局センキュウ(川芎) ……3.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g | 日局ケイガイ(荊芥) ……1.0g |
| 日局レンギョウ(連翹) ……3.0g | 日局コウカ(紅花) ……1.0g  |
| 日局ニンドウ(忍冬) ……2.0g  | 日局ダイオウ(大黃) ……0.5g |
| 日局ボウフウ(防風) ……2.0g  |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

##### 2. 妊婦(45ページ①参照)

##### 3. 授乳婦(45ページ㉠参照)

4. 小児等(45ページ④参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、<br>下痢等 |

60

ケイ シ カ シャク ヤク トウ  
**ツムラ桂枝加芍薬湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-60

出典：傷寒論

**■効能又は効果**

腹部膨満感のある次の諸症：しぶり腹、腹痛

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

比較的体力の低下した人で、腹部膨満し、腹痛があり、裏急後重を伴う下痢あるいは便秘する場合に用いる。本方は桂枝加芍薬大黃湯よりも裏急後重あるいは便秘が軽度の場合によい。

- 1) 便意を催すが、快く排便しない場合。
- 2) 下剤服用後の腹痛。
- 3) 開腹術後に便が快通しない場合。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。  
 日局シャクヤク(芍薬) …6.0g 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
 日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g 日局ショウキョウ(生姜) …1.0g  
 日局タイソウ(大棗) ……4.0g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(41ページ①参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

**■相互作用**

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

**■副作用** (48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2) ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|       |           |
|-------|-----------|
|       | 頻度不明      |
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

**■薬効薬理**

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 止瀉作用(マウス)
3. 腸管輸送能に対する作用(マウス)
4. 腸管平滑筋に対する作用(*in vitro*)

61

トウ カク ジョウ キ トウ  
**ツムラ桃核承気湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-61

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

比較的体力があり、のぼせて便秘しがちなものの次の諸症：

月経不順、月経困難症、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体格、体力の充実した人で、瘀血<sup>※2</sup>に伴い、左下腹部に抵抗・圧痛があり（小腹急結）、便秘し、のぼせのある場合に用いる。

- 1) 頭痛、めまい、不眠、不安、手足の冷えなど精神神経症状を伴う場合。
- 2) 月経不順、月経困難などのある婦人。

※2：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。  
 日局トウニン(桃仁)……5.0g 日局カンゾウ(甘草)……1.5g  
 日局ケイヒ(桂皮)……4.0g 日局無水ボウショウ(芒硝)……0.9g  
 日局ダイオウ(大黄)……3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢等があらわれることがある。
  - (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ④参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等         |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢等 |

### ■その他の注意

#### 臨床使用に基づく情報

本剤には無水ボウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合は注意すること。

62

ボウ フウ ツウ ショウ サン  
**ツムラ防風通聖散**

エキス顆粒(医療用)

TJ-62

出典：宣明論

**■効能又は効果**

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの  
 次の諸症：

高血圧の随伴症状(どうき、肩こり、のぼせ)、  
 肥満症、むくみ、便秘

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

体力の充実したいいわゆる卒中体質者で、便秘し、  
 腹は臍を中心に膨満して力のある、いわゆる太鼓  
 腹の場合に用いる。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 日局カッセキ(滑石) ……3.0g   | 日局シャクヤク(芍薬) ……1.2g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.0g   | 日局センキュウ(川芎) ……1.2g   |
| 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g   | 日局トウキ(当帰) ……1.2g     |
| 日局キキョウ(桔梗) ……2.0g   | 日局ハッカ(薄荷) ……1.2g     |
| 日局セッコウ(石膏) ……2.0g   | 日局ボウフウ(防風) ……1.2g    |
| 日局ビャクジュツ(白朮) ……2.0g | 日局マオウ(麻黄) ……1.2g     |
| 日局ダイオウ(大黄) ……1.5g   | 日局レンギョウ(連翹) ……1.2g   |
| 日局ケイガイ(荊芥) ……1.2g   | 日局無水ボウショウ(芒硝) ……0.7g |
| 日局サンシシ(山梔子) ……1.2g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……0.3g  |

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
 食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
 症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(4)(5)(42ページ⑩参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意****1. 合併症・既往歴等のある患者**

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、軟便、下痢等があらわれることがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (5)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (6)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある

患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

- (7)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (9)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(45ページ①参照)

## 4. 授乳婦(45ページカ参照)

## 5. 小児等(45ページA参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページA C参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (5)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                       |
|-------|----------------------------|
| 過敏症   | 発疹、瘙痒等                     |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等  |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、軟便、下痢等 |
| 泌尿器   | 排尿障害等                      |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

本剤には無水ボウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合は注意すること。

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)褐色脂肪組織の活性化作用(マウス)

### 2. 肥満に対する作用(マウス)

63

ゴ シャク サン  
ツムラ五積散

エキス顆粒(医療用)

TJ-63

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

慢性に経過し、症状の激しくない次の諸症：  
胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、  
頭痛、冷え症、更年期障害、感冒

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度前後の人で、寒冷や湿気に侵されて、腰痛、下腹部痛、下肢の痛みなどを訴える場合に用いる。

- 1)貧血気味で、上半身が熱し下半身の冷える場合。
- 2)月経不順や月経困難などのある婦人。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g | 日局ケイヒ(桂皮) ……1.0g    |
| 日局チンピ(陳皮) ……2.0g   | 日局コウボク(厚朴) ……1.0g   |
| 日局トウキ(当帰) ……2.0g   | 日局シャクヤク(芍薬) ……1.0g  |
| 日局ハンゲ(半夏) ……2.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……2.0g | 日局センキュウ(川芎) ……1.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  | 日局タイソウ(大棗) ……1.0g   |
| 日局キキョウ(桔梗) ……1.0g  | 日局ビャクシ(白芷) ……1.0g   |
| 日局キジツ(枳実) ……1.0g   | 日局マオウ(麻黄) ……1.0g    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3) (41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ㊦参照)

## 4. 授乳婦(45ページ㊧参照)

## 5. 小児等(45ページ㊨参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ㊩㊪参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                 |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等      |
| 泌 尿 器 | 排尿障害等                     |

64

## ツムラ炙甘草湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-64

出典：傷寒論、金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
2. ミオパチーのある患者
3. 低カリウム血症のある患者  
〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

## ■効能又は効果

体力がおとろえて、疲れやすいものの動悸、息切れ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、動悸、息切れなどを訴える場合に用いる。

- 1) 皮膚の乾燥、易疲労感、手足の煩熱などを伴う場合。

## ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス7.0gを含有する。

|                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 日局ジオウ(地黄) ……6.0g     | 日局ニンジン(人參) ……3.0g   |
| 日局バクモンドウ(麥門冬) ……6.0g | 日局マシニン(麻子仁) ……3.0g  |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……3.0g     | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局シャカンゾウ(炙甘草) ……3.0g | アキョウ(阿膠) ……2.0g     |
| 日局タイソウ(大棗) ……3.0g    |                     |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(44ページ㊦参照)
3. 授乳婦(45ページ㊧参照)
4. 小児等(45ページ㊨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊩参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等            |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

65

# ツムラ帰脾湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-65

出典：濟生方

## ■効能又は効果

虚弱体質で血色の悪い人の次の諸症：  
貧血、不眠症

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体質虚弱な人が、顔色が悪く、貧血気味で、精神不安、心悸亢進、不眠などの精神症状を訴える場合に用いる。

- 1) 下血、吐血などを伴う場合。
- 2) 盗汗、全身倦怠感、食欲不振などを伴う場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 日局オウギ(黄耆) ……3.0g     | 日局オンジ(遠志) ……2.0g    |
| 日局サンソウニン(酸棗仁) ……3.0g | 日局タイソウ(大棗) ……2.0g   |
| 日局ニンジン(人參) ……3.0g    | 日局トウキ(当歸) ……2.0g    |
| 日局ビャクジュツ(白朮) ……3.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局リュウガンク(竜眼肉) ……3.0g | 日局モッコウ(木香) ……1.0g   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ④参照)
4. 小児等(45ページ④参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等                  |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、<br>下痢等 |

## ■臨床検査結果に及ぼす影響 (50ページ参照)

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。



# ツムラ参蘇飲

エキス顆粒(医療用)

TJ-66

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

感冒、せき

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

胃腸虚弱な人の感冒で、すでに数日を経てやや長びいた場合に用いる。

- 1) 頭痛、発熱、咳嗽、喀痰などを伴う場合。
- 2) 心窩部のつかえ、悪心、嘔吐などのある場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……3.0g   | 日局タイソウ(大棗) ……1.5g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g | 日局ニンジン(人參) ……1.5g   |
| 日局カクコン(葛根) ……2.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局キキョウ(桔梗) ……2.0g  | 日局キジツ(枳実) ……1.0g    |
| 日局ゼンコ(前胡) ……2.0g   | 日局ソヨウ(蘇葉) ……1.0g    |
| 日局チンピ(陳皮) ……2.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……0.5g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |

67

# ツムラ女神散

エキス顆粒(医療用)

TJ-67

出典：浅田家方

## ■効能又は効果

のぼせとめまいのあるものの次の諸症：  
産前産後の神経症、月経不順、血の道症

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはそれ以上の人で、のぼせとめまいがあり、不安、動悸、精神不安、不眠、頭痛などの精神神経症状がある場合に用いる。

- 1) 慢性で多彩な症状を訴える場合。
- 2) 性周期に伴ってあるいは産前産後に症状を訴える場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 日局コウブシ(香附子) …3.0g | 日局ニンジン(人参) ……2.0g  |
| 日局センキュウ(川芎) …3.0g | 日局ビンロウジ(檳榔子) …2.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) …3.0g | 日局オウレン(黄連) ……1.0g  |
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.0g | 日局チョウジ(丁子) ……1.0g  |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……2.0g  | 日局モッコウ(木香) ……1.0g  |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ⑧参照)
4. 小児等(45ページ⑨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等     |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

68

 ツムラ芍薬甘草湯
 シャク ヤク カン ソウ トウ

エキス顆粒(医療用)

TJ-68

出典：傷寒論

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
2. ミオパチーのある患者
3. 低カリウム血症のある患者  
〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

## ■効能又は効果

急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、  
筋肉・関節痛、胃痛、腹痛

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

急激に起こる筋肉（おもに下肢）の痙攣性疼痛ならびに腹部痙痛を訴える場合に用いる。  
頓服あるいは他の処方と併用されることが多い。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。  
日局カンゾウ(甘草)……6.0g 日局シャクヤク(芍薬)…6.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## ■用法及び用量に関連する注意

本剤の使用にあたっては、治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページB参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍  
(Torsade de Pointesを含む)(48ページ参照)
- (4)ミオパチー、横紋筋融解症(49ページ参照)
- (5)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明      |
|-------|-----------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒等 |
| 消 化 器 | 悪心、嘔吐、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)ノルアドレナリン神経系活性化作用(マウス)
- (2)子宮筋収縮抑制作用(*in vitro*)

### 2. 抗アロディニア作用(マウス)

69

# ツムラ茯苓飲

エキス顆粒(医療用)

TJ-69

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

吐きけや胸やけがあり尿量が減少するものの  
次の諸症：  
胃炎、胃アトニー、溜飲

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはやや低下した人で、胃内に水分が停滞しているため、胃部膨満感、心窩部振水音、胸やけ、悪心などのある場合に用いる。

1) 食欲不振、心悸亢進、利尿減少などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.75gを含有する。  
 日局ブクリョウ(茯苓) …5.0g    日局ニンジン(人參) ……3.0g  
 日局ソウジュツ(蒼朮) …4.0g    日局キジツ(枳実) ……1.5g  
 日局チンピ(陳皮) ……3.0g    日局ショウキョウ(生姜) …1.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2) (43ページ㉔参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉗参照)
2. 授乳婦(45ページ㉘参照)
3. 小児等(45ページ㉙参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |



# ツムラ香蘇散

エキス顆粒(医療用)

TJ-70

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

胃腸虚弱で神経質の人の風邪の初期

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

平素より胃腸虚弱で、抑うつ傾向のある人の感冒の初期に用いる。

- 1) 食欲不振や軽度の悪寒、発熱などを伴う場合。
- 2) 葛根湯や麻黄湯などの麻黄剤では食欲不振を起す場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.0gを含有する。  
 日局コウブシ(香附子) …4.0g    日局カンゾウ(甘草) ……1.5g  
 日局ソヨウ(蘇葉) ……2.0g    日局ショウキョウ(生姜) …1.0g  
 日局チンピ(陳皮) ……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

■副作用 (48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)



# ツムラ四物湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-71

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

皮膚が乾燥し、色つやの悪い体質で胃腸障害のない人の次の諸症：

産後あるいは流産後の疲労回復、月経不順、冷え症、しもやけ、しみ、血の道症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、手足が冷え、諸種の出血や貧血の徴候があり、皮膚の乾燥傾向のある場合に用いる。

- 1) 月経不順、自律神経失調症状などを伴う婦人。
- 2) 腹部軟弱で臍傍に動悸を触れる場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.75gを含有する。  
 日局ジオウ(地黄)……………3.0g 日局センキュウ(川芎)…3.0g  
 日局シャクヤク(芍薬)…3.0g 日局トウキ(当帰)……………3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉑参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ㉞参照)
3. 授乳婦(45ページ㉟参照)
4. 小児等(45ページ㊱参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     | 頻度不明                 |
|-----|----------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等 |



# ツムラ甘麦大棗湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-72

出典：金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

夜泣き、ひきつけ

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、精神興奮がはなはだしく、不安、不眠、ひきつけなどのある場合に用いる。

1) 腹直筋の攣急している場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。  
 日局タイソウ(大棗)……6.0g ショウバク(小麦)…20.0g  
 日局カンゾウ(甘草)……5.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉠参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉠参照)
2. 授乳婦(45ページ㉠参照)
3. 小児等(45ページ㉠参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉢参照)

■副作用(48ページ参照)

## 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)



# ツムラ柴陷湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-73

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

### 咳、咳による胸痛

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、強い咳が出て、痰が切れにくく、胸痛する場合に用いる。

1) 心窩部より季肋部にかけて苦満感を訴え、抵抗・圧痛の認められる場合。(胸脇苦満※1)

※1：52ページ参照

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 日局サイコ(柴胡) ……5.0g  | 日局オウレン(黄連) ……1.5g   |
| 日局ハンゲ(半夏) ……5.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局タイソウ(大棗) ……3.0g | カロニン(栝楼仁) ……3.0g    |
| 日局ニンジン(人参) ……2.0g |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉖参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

##### 2. 妊婦(44ページ㉗参照)

##### 3. 授乳婦(45ページ㉘参照)

##### 4. 小児等(45ページ㉙参照)

##### 5. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉚参照)

**副作用** (48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |

**その他の注意**

## 臨床使用に基づく情報

類似処方の小柴胡湯では、間質性肺炎、肝機能障害、膀胱炎の副作用が報告されている。特に、間質性肺炎はインターフェロン- $\alpha$ との併用例で多く報告されている。



# ツムラ調胃承気湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-74

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

### 便秘

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人便秘に用いる。

1) 腹部膨満感が強く、腹痛し、便秘する場合。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.25gを含有する。  
 日局ダイオウ(大黃) ……2.0g 日局無水ボウショウ(芒硝) ……0.5g  
 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

##### 2. 妊婦(45ページ①参照)

##### 3. 授乳婦(45ページ㊦参照)

##### 4. 小児等(45ページ㊦参照)

##### 5. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊦参照)

#### ■副作用(48ページ参照)

##### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|     |             |
|-----|-------------|
|     | 頻度不明        |
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |

### ■その他の注意

#### 臨床使用に基づく情報

本剤には無水ボウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合は注意すること。



# ツムラ四君子湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-75

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

やせて顔色が悪くて、食欲がなく、つかれやすいものの次の諸症：  
胃腸虚弱、慢性胃炎、胃のもたれ、嘔吐、  
下痢

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力の低下した人が、胃腸機能が低下して、食欲不振、心窩部の膨満感などを訴える場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、手足の冷えなどを伴う場合。
- 2) 腹壁の緊張が弱く、心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.75gを含有する。  
 日局ソウジュツ(蒼朮) …4.0g    日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  
 日局ニンジン(人參) ……4.0g    日局ショウキョウ(生姜) …1.0g  
 日局ブクリョウ(茯苓) …4.0g    日局タイソウ(大棗) ……1.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉖参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉖参照)
2. 授乳婦(45ページ㉖参照)
3. 小児等(45ページ㉖参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉖参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       |         |
|-------|---------|
|       | 頻度不明    |
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等 |



# ツムラ竜胆瀉肝湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-76

出典：薛氏十六種

## ■効能又は効果

比較的体力があり、下腹部筋肉が緊張する傾向があるものの次の諸症：

排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で泌尿器、生殖器等の炎症に伴って排尿痛、頻尿、帯下などのある場合に用いる。

- 1) 急性あるいは慢性の泌尿器・生殖器の炎症性疾患。
- 2) 陰部瘙癢感を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.5gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局ジオウ(地黄) ……5.0g    | 日局タクシャ(沢瀉) ……3.0g  |
| 日局トウキ(当帰) ……5.0g    | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局モクツウ(木通) ……5.0g   | 日局サンシシ(山梔子) ……1.0g |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g   | 日局リュウタン(竜胆) ……1.0g |
| 日局シャゼンシ(車前子) ……3.0g |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ㊸参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ㊿参照)
3. 授乳婦(45ページ㊻参照)
4. 小児等(45ページ㊽参照)

## 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ☐参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (5)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |



# ツムラ 艾湯 芎歸 芍薬

エキス顆粒(医療用)

TJ-77

出典：金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
2. ミオパチーのある患者
3. 低カリウム血症のある患者  
〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

## ■効能又は効果

### 痔出血

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で痔出血、下血などがある場合に用いる。

- 1) 出血が長びいて、貧血やめまい、手足の冷えなどを伴う場合。

#### ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局ジオウ(地黄)……………5.0g | 日局カンゾウ(甘草)………3.0g  |
| 日局シャクヤク(芍薬)………4.0g | 日局センキュウ(川芎)………3.0g |
| 日局トウキ(当帰)……………4.0g | アキョウ(阿膠)………3.0g    |
| 日局ガイヨウ(艾葉)………3.0g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ④参照)

3. 授乳婦(45ページ㊦参照)
4. 小児等(45ページ㊦参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊦参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |



# マ キョウ ヨク カン トウ ツムラ麻杏薏甘湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-78

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

関節痛、神経痛、筋肉痛

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人が、諸関節や筋肉が腫れて痛む場合に用いる。

1)腫脹は軽度で、痛みも緩和な場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。  
 日局ヨクイニン(薏苡仁)…10.0g 日局キョウニン(杏仁)…3.0g  
 日局マオウ(麻黄)………4.0g 日局カンゾウ(甘草)………2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3) (41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状

が悪化するおそれがある。

(8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

(1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

3. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)

4. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)

5. 小児等(45ページ<sup>ア</sup>参照)

6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ<sup>A</sup><sup>C</sup>参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等      |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |



# ツムラ平胃散

エキス顆粒(医療用)

TJ-79

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

胃がもたれて消化不良の傾向のある次の諸症：

急・慢性胃カタル、胃アトニー、消化不良、  
食欲不振

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度前後の人が、消化障害をきたして心窩部不快感、腹部膨満感などを訴える場合に用いる。

- 1) 食欲不振、食後の腹鳴、下痢などを伴う場合。
- 2) 過食などによる急性胃腸障害。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。  
 日局ソウジュツ(蒼朮) …4.0g    日局タイソウ(大棗) ……2.0g  
 日局コウボク(厚朴) ……3.0g    日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  
 日局チンピ(陳皮) ……3.0g    日局ショウキョウ(生姜) …0.5g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

■副作用 (48ページ参照)

## 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)



# ツムラ柴胡清肝湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-80

出典：一貫堂創方

## ■効能又は効果

かんの強い傾向のある小児の次の諸症：  
神経症、慢性扁桃腺炎、湿疹

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

腺病質の人で、皮膚の色が浅黒く、扁桃、頸部や顎下部リンパ腺などに炎症、腫脹を起こしやすい場合に用いる。

- 1) 小児に用いられることが多い。
- 2) 疳が強く、不眠、夜なきなどのある場合。
- 3) 両腹直筋の緊張や、季肋下部に抵抗・圧痛のある場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局サイコ(柴胡) ……2.0g   | 日局サンシシ(山梔子) ……1.5g |
| 日局オウゴン(黄芩) ……1.5g  | 日局ジオウ(地黄) ……1.5g   |
| 日局オウバク(黄柏) ……1.5g  | 日局シャクヤク(芍薬) ……1.5g |
| 日局オウレン(黄連) ……1.5g  | 日局センキュウ(川芎) ……1.5g |
| 日局カロコン(栝楼根) ……1.5g | 日局トウキ(当帰) ……1.5g   |
| 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g  | 日局ハッカ(薄荷) ……1.5g   |
| 日局キキョウ(桔梗) ……1.5g  | 日局レンギョウ(連翹) ……1.5g |
| 日局ゴボウシ(牛蒡子) ……1.5g |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ㉔参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。

(2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

#### 2. 妊婦(44ページ㉗参照)

3. 授乳婦(45ページ㊦参照)

4. 小児等(45ページ㊦参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊦参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

(3)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                     |
|-----|--------------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |

### ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。

2. 抗アレルギー作用(マウス)



# ツムラニ陳湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-81

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

悪心、嘔吐

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度前後の人で悪心、嘔吐、胃部不快感などを訴える場合に用いる。

- 1)めまい、動悸、頭痛などを伴う場合。
- 2)心窩部に振水音を認めることが多い。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。  
 日局ハンゲ(半夏)……………5.0g 日局カンゾウ(甘草)……………1.0g  
 日局ブクリョウ(茯苓)…5.0g 日局ショウキョウ(生姜)…1.0g  
 日局チンピ(陳皮)……………4.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

■副作用 (48ページ参照)

### 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

82

# ツムラ桂枝人参湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-82

出典：傷寒論

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- 〔1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。〕

## ■効能又は効果

胃腸の弱い人の次の諸症：

頭痛、動悸、慢性胃腸炎、胃アトニー

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、食欲不振、悪心、嘔吐、胃部停滞感、下痢などの胃腸症状に頭痛、頭重、心悸亢進などを伴う場合に用いる。

1) 冷え症で顔色悪く疲れやすい場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。  
 日局ケイヒ(桂皮)……………4.0g 日局ニンジン(人参)………3.0g  
 日局カンゾウ(甘草)………3.0g 日局カンキョウ(乾姜)………2.0g  
 日局ソウジュツ(蒼朮)………3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ②参照)

■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2)ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     |               |
|-----|---------------|
|     | 頻度不明          |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒、蕁麻疹等 |

83

## ツムラ抑肝散加陳皮半夏

エキス顆粒(医療用)

TJ-83

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症：  
 神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、神経過敏で興奮しやすく、怒りやすい、イライラする、眠れないなどの精神神経症状を訴える場合に用いる。

- 1) 抑肝散に比べ、より体力が低下して症状がより慢性化していることが多い。
- 2) おちつきがなく、ひきつけ、夜泣きなどのある小児。
- 3) 眼瞼痙攣や手足のふるえなどを伴う場合。
- 4) 腹直筋の緊張している場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……5.0g      | 日局チンピ(陳皮) ……3.0g  |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……4.0g    | 日局トウキ(当帰) ……3.0g  |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……4.0g    | 日局サイコ(柴胡) ……2.0g  |
| 日局センキュウ(川芎) ……3.0g    | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g |
| 日局チョウトウコウ(釣藤鈎) ……3.0g |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉠参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ㉠参照)
3. 授乳婦(45ページ㉠参照)

4. 小児等(45ページ④参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ□参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |



# ツムラ大黃甘草湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-84

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

### 便秘症

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

常習便秘に広く用いる。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。  
日局ダイオウ(大黃)……4.0g 日局カンゾウ(甘草)……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (3)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

##### 2. 妊婦(45ページ①参照)

##### 3. 授乳婦(45ページ㊦参照)

##### 4. 小児等(45ページⒶ参照)

##### 5. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊦参照)

#### ■副作用 (48ページ参照)

##### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|     |             |
|-----|-------------|
|     | 頻度不明        |
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |

## ■臨床成績

## 製造販売後調査等

## (1)国内市販後臨床試験

便秘症と診断された患者を対象に実施した二重盲検比較臨床試験において、本剤又はプラセボ1日7.5gを3回に分割して2週間投与した結果、以下の成績であった。

|        | 有効率(%)      |
|--------|-------------|
| 大黃甘草湯群 | 86.4(38/44) |
| プラセボ群  | 44.7(21/47) |



# ツムラ<sup>シン ビ トウ</sup>神秘湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-85

出典：浅田家方

## ■効能又は効果

小児ぜんそく、気管支ぜんそく、気管支炎

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはそれ以上の人で、呼吸困難を主訴とし、抑うつ傾向を呈する場合に用いる。

1)喘息、咳嗽を伴うが喀痰の少ない場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.75gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局マオウ(麻黄)……………5.0g  | 日局カンゾウ(甘草)………2.0g  |
| 日局キョウニン(杏仁)………4.0g  | 日局サイコ(柴胡)……………2.0g |
| 日局コウボク(厚朴)……………3.0g | 日局ソヨウ(蘇葉)……………1.5g |
| 日局チンピ(陳皮)……………2.5g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3) (41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

- (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。  
 (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)

## 4. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)

## 5. 小児等(45ページ<sup>A</sup>参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ<sup>A</sup><sup>C</sup>参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)  
 (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等         |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)ロイコトリエン(LT)産生阻害作用(*in vitro*)  
 2. 気道平滑筋の収縮抑制作用(モルモット、*in vitro*)  
 3. 気道炎症抑制作用(モルモット)  
 4. 抗アレルギー作用(ラット)



# ツムラ当帰飲子

エキス顆粒(医療用)

TJ-86

出典：濟生方

## ■効能又は効果

冷え症のものの次の諸症：

慢性湿疹(分泌物の少ないもの)、かゆみ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人の皮膚疾患で、瘙痒を主訴とし分泌物の少ない場合に用いる。

- 1)皮膚が乾燥して湿潤していない場合。
- 2)老人に適用されることが多い。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局トウキ(当帰) ……5.0g   | 日局ボウフウ(防風) ……3.0g  |
| 日局ジオウ(地黄) ……4.0g   | 日局カシュウ(何首烏) ……2.0g |
| 日局シツリシ(蒺藜子) ……3.0g | 日局オウギ(黄耆) ……1.5g   |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g | 日局ケイガイ(荊芥) ……1.5g  |
| 日局センキュウ(川芎) ……3.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
- (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

### 2. 妊婦(44ページ①参照)

### 3. 授乳婦(45ページ①参照)

### 4. 小児等(45ページ①参照)

### 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等            |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |



# ツムラ六味丸

エキス顆粒(医療用)

TJ-87

出典：小児直訣

## ■効能又は効果

疲れやすくて尿量減少または多尿で、時に口  
 渇があるものの次の諸症：  
 排尿困難、頻尿、むくみ、かゆみ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、腰部および下肢の脱力感、しびれなどがあり、尿意頻数、排尿時違和感などを訴える場合に用いる。

- 1) 八味地黄丸、牛車腎気丸を服用してのぼせ感を訴える場合。
- 2) 上腹部に比べて下腹部が軟弱無力の場合。
- 3) 疲労倦怠感、腰痛などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。  
 日局ジオウ(地黄)……………5.0g 日局タクシャ(沢瀉)………3.0g  
 日局サンシュユ(山茱萸)…3.0g 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g  
 日局サンヤク(山薬)………3.0g 日局ボタンピ(牡丹皮)…3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## ■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ④参照)
4. 小児等(45ページ⑤参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### その他の副作用

|     | 頻度不明                 |
|-----|----------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等 |



# ツムラニホ湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-88

出典：万病回春

## ■効能又は効果

### 五十肩

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、肩や上腕が痛む場合に用いる。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……4.0g    | 日局ビャクジュツ(白朮) ……2.5g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g  | 日局ブクリョウ(茯苓) ……2.5g  |
| 日局イレイセン(威霊仙) ……2.5g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.5g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局コウブシ(香附子) ……2.5g  | テンナンショウ(天南星) 2.5g   |
| 日局チンピ(陳皮) ……2.5g    | ワキョウカツ(和羌活) ……2.5g  |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

#### ■副作用 (48ページ参照)

##### 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)



# ツムラ治打撲一方

エキス顆粒(医療用)

TJ-89

出典：香川修庵経験方

## ■効能又は効果

打撲によるはれ及び痛み

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

打撲、捻挫等で、患部が腫脹、疼痛する場合に用いる。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g  | 日局カンゾウ(甘草)……………1.5g |
| 日局センキュウ(川芎)…3.0g    | 日局ダイオウ(大黃)……………1.0g |
| 日局センコツ(川骨)……………3.0g | 日局チョウジ(丁子)……………1.0g |
| 日局ボクソク(樸櫨)……………3.0g |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

#### 2. 妊婦(45ページ①参照)

#### 3. 授乳婦(45ページ㊦参照)

#### 4. 小児等(45ページ㊦参照)

#### 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、<br>下痢等 |



# ツムラ清肺湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-90

出典：万病回春

## ■効能又は効果

痰の多く出る咳

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、粘稠で切れにくい痰が多く咳嗽が遷延化した場合に用いる。

- 1) 上記症状が長びいて咽喉痛、嗄声、血痰などを伴う場合。
- 2) 慢性化した呼吸器疾患で痰の多く出る咳。

## ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。

|                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g     | 日局タイソウ(大棗) ……2.0g    |
| 日局バクモンドウ(麦門冬) ……3.0g | 日局チンピ(陳皮) ……2.0g     |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g   | 日局テンモンドウ(天門冬) ……2.0g |
| 日局オウゴン(黄芩) ……2.0g    | 日局バイモ(貝母) ……2.0g     |
| 日局キキョウ(桔梗) ……2.0g    | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g    |
| 日局キョウニン(杏仁) ……2.0g   | 日局ゴミシ(五味子) ……1.0g    |
| 日局サンシシ(山梔子) ……2.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g  |
| 日局ソウハクヒ(桑白皮) ……2.0g  | チクジヨ(竹筍) ……2.0g      |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ<sup>Ⓐ</sup>参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)
3. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)
4. 小児等(45ページ<sup>A</sup>参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (5)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       |                   |
|-------|-------------------|
|       | 頻度不明              |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)粘液線毛輸送系に対する作用(ウサギ、*in vitro*)
- (2)活性酸素、ケミカルメディエーターに対する作用(*in vitro*)

### 2. 気管粘膜線毛輸送能促進作用(去痰作用)(ハト、*in vitro*)



# ツムラ竹筴温胆湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-91

出典：万病回春

## ■効能又は効果

インフルエンザ、風邪、肺炎などの回復期に熱が長びいたり、また平熱になっても、気分がさっぱりせず、せきや痰が多くて安眠が出来ないもの

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、感冒などで発熱が長びき、あるいは解熱後、咳が出て痰が多く、不眠を訴える場合に用いる。

- 1) 精神不安、心悸亢進などを伴う場合。
- 2) 季肋下部に軽度の抵抗・圧痛を認める場合(胸脇苦満<sup>\*1</sup>)。 ※1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.5gを含有する。

|                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……5.0g     | 日局チンピ(陳皮) ……2.0g    |
| 日局サイコ(柴胡) ……3.0g     | 日局オウレン(黄連) ……1.0g   |
| 日局バクモンドウ(麦門冬) ……3.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局キキョウ(桔梗) ……2.0g    | 日局ニンジン(人参) ……1.0g   |
| 日局キジツ(枳実) ……2.0g     | チクジョ(竹筴) ……3.0g     |
| 日局コウブシ(香附子) ……2.0g   |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |



# ツムラ<sup>ジ イン シ ホウ トウ</sup>滋陰至宝湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-92

出典：万病回春

## ■効能又は効果

虚弱なものの慢性のせき・たん

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力が低下した人の慢性に経過した咳嗽に用いる。

- 1) 比較的切れやすい痰で、量のさほど多くない場合。
- 2) 食欲不振、全身倦怠感、盗汗などを伴う場合。
- 3) 呼吸器疾患が長びいた場合のせき・たん。

### ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 日局コウブシ(香附子) …3.0g | 日局バクモンドウ(麦門冬) …3.0g |
| 日局サイコ(柴胡) ……3.0g  | 日局ビャクジュツ(白朮) …3.0g  |
| 日局ジコ皮皮(地骨皮) …3.0g | 日局ブクリョウ(茯苓) …3.0g   |
| 日局シャクヤク(芍薬) …3.0g | 日局バイモ(貝母) ……2.0g    |
| 日局チモ(知母) ……3.0g   | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局チンピ(陳皮) ……3.0g  | 日局ハッカ(薄荷) ……1.0g    |
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g  |                     |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ①参照)
4. 小児等(45ページ①参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

**■相互作用**

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

**■副作用**(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|     |                   |
|-----|-------------------|
|     | 頻度不明              |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |



# ツムラ<sup>ジ イン コウ カ トウ</sup>滋陰降火湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-93

出典：万病回春

## ■効能又は効果

のどにうるおいがなく痰の出なくて咳こむもの

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力低下した人で、皮膚の色が浅黒く、咳嗽、粘稠で切れにくい痰などのある場合に用いる。

- 1) 夕方あるいは夜間に咳が頻発する場合。
- 2) 老人や虚弱者で微熱や便秘傾向のある場合。
- 3) 呼吸器疾患が長びいた場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.5gを含有する。

|                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g   | 日局トウキ(当帰) ……2.5g     |
| 日局ジオウ(地黄) ……2.5g     | 日局バクモンドウ(麦門冬) ……2.5g |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……2.5g   | 日局オウバク(黄柏) ……1.5g    |
| 日局チンピ(陳皮) ……2.5g     | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g    |
| 日局テンモンドウ(天門冬) ……2.5g | 日局チモ(知母) ……1.5g      |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ⑧参照)
4. 小児等(45ページ⑨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑬参照)

■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2) ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     |                      |
|-----|----------------------|
|     | 頻度不明                 |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等 |



ゴ コ トウ  
**ツムラ五虎湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-95

出典：万病回春

## ■効能又は効果

せき、気管支ぜんそく

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、喘鳴、激しい咳嗽のある場合に用いる。

- 1) 口渴があり、あるいは自然に発汗し、熱感を訴えるもの（高熱も悪寒もない）。
- 2) 小児に頻用される。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。  
 日局セッコウ(石膏) ……10.0g 日局ソウハクヒ(桑白皮) ……3.0g  
 日局キョウニン(杏仁) ……4.0g 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
 日局マオウ(麻黄) ……4.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2) 胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (4) 発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。
- (5) 狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

- (6)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。  
 (7)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。  
 (8)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(44ページ㊦参照)

## 4. 授乳婦(45ページ㊧参照)

## 5. 小児等(45ページ㊨参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46、47ページ㊩㊪参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)  
 (2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等   |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |



# サイ ボク トウ ツムラ柴朴湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-96

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、時に動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症：

小児ぜんそく、気管支ぜんそく、気管支炎、せき、不安神経症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、軽度の胸脇苦満※1、心窩部の膨満感があり、咳嗽、喘鳴、精神不安、抑うつ傾向、食欲不振、全身倦怠感などを訴える場合に用いる。

※1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局サイコ(柴胡) ……7.0g   | 日局タイソウ(大棗) ……3.0g   |
| 日局ハンゲ(半夏) ……5.0g   | 日局ニンジン(人参) ……3.0g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……5.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g  | 日局ソヨウ(蘇葉) ……2.0g    |
| 日局コウボク(厚朴) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

### 2. 妊婦(44ページ①参照)

### 3. 授乳婦(45ページ①参照)

### 4. 小児等(45ページ①参照)

### 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3)ミオパチー(49ページ参照)
- (4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                    |
|-----|-------------------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等                 |
| 消化器 | 口渇、食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢、便秘等 |
| 泌尿器 | 頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、膀胱炎等      |

## ■その他の注意

### 1. 臨床使用に基づく情報

類似処方の小柴胡湯では、インターフェロン- $\alpha$ との併用例で間質性肺炎の副作用が多く報告されている。

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)ケミカルメディエーターの産生・遊離抑制作用
  - ①ロイコトリエン(LT)産生抑制作用(*in vitro*)
  - ②ヒスタミン遊離抑制作用(*in vitro*)
  - ③アラキドン酸代謝物抑制作用(*in vitro*)
- (2)サイトカイン産生に対する作用(*in vitro*)
- (3)好酸球に対する作用(*in vitro*)
- (4)NO産生に対する作用(*in vitro*)
- (5)接着分子発現抑制作用(*in vitro*)

### 2. 抗炎症作用(モルモット、*in vitro*)

### 3. 気道粘膜線毛輸送の改善作用(*in vitro*)

### 4. 抗不安様作用(マウス)



# ツムラ大防風湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-97

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

関節がはれて痛み、麻痺、強直して屈伸しがたいものの次の諸症：

下肢の関節リウマチ、慢性関節炎、痛風

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、顔色が悪く、関節の腫脹・疼痛、運動機能障害などがあり、一般にこれらの症状が慢性に経過した場合に用いられる。

## ■組成

本品10.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス8.00gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局オウギ(黄耆) ……3.0g   | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g  |
| 日局ジオウ(地黄) ……3.0g   | 日局キョウカツ(羌活) ……1.5g |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g | 日局ゴシツ(牛膝) ……1.5g   |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……3.0g | 日局タイソウ(大棗) ……1.5g  |
| 日局トウキ(当帰) ……3.0g   | 日局ニンジン(人参) ……1.5g  |
| 日局トチュウ(杜仲) ……3.0g  | 日局カンキョウ(乾姜) ……1.0g |
| 日局ポウフウ(防風) ……3.0g  | 日局ブシ末(附子) ……1.0g   |
| 日局センキュウ(川芎) ……2.0g |                    |

■用法・用量 通常、成人1日10.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(42ページ⑤参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。
- (3)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。

(4)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㊦参照)
3. 授乳婦(45ページ㊧参照)
4. 小児等(45ページ㊨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㊣参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                 |
|-------|----------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等              |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等 |
| そ の 他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等      |

### ■その他の注意

#### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

### ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 関節リウマチモデルに対する作用(マウス)



# ツムラ黄耆建中湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-98

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

身体虚弱で疲労しやすいものの次の諸症：  
虚弱体質、病後の衰弱、ねあせ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力の低下した人や高齢者の虚弱(フレイル)などで、疲労倦怠感が著しく、盗汗のある場合に用いる。

- 1) 腹痛、食欲不振、息ぎれなどを伴う場合。
- 2) 発疹、びらんなどの皮膚症状を伴う場合。
- 3) 創傷治癒の遷延化や慢性化膿巣のある場合。
- 4) 腹部は腹壁が薄く、腹直筋が緊張している場合。

## ■組成

本品18.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gと日局コウイ(膠飴)10.0gを含有する。

日局シャクヤク(芍薬) ……6.0g    日局タイソウ(大棗) ……4.0g  
日局オウギ(黄耆) ……4.0g    日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g    日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g

■用法・用量 通常、成人1日18.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

## ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2) ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     | 頻度不明      |
|-----|-----------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

## ■その他の注意

臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。



ショウ ケン チョウ トウ  
**ツムラ小建中湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-99

## ■効能又は効果

出典：傷寒論、金匱要略

体質虚弱で疲労しやすく、血色がすぐれず、腹痛、動悸、手足のほてり、冷え、頻尿および多尿などのいずれかを伴う次の諸症：

小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜なき

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体質虚弱の人で疲れやすく、腹部は腹壁の筋肉がうすく腹直筋の緊張する場合に用いる。

- 1) 腹痛を伴う場合。
- 2) 心悸亢進、盗汗、四肢倦怠などを伴う場合。
- 3) 虚弱児童に頻用される。

## ■組成

本品15.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gと日局コウイ(膠飴)10.0gを含有する。

日局シャクヤク(芍薬) …6.0g 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
 日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g 日局ショウキョウ(生姜) …1.0g  
 日局タイソウ(大棗) ……4.0g

■用法・用量 通常、成人1日15.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       |           |
|-------|-----------|
|       | 頻度不明      |
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒等 |



ダイ ケン チュウ トウ  
**ツムラ大建中湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-100

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもの

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力が低下した人で四肢や腹部が冷え、腹痛、腹部膨満、鼓腸のある場合に用いる。

- 1) 腹壁がうすく軟弱無力で腸の蠕動不安を認める場合。
- 2) 冷えにより症状の悪化する場合。
- 3) 開腹術後の腸管通過障害に伴う腹痛、腹部膨満感。

## ■組成

本品15.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.25gと日局コウイ(膠飴)10.0gを含有する。

日局カンキョウ(乾姜)…5.0g 日局サンショウ(山椒)…2.0g  
 日局ニンジン(人参)……3.0g

■用法・用量 通常、成人1日15.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 肝機能障害患者  
肝機能障害が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ㊦参照)
3. 授乳婦(45ページ㊧参照)
4. 小児等(45ページ㊨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                    |
|-----|-------------------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等                 |
| 消化器 | 胃部不快感、悪心、嘔吐、腹部膨満、腹痛、下痢等 |

## ■薬効薬理

## 1. 作用機序

- (1)消化管運動促進作用(イヌ、マウス、*in vitro*)
- (2)消化管運動抑制作用(*in vitro*)
- (3)腸管血流増加作用(ラット)
- (4)抗炎症作用(マウス、*in vitro*)
2. 消化管運動促進作用(健常成人〈海外データ〉、イヌ、マウス、*in vitro*)
3. 消化管過剰運動抑制作用(マウス)
4. イレウス抑制作用(ラット、マウス)
5. 腸管血流増加作用(健常成人)
6. 消化管ホルモン分泌作用(健常成人)



# ツムラ升麻葛根湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-101

出典：万病回春

## ■効能又は効果

感冒の初期、皮膚炎

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

感冒の初期、皮膚炎に用いる。

- 1) 頭痛、発熱、悪寒などを伴う場合。
- 2) 麻疹など発疹を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。  
 日局カクコン(葛根)……5.0g 日局カンゾウ(甘草)……1.5g  
 日局シャクヤク(芍薬)…3.0g 日局ショウキョウ(生姜)…0.5g  
 日局ショウマ(升麻)……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

102

ツムラ当帰湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-102

出典：千金方

**■効能又は効果**

背中<sup>トウ</sup>に寒冷を覚え、腹部膨満感や腹痛のあるもの

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

冷え症で血色の悪い比較的体力の低下した人で、胸腹部より背部にかけて、疼痛を訴える場合に用いる。

1)狭心症様、肋間神経痛様の痛みがある場合。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局トウキ(当帰)……………5.0g | 日局ニンジン(人參)………3.0g  |
| 日局ハンゲ(半夏)……………5.0g | 日局オウギ(黄耆)……………1.5g |
| 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g | 日局カンキョウ(乾姜)………1.5g |
| 日局コウボク(厚朴)………3.0g  | 日局サンショウ(山椒)………1.5g |
| 日局シャクヤク(芍薬)………3.0g | 日局カンゾウ(甘草)………1.0g  |

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(41ページ①参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意****1. 合併症・既往歴等のある患者**

(1)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。

(2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

**2. 妊婦(44ページ①参照)****3. 授乳婦(45ページ①参照)****4. 小児等(45ページ①参照)****5. 高齢者(46ページ参照)****■相互作用**

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

**副作用** (48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒、蕁麻疹等     |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

**その他の注意**

## 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

103

サン ソウ ニン トウ  
ツムラ酸棗仁湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-103

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

## 心身がつかれ弱って眠れないもの

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力の低下した人で、心身ともに疲労して、不眠を訴える場合に用いる。

- 1)慢性疾患患者や、老人などで夜間眠がさえて眠れない場合。
- 2)精神不安、神経過敏などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。  
 日局サンソウニン(酸棗仁)…10.0g 日局チモ(知母)……………3.0g  
 日局ブクリョウ(茯苓)…5.0g 日局カンゾウ(甘草)……………1.0g  
 日局センキュウ(川芎)…3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1)胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれることがある。
  - (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ⑧参照)
4. 小児等(45ページ⑨参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2)ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     | 頻度不明                 |
|-----|----------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等 |



# ツムラ辛夷清肺湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-104

出典：外科正宗

## ■効能又は効果

鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはそれ以上の人で、膿性鼻漏、後鼻漏などを伴う鼻疾患に用いる。

1)患部に熱感及び疼痛を伴う場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 日局セッコウ(石膏) ……5.0g    | 日局ビャクゴウ(百合) ……3.0g |
| 日局バクモンドウ(麦門冬) ……5.0g | 日局シンイ(辛夷) ……2.0g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g    | 日局ビワヨウ(枇杷葉) ……2.0g |
| 日局サンシシ(山梔子) ……3.0g   | 日局ショウマ(升麻) ……1.0g  |
| 日局チモ(知母) ……3.0g      |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(44ページ<sup>Ⓚ</sup>参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれることがある。
- (2)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

#### 2. 妊婦(44ページ<sup>ア</sup>参照)

#### 3. 授乳婦(45ページ<sup>オ</sup>参照)

#### 4. 小児等(45ページ<sup>ア</sup>参照)

#### 5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用 (48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ<sup>ア</sup>参照)
- (2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (3)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等     |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等 |

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

(1)抗炎症作用(*in vitro*)



# ツムラ通導散

エキス顆粒(医療用)

TJ-105

出典：万病回春

## ■効能又は効果

比較的体力があり下腹部に圧痛があって便秘しがちなものの次の諸症：

月経不順、月経痛、更年期障害、腰痛、便秘、打ち身（打撲）、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体格、体力ともに充実した人で、心窩部が苦しく圧痛を訴え、瘀血<sup>\*2</sup>があり、便秘する場合に用いる。

- 1)頭痛、のぼせ、不眠、不安などの精神神経症状を伴う場合。
- 2)月経不順、月経困難症などのある婦人。

※2：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局キジツ(枳実)……………3.0g | 日局コウボク(厚朴)………2.0g  |
| 日局ダイオウ(大黄)………3.0g  | 日局ソボク(蘇木)……………2.0g |
| 日局トウキ(当帰)……………3.0g | 日局チンピ(陳皮)……………2.0g |
| 日局カンゾウ(甘草)………2.0g  | 日局モクツウ(木通)………2.0g  |
| 日局コウカ(紅花)……………2.0g | 日局無水ボウショウ(芒硝)…1.8g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ◎参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの

症状が悪化するおそれがある。

(4)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ④参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|   |    | 頻度不明                 |
|---|----|----------------------|
| 肝 | 臓  | 肝機能異常(AST、ALT等の上昇)   |
| 消 | 化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等 |

### ■その他の注意

#### 臨床使用に基づく情報

本剤には無水ボウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合は注意すること。



# ツムラ温経湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-106

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

手足がほてり、唇がかわくものの次の諸症：  
 月経不順、月経困難、こしけ、更年期障害、  
 不眠、神経症、湿疹、足腰の冷え、しもやけ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した冷え症の人で、手掌のほてり、口唇の乾燥、下腹部の冷え、痛みなどを訴える場合に用いる。

- 1) 性器出血、月経異常、不妊などのある婦人。
- 2) 上記症状は、性周期に関連して消長することが多い。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局バクモンドウ(麦門冬)…4.0g | 日局センキュウ(川芎)…2.0g    |
| 日局ハンゲ(半夏) ……4.0g   | 日局ニンジン(人參) ……2.0g   |
| 日局トウキ(当歸) ……3.0g   | 日局ボタンピ(牡丹皮) ……2.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  | 日局ゴシュユ(呉茱萸) ……1.0g  |
| 日局ケイヒ(桂皮) ……2.0g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……2.0g | アキョウ(阿膠) ……2.0g     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ④参照)
4. 小児等(45ページ①参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等     |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

(1)ホルモンに対する作用(ラット、*in vitro*)

2. 排卵誘発作用(ラット)

3. 性周期に対する作用(ラット)



# ツムラ牛車腎気丸

エキス顆粒(医療用)

TJ-107

出典：濟生方

## ■効能又は効果

疲れやすくて、四肢が冷えやすく尿量減少  
または多尿で時に口渇がある次の諸症：  
下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、  
かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人あるいは老人で腰部および下肢の脱力感、冷え、しびれなどがあり、排尿の異常(特に夜間の頻尿)を訴える場合に用いる。

- 1) 上腹部にくらべて下腹部が軟弱無力の場合(臍下不仁)。
- 2) 多尿、頻尿、乏尿、排尿痛などを伴う場合。
- 3) 疲労倦怠感、腰痛、口渇などを伴う場合。
- 4) 高齢者の虚弱(フレイル)などで衰弱している場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局ジオウ(地黄) ……5.0g    | 日局タクシャ(沢瀉) ……3.0g  |
| 日局ゴシツ(牛膝) ……3.0g    | 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g |
| 日局サンシュユ(山茱萸) ……3.0g | 日局ボタンピ(牡丹皮) ……3.0g |
| 日局サンヤク(山薬) ……3.0g   | 日局ケイヒ(桂皮) ……1.0g   |
| 日局シャゼンシ(車前子) ……3.0g | 日局ブシ末(附子) ……1.0g   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があら

われることがある。

- (3)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹部膨満感、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。
- (4)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㊤参照)
3. 授乳婦(45ページ㊦参照)
4. 小児等(45ページ㊧参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

### ■副作用(48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

#### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                             |
|-----|----------------------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、瘙痒等                        |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹部膨満感、腹痛、下痢、便秘等 |
| その他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等                  |

### ■薬効薬理

#### 1. 作用機序

- (1)抗侵害受容(鎮痛)作用(マウス)
- (2)血流増加作用(ラット)
- (3)頻尿に対する作用(ラット)

#### 2. 神経系に対する作用(ラット)

3. 抗アロディニア作用及び抗侵害受容(鎮痛)作用(マウス)
4. 血流低下改善作用(ヒト、ラット)
5. 頻尿に対する作用(ラット)

108

# ツムラ<sup>ニン ジン ヨウ エイ トウ</sup>人参養栄湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-108

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

病後・術後あるいは慢性疾患、高齢者の虚弱(フレイル)などで疲労衰弱している場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、顔色不良、食欲不振などを伴うことが多い。
- 2) 慢性疾患で、微熱、悪寒、咳嗽などを伴う場合。

## ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 日局シオウ(地黄)……………4.0g  | 日局オンジ(遠志)……………2.0g |
| 日局トウキ(当帰)……………4.0g  | 日局シャクヤク(芍薬)…2.0g   |
| 日局ビャクジュツ(白朮)…4.0g   | 日局チンピ(陳皮)……………2.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓)…4.0g    | 日局オウギ(黄耆)……………1.5g |
| 日局ニンジン(人参)……………3.0g | 日局カンゾウ(甘草)………1.0g  |
| 日局ケイヒ(桂皮)……………2.5g  | 日局ゴミシ(五味子)………1.0g  |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

#### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

#### 2. 妊婦(44ページ④参照)

#### 3. 授乳婦(45ページ④参照)

#### 4. 小児等(45ページ④参照)

#### 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒、蕁麻疹等           |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等 |

## ■臨床検査結果に及ぼす影響

本剤の投与により、血中AG(1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)が増加する場合がある。

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

109

 ショウサイコトウカキキョウセッコウ  
 ツムラ小柴胡湯加桔梗石膏

エキス顆粒(医療用)

TJ-109

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

咽喉がはれて痛む次の諸症：

扁桃炎、扁桃周囲炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、微熱があり、心窩部より季肋部にかけての苦満感、圧迫感（胸脇苦満<sup>\*1</sup>）、食欲不振などを訴える場合に用いる。

1) 上気道の亜急性ないし慢性の炎症性疾患。

※1：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局セッコウ(石膏) ……10.0g | 日局タイソウ(大棗) ……3.0g   |
| 日局サイコ(柴胡) ……7.0g   | 日局ニンジン(人參) ……3.0g   |
| 日局ハンゲ(半夏) ……5.0g   | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g   |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局キキョウ(桔梗) ……3.0g  |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉠参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

## 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれることがある。

(2) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

## 2. 妊婦(44ページ㉠参照)

## 3. 授乳婦(45ページ㉠参照)

## 4. 小児等(45ページ㉠参照)

## 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉢参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3) ミオパチー(49ページ参照)
- (4) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明              |
|-----|-------------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等           |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等 |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

類似処方の小柴胡湯では、膀胱炎の副作用が報告されている。また、小柴胡湯では、インターフェロン- $\alpha$ との併用例で間質性肺炎の副作用が多く報告されている。



# ツムラ立効散

エキス顆粒(医療用)

TJ-110

出典：衆方規矩

## ■効能又は効果

### 抜歯後の疼痛、歯痛

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

歯痛、歯齦痛および口腔内の腫脹・疼痛に用いる。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。  
 日局サイシン(細辛)……2.0g 日局カンゾウ(甘草)……1.5g  
 日局ショウマ(升麻)……2.0g 日局リュウタン(竜胆)……1.0g  
 日局ボウフウ(防風)……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

#### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

■副作用(48ページ参照)

#### 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

#### ■適用上の注意

##### 薬剤交付時の注意

本剤は口にふくんでゆっくり服用する。

111

# ツムラ清心蓮子飲

エキス顆粒(医療用)

TJ-111

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

全身倦怠感があり、口や舌が乾き、尿が出し  
ぶるものの次の諸症：  
残尿感、頻尿、排尿痛

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

平素より胃腸虚弱で比較的体力の低下した人が、  
排尿困難、残尿感、排尿痛などを訴える場合に用  
いる。

- 1) 冷え症で神経質の人が多い。
- 2) 慢性の泌尿器疾患に伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 日局バクモンドウ(麦門冬) ……4.0g | 日局ニンジン(人参) ……3.0g  |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……4.0g   | 日局オウギ(黄耆) ……2.0g   |
| 日局レンニク(蓮肉) ……4.0g    | 日局ジコッピ(地骨皮) ……2.0g |
| 日局オウゴン(黄芩) ……3.0g    | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g  |
| 日局シャゼンシ(車前子) ……3.0g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)

(3)ミオパチー(49ページ参照)

(4)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       |         |
|-------|---------|
|       | 頻度不明    |
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等 |

### ■その他の注意

#### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

112

ツムラ猪苓湯合四物湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-112

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

皮膚が乾燥し、色つやの悪い体質で胃腸障害のない人の次の諸症：  
 排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度前後の人で、頻尿、残尿感、排尿痛などの排尿障害が慢性化したり、反復して起こる場合に用いる。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局カッセキ(滑石) ……3.0g  | 日局チョレイ(猪苓) ……3.0g  |
| 日局ジオウ(地黄) ……3.0g   | 日局トウキ(当帰) ……3.0g   |
| 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g | 日局ブクリョウ(茯苓) ……3.0g |
| 日局センキュウ(川芎) ……3.0g | アキョウ(阿膠) ……3.0g    |
| 日局タクシャ(沢瀉) ……3.0g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## ■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉔参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

- 合併症・既往歴等のある患者
  - (1)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- 妊婦(44ページ㉗参照)
- 授乳婦(45ページ㉘参照)
- 小児等(45ページ㉙参照)
- 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     |                      |
|-----|----------------------|
|     | 頻度不明                 |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等 |

113

ツムラ三黄瀉心湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-113

出典：金匱要略

**■効能又は効果**

比較的体力があり、のぼせ気味で、顔面紅潮し、精神不安で、便秘の傾向のあるものの次の諸症：

高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

体格・体力ともに充実した人が、のぼせ気味で顔面紅潮し、便秘を訴える場合に用いる。

- 1) 気分がいらいらして落ちつかず、精神不安や不眠を訴える場合。
- 2) 心窩部の膨満感を訴える場合。
- 3) 鼻出血、下血などのある場合。ただし、出血が長びいて貧血の著しい場合には用いない。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。  
 日局オウゴン(黄芩)……3.0g 日局ダイオウ(大黄)……3.0g  
 日局オウレン(黄連)……3.0g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(43ページ㊄参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。
  - (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)間質性肺炎(48ページ(イ)参照)
- (2)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明        |
|-----|-------------|
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)血圧降下作用(*in vitro*)
- (2)中枢神経系に対する作用(*in vitro*)

114

サイ レイ トウ  
ツムラ柴苓湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-114

出典：得効方

## ■効能又は効果

吐き気、食欲不振、のどのかわき、排尿が少ないなどの次の諸症：  
水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、心窩部より季肋部にかけての苦満感、ならびに抵抗・圧痛(胸脇苦満※1)があり、尿量減少、浮腫、口渴などを伴う場合に用いる。

※1：52ページ参照

## ■組成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 日局サイコ(柴胡)……………7.0g | 日局チョレイ(猪苓)………3.0g |
| 日局タクシャ(沢瀉)………5.0g  | 日局ニンジン(人参)………3.0g |
| 日局ハンゲ(半夏)………5.0g   | 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g  |
| 日局オウゴン(黄芩)………3.0g  | 日局カンゾウ(甘草)………2.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮)…3.0g   | 日局ケイヒ(桂皮)………2.0g  |
| 日局タイソウ(大棗)………3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜)…1.0g |

■用法・用量 通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ㉠参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

## 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

## 2. 妊婦(44ページ㉡参照)

## 3. 授乳婦(45ページ㉢参照)

## 4. 小児等(45ページ㉣参照)

## 5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉤参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (3) ミオパチー(49ページ参照)
- (4) 劇症肝炎、肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                                |
|-----|-------------------------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒、蕁麻疹等                       |
| 消化器 | 口渇、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹部膨満感、腹痛、下痢、便秘等 |
| 泌尿器 | 頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、膀胱炎等                  |
| その他 | 全身倦怠感                               |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

類似処方の小柴胡湯では、インターフェロン- $\alpha$ との併用例で間質性肺炎の副作用が多く報告されている。

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1) ナトリウムチャンネル阻害作用(*in vitro*)
- (2) 抗炎症作用(ラット)
- (3) DNA合成抑制作用(*in vitro*)

### 2. むくみ改善作用(マウス)

### 3. 利水作用(マウス)

### 4. 抗炎症作用(ラット、マウス)



# ツムラ胃苓湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-115

出典：万病回春

## ■効能又は効果

水瀉性の下痢、嘔吐があり、口渇、尿量減少を伴う次の諸症：

食あたり、暑気あたり、冷え腹、急性胃腸炎、腹痛

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、心窩部に振水音を認め、水様性の下痢、嘔吐を呈する場合に用いる。

1) 腹部膨満感、軽度の腹痛、尿量減少などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.25gを含有する。

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 日局コウボク(厚朴) ……2.5g   | 日局ブクリョウ(茯苓) ……2.5g  |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……2.5g  | 日局ケイヒ(桂皮) ……2.0g    |
| 日局タクシャ(沢瀉) ……2.5g   | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.5g |
| 日局チョレイ(猪苓) ……2.5g   | 日局タイソウ(大棗) ……1.5g   |
| 日局チンピ(陳皮) ……2.5g    | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g   |
| 日局ビャクジュツ(白朮) ……2.5g |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     |           |
|-----|-----------|
|     | 頻度不明      |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

116

## ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-116

出典：本朝経験方

## ■効能又は効果

気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、時に動悸、めまい、嘔気、胸やけなどがあり、尿量の減少するものの次の諸症：  
不安神経症、神経性胃炎、つわり、溜飲、胃炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはやや低下した人で、抑うつ状態を呈し、咽喉部の異物感、胃部膨満感を訴える場合に用いる。

1)めまい、動悸、悪心、心窩部振水音などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 日局ハンゲ(半夏) ……6.0g   | 日局ニンジン(人參) ……3.0g   |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……5.0g | 日局ソヨウ(蘇葉) ……2.0g    |
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……4.0g | 日局キジツ(枳実) ……1.5g    |
| 日局コウボク(厚朴) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |
| 日局チンピ(陳皮) ……3.0g   |                     |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページJ参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページア参照)
2. 授乳婦(45ページオ参照)
3. 小児等(45ページA参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |



# ツムラ茵陳五苓散

エキス顆粒(医療用)

TJ-117

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

のどが渇いて、尿が少ないものの次の諸症：  
嘔吐、じんましん、二日酔のむかつき、むくみ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度の人で、口渇、尿量減少、浮腫があり、軽度の黄疸を伴う場合に用いる。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.75gを含有する。  
 日局タクシャ(沢瀉)……6.0g 日局ブクリョウ(茯苓)……4.5g  
 日局ソウジュツ(蒼朮)……4.5g 日局インチンコウ(茵陳蒿)……4.0g  
 日局チョレイ(猪苓)……4.5g 日局ケイヒ(桂皮)……2.5g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉑参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ㉗参照)
2. 授乳婦(45ページ㉘参照)
3. 小児等(45ページ㉙参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     |           |
|-----|-----------|
|     | 頻度不明      |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒等 |

118

ツムラ 苓姜朮甘湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-118

出典：金匱要略

**■効能又は効果**

腰に冷えと痛みがあって、尿量が多い次の諸症：  
腰痛、腰の冷え、夜尿症

**〈証に関わる情報〉 使用目標＝証**

比較的体力が低下した人で、腰部より下肢にかけての冷えが顕著で、頻尿を訴える場合に用いる。

1) 冷えのために腰下肢に疼痛を訴えることもある。

**■組成**

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。  
日局ブクリョウ(茯苓)…6.0g 日局ビャクジュツ(白朮)…3.0g  
日局カンキョウ(乾姜)…3.0g 日局カンゾウ(甘草)……2.0g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(3)(41ページ④参照)

**■特定の背景を有する患者に関する注意**

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ⑧参照)
3. 小児等(45ページ⑨参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

**■相互作用**

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

**■副作用** (48ページ参照)**重大な副作用**

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)

119

 ツムラ<sup>リョウ カン キョウ ミ シン ゲ ニン ト</sup>茶甘姜味辛夏仁湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-119

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

貧血、冷え症で喘鳴を伴う喀痰の多い咳嗽があるもの。

気管支炎、気管支喘息、心臓衰弱、腎臓病

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力が低下し、冷え症で貧血傾向にある人の、喘鳴、咳嗽、喀痰、水様性鼻汁などを呈する場合に用いる。

- 1) 胃腸虚弱で、麻黄剤の服用により胃障害などを呈する場合。
- 2) 疲労倦怠感、動悸、息切れ、浮腫などを伴う場合。
- 3) 腹部が軟弱で、心窩部に振水音を認める場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 日局キョウニン(杏仁) …4.0g | 日局カンキョウ(乾姜) …2.0g |
| 日局ハンゲ(半夏) ……4.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓) …4.0g | 日局サイシン(細辛) ……2.0g |
| 日局ゴミシ(五味子) ……3.0g |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

## ■薬効薬理

1. 作用機序
  - (1) 炎症細胞に対する作用(*in vitro*)
2. 抗アレルギー作用(ラット)



# ツムラ黄連湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-120

出典：傷寒論

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

胃部の停滞感や重圧感、食欲不振のあるものの次の諸症：急性胃炎、二日酔、口内炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度以上の人で、上腹部痛、悪心、嘔吐があり、心窩部に抵抗の認められる場合に用いる。

- 1) 心窩部の停滞感や重圧感、食欲不振などを伴う場合。
- 2) 舌に黄色苔、又は白苔があり、口臭を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局ハンゲ(半夏)……………6.0g | 日局ケイヒ(桂皮)……………3.0g |
| 日局オウレン(黄連)………3.0g  | 日局タイソウ(大棗)………3.0g  |
| 日局カンキョウ(乾姜)………3.0g | 日局ニンジン(人參)………3.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草)………3.0g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ②参照)
2. 授乳婦(45ページ③参照)
3. 小児等(45ページ④参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑤参照)

## ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2)ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     |               |
|-----|---------------|
|     | 頻度不明          |
| 過敏症 | 発疹、発赤、痒痒、蕁麻疹等 |



# ツムラ三物黄芩湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-121

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

### 手足のほてり

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはそれ以上の人で、手足の熱感のある場合に用いる。

- 1) 手足の熱感が夜間に特に著しく、安眠できない場合。
- 2) 口渇を伴う場合。
- 3) 手掌、足蹠の熱感、痒痒感、乾燥、発赤などを伴う場合。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。  
 日局ジオウ(地黄)……………6.0g 日局クジン(苦参)……………3.0g  
 日局オウゴン(黄芩)……………3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ㉑参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ㉗参照)
3. 授乳婦(45ページ㉘参照)
4. 小児等(45ページ㉙参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

#### 1. 重大な副作用

- (1) 間質性肺炎(48ページ(ア)参照)
- (2) 肝機能障害、黄疸(49ページ参照)



ツムラ三物黄芩湯  
エキス顆粒(医療用)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                     |
|-------|--------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等                |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、<br>下痢等 |



# ツムラ排膿散及湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-122

出典：吉益東洞経験方

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

患部が発赤、腫脹して疼痛をともなった化膿症、  
瘍、癬、面疔、その他癰腫症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度前後の人の化膿性皮膚疾患及び歯周組織炎(歯槽膿漏)、歯齦炎などに用いる。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 日局キキョウ(桔梗) ……4.0g | 日局シャクヤク(芍薬) ……3.0g  |
| 日局カンゾウ(甘草) ……3.0g | 日局タイソウ(大棗) ……3.0g   |
| 日局キジツ(枳実) ……3.0g  | 日局ショウキョウ(生姜) ……1.0g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ②参照)

■副作用(48ページ参照)

### 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)



# ツムラ当帰建中湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-123

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

疲労しやすく、血色のすぐれないものの次の諸症：  
月経痛、下腹部痛、痔、脱肛の痛み

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力の低下した人で、疲労しやすく、顔色不良、手足の冷えがあり、下腹部や腰の痛みを訴える場合に用いる。

- 1) 性器出血、痔出血などを伴う場合。
- 2) 腹部が軟弱で、両側の腹直筋が攣急している場合。
- 3) 主として、上記症状を持つ婦人に用いられる。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。  
 日局シャクヤク(芍薬) …5.0g    日局トウキ(当帰) ……4.0g  
 日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g    日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
 日局タイソウ(大棗) ……4.0g    日局ショウキョウ(生姜) …1.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ⑦参照)
3. 授乳婦(45ページ④参照)
4. 小児等(45ページ④参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明              |
|-------|-------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等         |
| 消 化 器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |



# ツムラ川芎茶調散

エキス顆粒(医療用)

TJ-124

出典：和剤局方

## ■効能又は効果

かぜ、血の道症、頭痛

### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力の強弱にかかわらずなく、感冒などの初期にみられる頭痛や特発性の頭痛に用いる。

1)感冒では初期で、頭痛の他、悪寒、発熱、関節痛などのある場合。

### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 日局コウブシ(香附子) …4.0g | 日局ビャクシ(白芷) ……2.0g |
| 日局センキュウ(川芎) …3.0g | 日局ボウフウ(防風) ……2.0g |
| 日局キョウカツ(羌活) …2.0g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.5g |
| 日局ケイガイ(荊芥) ……2.0g | チャヨウ(茶葉) ……1.5g   |
| 日局ハッカ(薄荷) ……2.0g  |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ④参照)

### ■特定の背景を有する患者に関する注意

- 合併症・既往歴等のある患者
  - 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。
  - 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- 妊婦(44ページ⑦参照)
- 授乳婦(45ページ⑧参照)
- 小児等(45ページ⑨参照)
- 高齢者(46ページ参照)

### ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ⑩参照)

### ■副作用(48ページ参照)

- 重大な副作用
  - 偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - ミオパチー(49ページ参照)
- その他の副作用

|     | 頻度不明              |
|-----|-------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |



ケイ シ フク リョウ ガン カ ヲ イ ニン  
**ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁**

エキス顆粒(医療用)

TJ-125

出典：金匱要略

## ■効能又は効果

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、  
 頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴える  
 ものの次の諸症：

月経不順、血の道症、にきび、しみ、  
 手足のあれ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度もしくはそれ以上の人で、のぼせて赤ら顔のことが多く、下腹部に抵抗・圧痛を訴えるなどの瘀血<sup>※2</sup>の症状を認め(桂枝茯苓丸の使用目標)、さらに皮膚症状がある場合に用いる。

- 1)肌のあれ、肝斑、痤瘡、疣贅などの皮膚症状を伴う場合。
- 2)頭痛、肩こり、めまい、のぼせ、足の冷えなどを伴う場合。
- 3)無月経、過多月経、月経困難症などの月経異常のある婦人。

※2：52ページ参照

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。  
 日局ヨクイニン(薏苡仁)…10.0g 日局トウニン(桃仁)…4.0g  
 日局ケイヒ(桂皮)…4.0g 日局ブクリョウ(茯苓)…4.0g  
 日局シャクヤク(芍薬)…4.0g 日局ボタンピ(牡丹皮)…4.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそ

れがある。

2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

■副作用(48ページ参照)

その他の副作用

|       | 頻度不明      |
|-------|-----------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、瘙痒等 |
| 消 化 器 | 胃部不快感、下痢等 |



# ツムラ麻子仁丸

エキス顆粒(医療用)

TJ-126

出典：傷寒論、金匱要略

## ■効能又は効果

### 便秘

#### 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力中等度あるいはやや低下した人の習慣性便秘で、老人や病後の虚弱者に繁用される。

1) 大便是硬く、塊状を呈することが多い。

#### ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 日局マシニン(麻子仁) …5.0g | 日局キョウニン(杏仁) …2.0g |
| 日局ダイオウ(大黃) ……4.0g | 日局コウボク(厚朴) ……2.0g |
| 日局キジツ(枳実) ……2.0g  | 日局シャクヤク(芍薬) …2.0g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(43ページ㉔参照)

#### ■特定の背景を有する患者に関する注意

##### 1. 合併症・既往歴等のある患者

(1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。

(2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㉑参照)

3. 授乳婦(45ページ㉒参照)

4. 小児等(45ページ㉓参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

■副作用 (48ページ参照)

#### その他の副作用

|     |             |
|-----|-------------|
|     | 頻度不明        |
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |



# ツムラ麻黄附子細辛湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-127

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

悪寒、微熱、全身倦怠、低血圧で頭痛、めまいあり、四肢に疼痛冷感あるものの次の諸症：  
感冒、気管支炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人の悪寒を伴う発熱(微熱)を目標に用いる。脈は沈んで細く、力がないことが多い。老人や虚弱者の感冒や気管支炎に繁用されている。

- 1) 無気力感、全身倦怠感などを伴う場合。
- 2) 頭痛、咳嗽、のどの痛み、クシャミ、水様性鼻汁、手足の冷え、痛みなどを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.50gを含有する。  
日局マオウ(麻黄) ……4.0g 日局ブシ末(附子) ……1.0g  
日局サイシン(細辛) ……3.0g

**■用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

**■重要な基本的注意** (1)(2)(43ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
  - (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。
  - (3) 著しく胃腸の虚弱な患者：口渇、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等があらわれることがある。
  - (4) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (5) 発汗傾向の著しい患者：発汗過多、全身脱力感等があらわれることがある。

- (6)狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (7)重症高血圧症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (8)排尿障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。
- (9)甲状腺機能亢進症の患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 2. 腎機能障害患者

- (1)高度の腎障害のある患者：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。

## 3. 妊婦(45ページ㊦参照)

## 4. 授乳婦(45ページ㊧参照)

## 5. 小児等(45ページ㊢参照)

## 6. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(46ページ㊠参照)

## ■副作用(48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)

### 2. その他の副作用

|       | 頻度不明                      |
|-------|---------------------------|
| 過敏症   | 発疹、発赤等                    |
| 自律神経系 | 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等 |
| 消化器   | 口渇、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等      |
| 泌尿器   | 排尿障害等                     |
| その他   | のぼせ、舌のしびれ等                |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)抗侵害受容作用(ラット)

### 2. 抗炎症作用(ラット、マウス)

### 3. 抗侵害受容作用(ラット、マウス)



# ツムラ啓脾湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-128

出典：万病回春

## ■効能又は効果

やせて、顔色が悪く、食欲がなく、下痢の傾向があるものの次の諸症：  
胃腸虚弱、慢性胃腸炎、消化不良、下痢

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下している人の下痢に用いられる。顔色は不良で、下痢は裏急後重を伴わず、大便の性状は泥状ないしは水様である場合が多い。

- 1) 食欲不振、嘔吐、腹痛などを伴う場合。
- 2) 腹部が軟弱で、腹壁の緊張の弱い場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gを含有する。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 日局ソウジュツ(蒼朮) ……4.0g | 日局サンザシ(山楂子) ……2.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓) ……4.0g | 日局タクシャ(沢瀉) ……2.0g  |
| 日局サンヤク(山薬) ……3.0g  | 日局チンピ(陳皮) ……2.0g   |
| 日局ニンジン(人參) ……3.0g  | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g  |
| 日局レンニク(蓮肉) ……3.0g  |                    |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ①参照)
2. 授乳婦(45ページ①参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2) ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     |         |
|-----|---------|
|     | 頻度不明    |
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等 |



# ツムラ大承気湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-133

## ■効能又は効果

出典：傷寒論、金匱要略

腹部がかたくつかえて、便秘するもの、あるいは肥満体質で便秘するもの。

常習便秘、急性便秘、高血圧、神経症、食当り

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体力の充実した人で、腹部特に臍を中心に充実して膨満感が強く、便秘する場合に用いる。

1)不安、不眠、興奮などの精神症状を伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.0gを含有する。  
 日局コウボク(厚朴)……5.0g 日局ダイオウ(大黃)……2.0g  
 日局キジツ(枳実)………3.0g 日局無水ポウショウ(芒硝)…1.3g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(43ページ㉔参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1)下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
- (2)著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
- (3)著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。

2. 妊婦(45ページ㉑参照)

3. 授乳婦(45ページ㉒参照)

4. 小児等(45ページ㉓参照)

5. 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     |             |
|-----|-------------|
|     | 頻度不明        |
| 消化器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |

## ■その他の注意

臨床使用に基づく情報

本剤には無水ポウショウが含まれているので、治療上食塩制限が必要な患者に継続投与する場合は注意すること。



ケイ シ カ シヤク ヤク ダイ オウ トウ  
**ツムラ桂枝加芍薬大黃湯**

エキス顆粒(医療用)

TJ-134

出典：傷寒論

## ■効能又は効果

比較的体力のない人で、腹部膨満し、腸内の  
 停滞感あるいは腹痛などを伴うものの次の  
 諸症：1. 急性腸炎、大腸カタル  
 2. 常習便秘、宿便、しぶり腹

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、腹部膨満し、腹痛が  
 あり、裏急後重を伴う下痢または便秘のある場合  
 に用いる。

- 1) 便意を催すが、快く排便しない場合。
- 2) 下剤服用後の腹痛。
- 3) 開腹術後に便の快通しない場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.0gを含有する。  
 日局シャクヤク(芍薬) …6.0g 日局カンゾウ(甘草) ……2.0g  
 日局ケイヒ(桂皮) ……4.0g 日局ダイオウ(大黃) ……2.0g  
 日局タイソウ(大棗) ……4.0g 日局ショウキョウ(生姜) …1.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
 食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、  
 症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ©参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ[C]参照)

## ■副作用(48ページ参照)

## 1. 重大な副作用

(1)偽アルドステロン症(48ページ参照)

(2)ミオパチー(49ページ参照)

## 2. その他の副作用

|       | 頻度不明        |
|-------|-------------|
| 過 敏 症 | 発疹、発赤、痒痒等   |
| 消 化 器 | 食欲不振、腹痛、下痢等 |



# ツムラ茵陳蒿湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-135

## ■効能又は効果

出典：傷寒論、金匱要略

尿量減少、やゝ便秘がちで比較的体力のあるものの次の諸症：

黄疸、肝硬変症、ネフローゼ、じんましん、口内炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力のある人で、上腹部より胸部にかけての膨満感、不快感を訴え、悪心、便秘を伴う場合に用いる。

- 1) 黄疸のある場合。
- 2) 口渇、尿量減少、皮膚瘙痒感などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。  
 日局インチンコウ(茵陳蒿)…4.0g 日局ダイオウ(大黄)…1.0g  
 日局サンシシ(山梔子)…3.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (43ページ⑨参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 下痢、軟便のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
  - (2) 著しく胃腸の虚弱な患者：食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。
  - (3) 著しく体力の衰えている患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
2. 妊婦(45ページ①参照)
3. 授乳婦(45ページ②参照)
4. 小児等(45ページ③参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)肝機能障害、黄疸(49ページ参照)
- (2)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     |                   |
|-----|-------------------|
|     | 頻度不明              |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、腹痛、下痢等 |

## ■薬効薬理

### 1. 作用機序

- (1)肝障害に対する作用(*in vitro*)
- (2)肝線維化抑制作用(*in vitro*)
- (3)サイトカインに対する作用(マウス、*in vitro*)

### 2. 肝障害に対する作用(ラット、マウス)

### 3. 肝線維化抑制作用(ラット)

### 4. 利胆作用(ラット)



# ツムラ清暑益気湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-136

出典：医学六要

## ■効能又は効果

暑気あたり、暑さによる食欲不振・下痢・  
全身倦怠、夏やせ

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、食欲不振、全身倦怠感を訴える場合に用いる。

- 1) 軟便、尿量減少、自然発汗、手足の熱感などを伴う場合。
- 2) いわゆる夏やせ、夏まけに多用される。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 日局ソウジュツ(蒼朮) …3.5g   | 日局トウキ(当帰) ……3.0g  |
| 日局ニンジン(人參) ……3.5g   | 日局オウバク(黄柏) ……1.0g |
| 日局バクモンドウ(麦門冬) …3.5g | 日局カンゾウ(甘草) ……1.0g |
| 日局オウギ(黄耆) ……3.0g    | 日局ゴミシ(五味子) ……1.0g |
| 日局チンピ(陳皮) ……3.0g    |                   |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ③参照)

## ■副作用(48ページ参照)

1. 重大な副作用
  - (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
  - (2) ミオパチー(49ページ参照)
2. その他の副作用

|     | 頻度不明              |
|-----|-------------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等           |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等 |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。



# ツムラ加味帰脾湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-137

出典：濟世全書

## ■効能又は効果

虚弱体質で血色の悪い人の次の諸症：

貧血、不眠症、精神不安、神経症

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

体質虚弱な人が、顔色が悪く貧血気味で、精神不安、心悸亢進、不眠などの精神神経症状を訴え、微熱のある場合に用いる。

- 1) 下血、吐血、鼻出血などを伴う場合。
- 2) 盗汗、全身倦怠感、食欲不振などを伴う場合。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 日局オウギ(黄耆)……………3.0g  | 日局オンジ(遠志)……………2.0g  |
| 日局サイコ(柴胡)……………3.0g  | 日局サンシシ(山梔子)…2.0g    |
| 日局サンソウニン(酸棗仁)…3.0g  | 日局タイソウ(大棗)……………2.0g |
| 日局ソウジュツ(蒼朮)…3.0g    | 日局トウキ(当帰)……………2.0g  |
| 日局ニンジン(人參)……………3.0g | 日局カンゾウ(甘草)……………1.0g |
| 日局ブクリョウ(茯苓)…3.0g    | 日局ショウキョウ(生姜)…1.0g   |
| 日局リュウガンク(竜眼肉)…3.0g  | 日局モッコウ(木香)……………1.0g |

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(4) (41ページ⑧参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 合併症・既往歴等のある患者
  - (1) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者：これらの症状が悪化するおそれがある。
2. 妊婦(44ページ㉗参照)
3. 授乳婦(45ページ㉘参照)
4. 小児等(45ページ㉙参照)
5. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ㉚参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

### 1. 重大な副作用

- (1)偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2)ミオパチー(49ページ参照)
- (3)腸間膜静脈硬化症(50ページ参照)

### 2. その他の副作用

|     | 頻度不明                 |
|-----|----------------------|
| 過敏症 | 発疹、蕁麻疹等              |
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等 |

## ■臨床検査結果に及ぼす影響

本剤の投与により、血中AG(1,5-アンヒドロ-D-グルシトール)が増加する場合がある。

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

## ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 抗不安様作用(マウス)



# ツムラ桔梗湯

エキス顆粒(医療用)

TJ-138

出典：傷寒論、金匱要略

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. アルドステロン症の患者
  2. ミオパチーのある患者
  3. 低カリウム血症のある患者
- [1～3：当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

咽喉がはれて痛む次の諸症：

扁桃炎、扁桃周囲炎

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

咽・喉部の炎症で、疼痛、腫脹、発赤がある場合に用いる。

- 1) 軽度の発熱、咳嗽、喀痰、嚥下困難などを伴うことが多い。

## ■組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.25gを含有する。  
日局カンゾウ(甘草)……3.0g 日局キキョウ(桔梗)……2.0g

■用法・用量 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

■重要な基本的注意 (1)(2)(3)(41ページ①参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

1. 妊婦(44ページ⑦参照)
2. 授乳婦(45ページ④参照)
3. 小児等(45ページ①参照)
4. 高齢者(46ページ参照)

## ■相互作用

併用注意(併用に注意すること)(47ページ②参照)

■副作用(48ページ参照)

## 重大な副作用

- (1) 偽アルドステロン症(48ページ参照)
- (2) ミオパチー(49ページ参照)

501

## ツムラ紫雲膏

TJ-501

出典：華岡青洲経験方

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
  2. 重度(重症)の熱傷・外傷のある患者
  3. 化膿性の創傷で高熱のある患者
  4. 患部の湿潤やただれのひどい患者
- [2～4：当該症状が悪化するおそれがある。]

## ■効能又は効果

火傷、痔核による疼痛、肛門裂傷

## 〈証に関わる情報〉 使用目標＝証

比較的体力の低下した人で、分泌物の少ない場合に用いる。

1)火傷、痔核による疼痛、肛門裂傷に用いる。

## ■組成

本品100g中

日局ゴマ油(胡麻)……100.0g 日局トウキ(当帰)……10.0g

日局シコン(紫根)……10.0g

上記の割合で得た油製エキス71.2gと

日局サラシツロウ(白蠟)……27.0g 日局豚脂 ……………1.8g

を含有する。

## ■用法・用量

外用

患部を清潔にしたのち、1日数回適量を直接患部に塗布、あるいはガーゼにのばして貼付する。

## ■重要な基本的注意 (1)(44ページ㊂参照)

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

小児等(45ページ㊂参照)

## ■副作用 (48ページ参照)

その他の副作用

|     |        |
|-----|--------|
|     | 頻度不明   |
| 過敏症 | 発疹、瘙痒等 |

## ■適用上の注意

薬剤投与時の注意

目には使用しないこと。

## ■薬効薬理

1. 作用機序：作用機序が明確でない。
2. 創傷治癒促進作用 (マウス)

## ■取扱い上の注意

衣類に付着すると赤紫色に着色し、脱色しにくいので、注意すること。

# 3020 ツムラの生薬コウジン末(調剤用)

TJ-3020

## ■効能又は効果

漢方処方調剤に用いる。

## ■組成

本品は、日本薬局方コウジンを粉末としたものである。

## ■用法・用量

漢方処方調剤に用いる。

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

### 1. 合併症・既往歴等のある患者

- (1) 高血圧症の患者：血圧が上昇することがある。
- (2) 肥満傾向の患者で、不眠や煩躁症状のある患者：睡眠障害が悪化することがある。
- (3) 炎症症状（発熱等を含む）の著しい患者：これらの症状が悪化することがある。

### 2. 腎機能障害患者

- (1) 腎機能が低下し浮腫や尿量減少のある患者：これらの症状が悪化することがある。

## ■副作用 (48ページ参照)

### その他の副作用

|       | 頻度不明                    |
|-------|-------------------------|
| 過 敏 症 | 発疹、蕁麻疹等                 |
| 消 化 器 | 胃部不快感、消化不良、軟便、下痢等       |
| そ の 他 | 鼻出血、顔面紅潮、体のほてり、血圧上昇、浮腫等 |

## ■その他の注意

### 臨床使用に基づく情報

長期投与により、興奮、下痢、発疹、不眠、血圧上昇、頭痛、動悸等があらわれたとの報告がある。

3023

劇

日本薬局方ブシ末 ブシ末(調剤用)「ツムラ」

## ■効能又は効果

漢方処方調剤に用いる。

## ■組成

本品は、トリカブトの塊根を高圧蒸気処理により加工した日本薬局方ブシ末(ブシ末1)である。

## ■用法・用量

漢方処方調剤に用いる。

## ■特定の背景を有する患者に関する注意

合併症・既往歴等のある患者

- (1)体力の充実している患者：副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。
- (2)暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。

## ■副作用(48ページ参照)

その他の副作用

|     | 頻度不明               |
|-----|--------------------|
| その他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等 |



## ● ツムラ医療関係者向けサイト



こちらからアクセス

## ● ツムラ漢方Literacy

電子書籍でもご覧いただけます。  
アプリをダウンロードして  
ご利用ください。

iPhone/iPadの方



こちらからアクセス

Androidの方



こちらからアクセス

## ● AIチャットボットでの お問い合わせ



こちらからアクセス

## 株式会社ツムラ

---

\*ツムラ医療用漢方製剤に関するお問い合わせは、  
本社：☎107-8521

東京都港区赤坂二丁目17番11号

<https://www.tsumura.co.jp/>

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970

【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

【弊社の販売情報提供活動について】

[liaison@mail.tsumura.co.jp](mailto:liaison@mail.tsumura.co.jp)

---

\*不許複製、非売品、売買厳禁

2024年11月改訂

PBA001 ⑧

322503

株式会社ツムラ  
<https://www.tsumura.co.jp/>